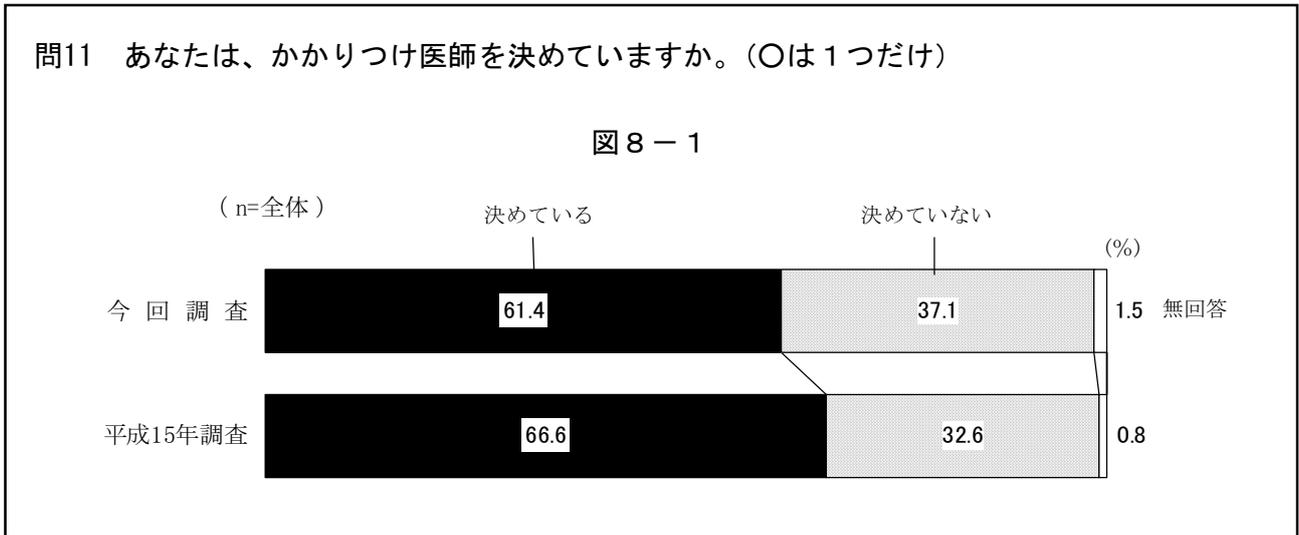


8 かかりつけ医

(1) かかりつけ医の有無

～ 「決めている」61%が多い ～

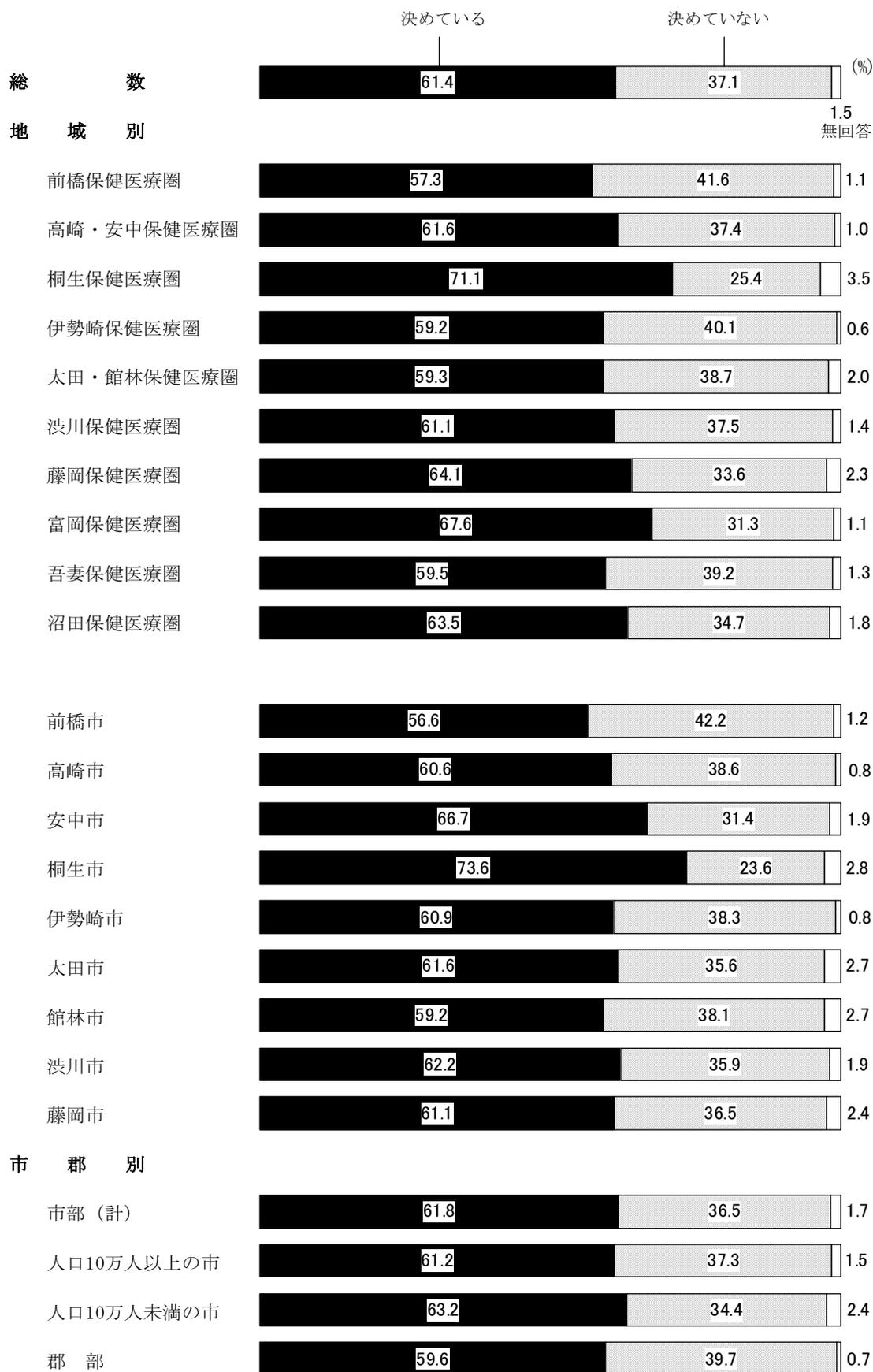


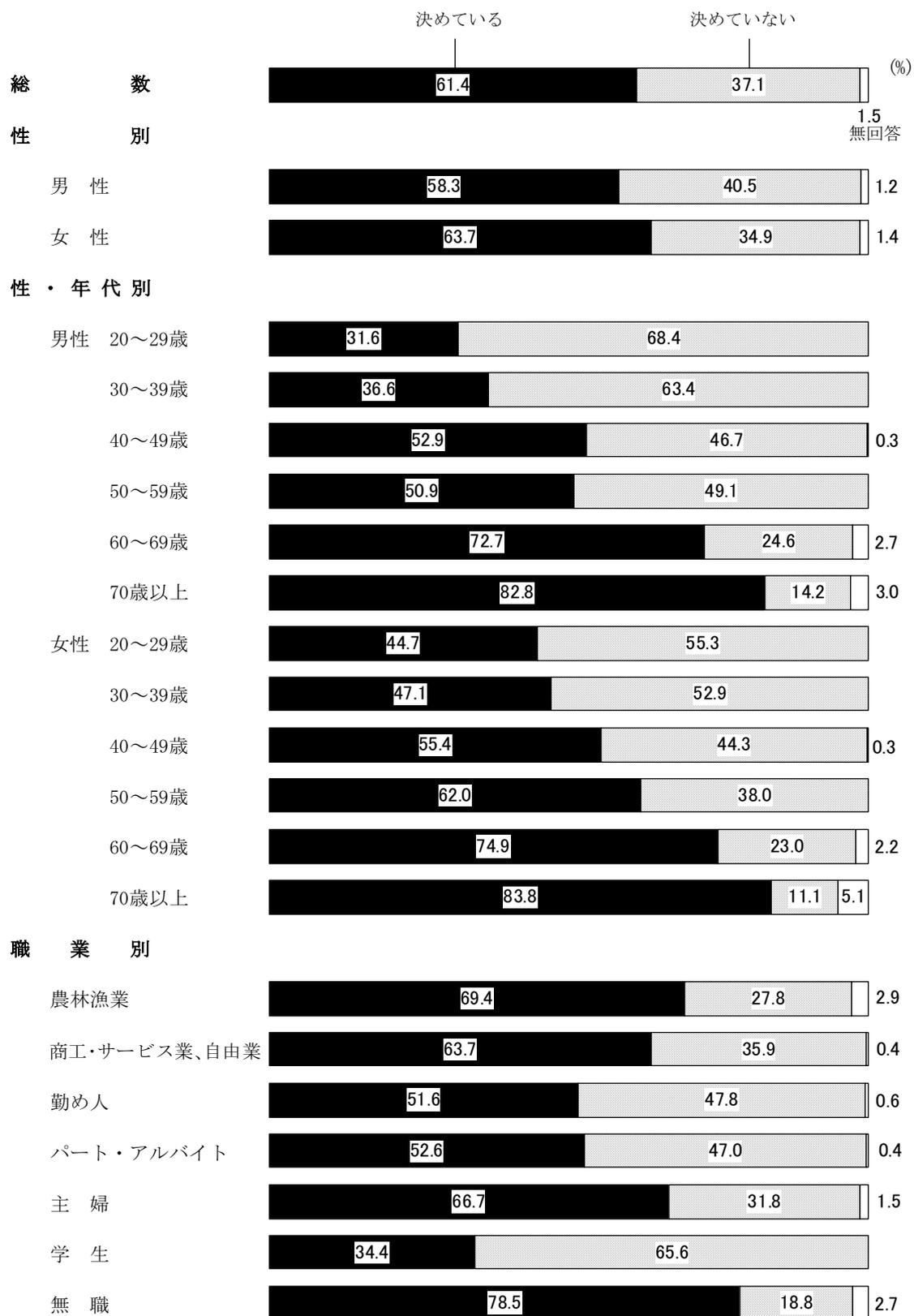
かかりつけ医を「決めている」は61.4%である。

平成15年の調査結果と比べると、「決めている」は66.6%から減少している。

- ◆**地域別** 桐生保健医療圏では「決めている」が、71.1%と70%を超えて他の保健医療圏より多くなっている。
- ◆**市郡別** 市部と郡部の違いは少ない。
- ◆**性別** 女性では「決めている」が63.7%と、男性(58.3%)を上回っている。
- ◆**性・年代別** 男女とも、年齢が高くなるにつれて、「決めている」は増加する傾向にあり、男女とも70歳以上では80%を超えている。
- ◆**職業別** 無職では「決めている」が78.5%と圧倒的に多くなっているほか、農林漁業、商工・サービス業、自由業、主婦でも60%を超えている。

図 8 - 2 かかりつけ医の有無



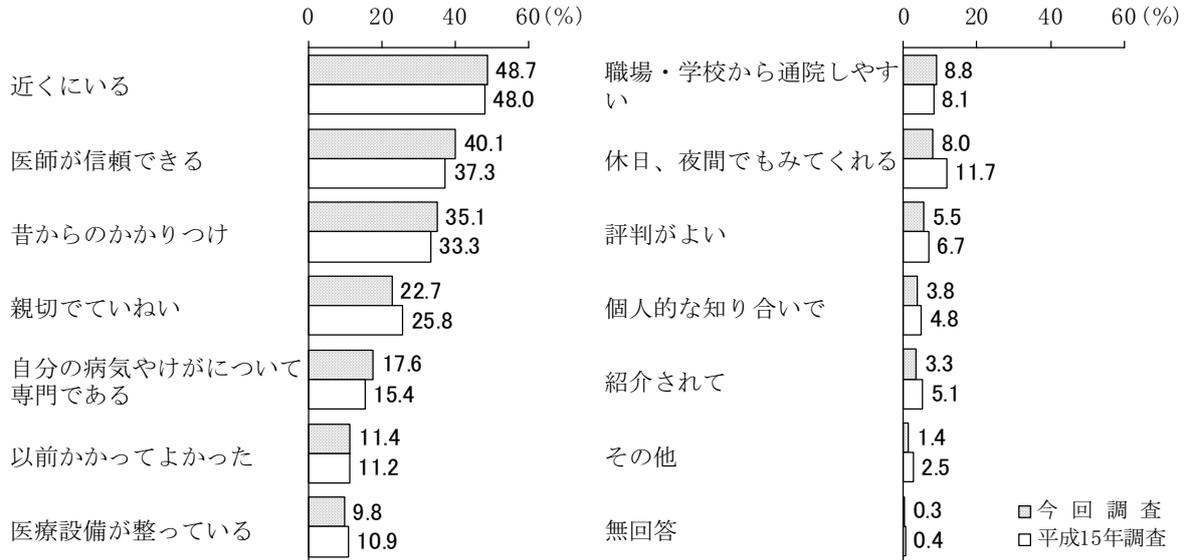


(2) かかりつけ医を決めている理由
 ～ 「近くにいる」49%が半数近い ～

問11-1 かかりつけ医師を決めているのは、どういう理由からですか。(〇は3つまで)

図8-3

(n=かかりつけ医師を決めている人)

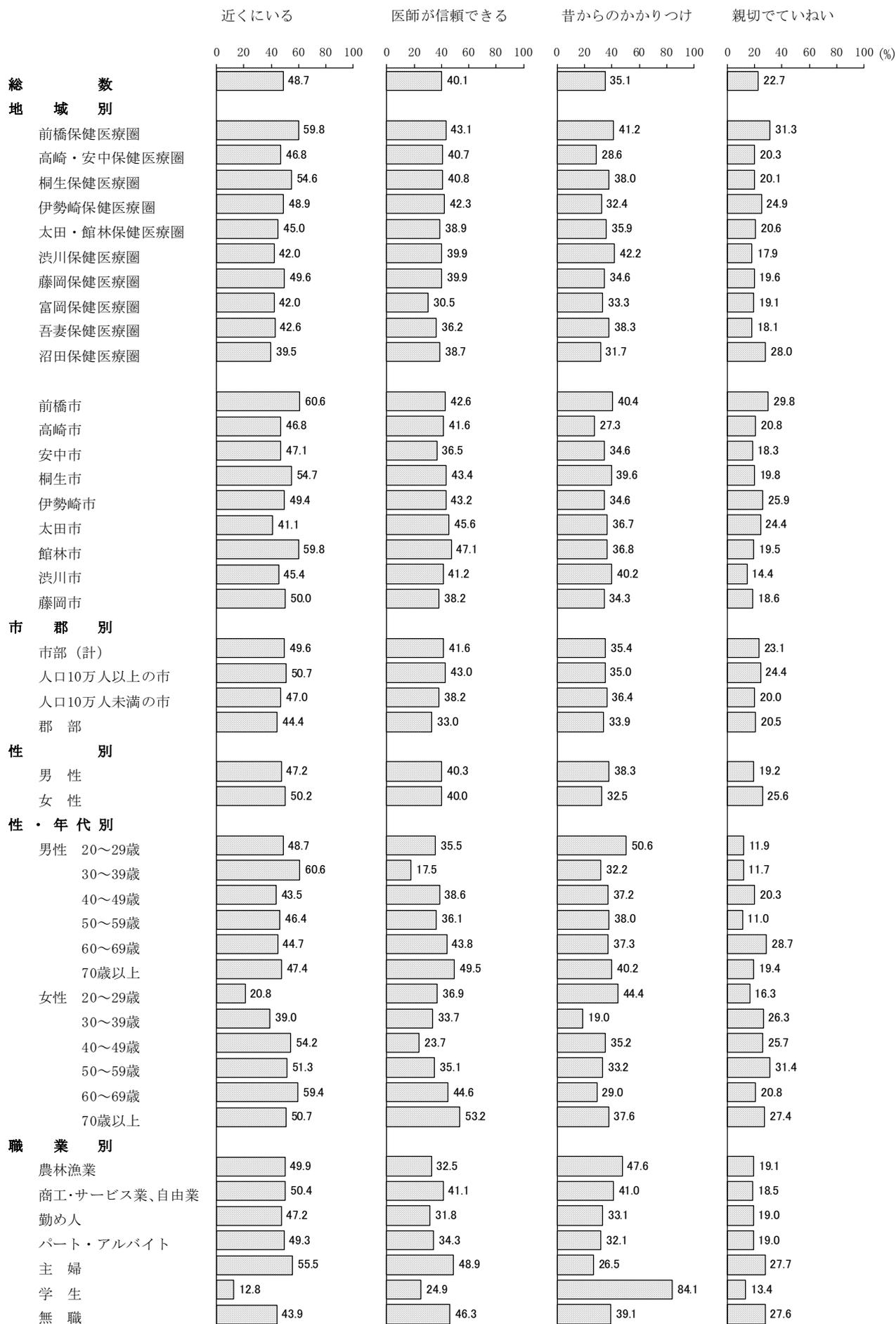


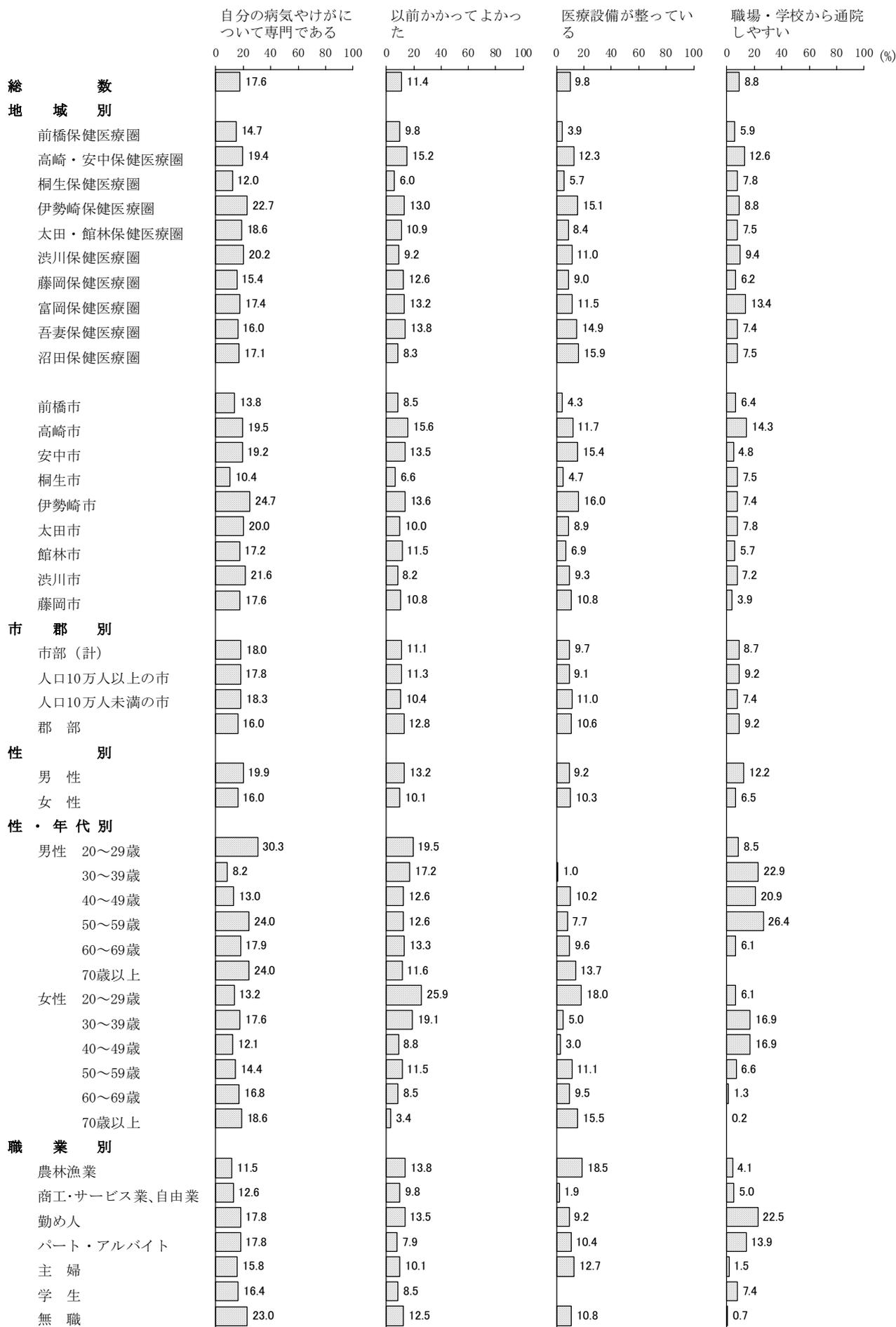
かかりつけ医を「決めている」人(61.4%)にその理由を聞くと、「近くにいる」が48.7%で最も多く、以下「医師が信頼できる」(40.1%)、「昔からのかかりつけ」(35.1%)の順で続いている。

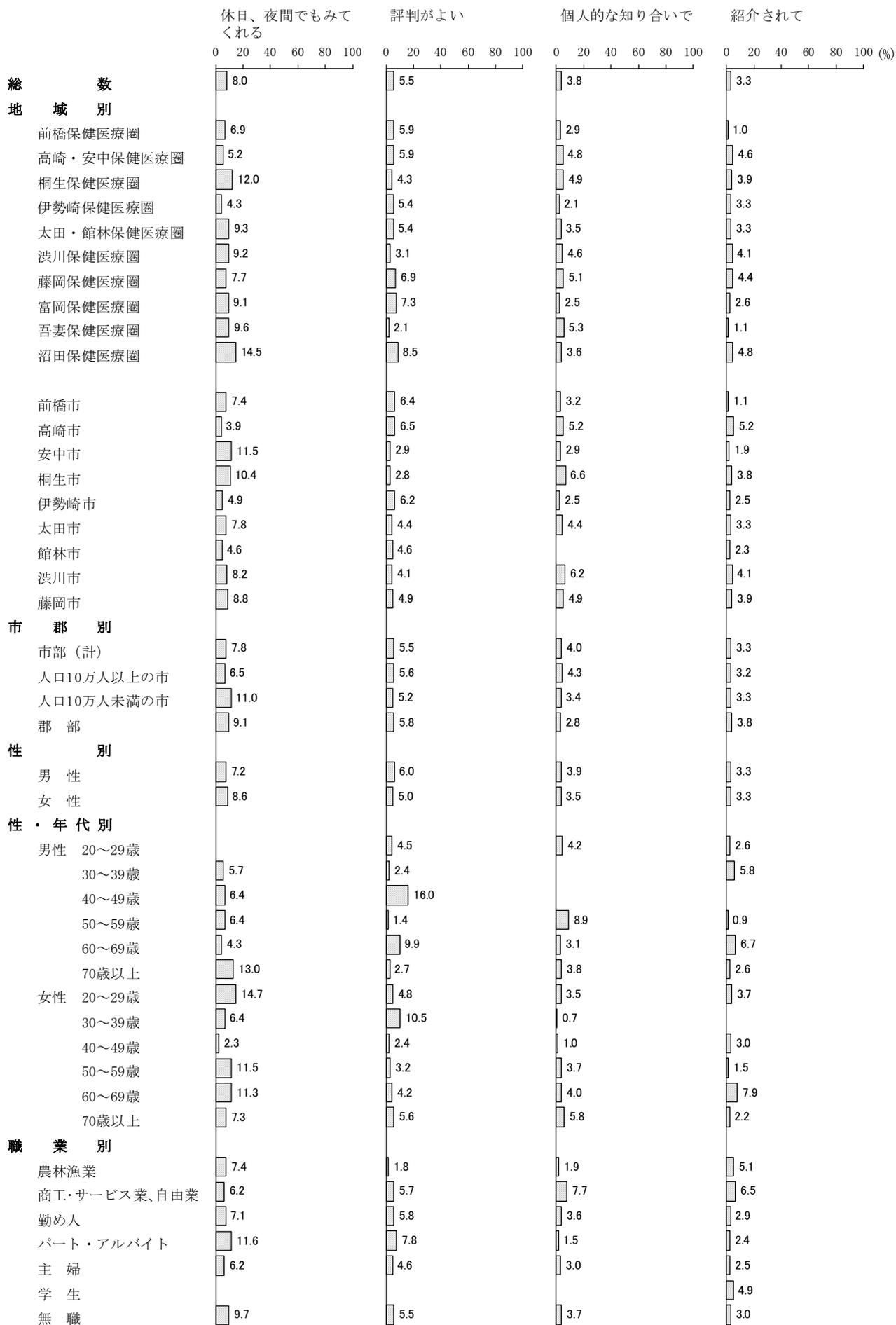
平成15年の調査結果と比べると、上位5項目は変わらない。

- ◆**地域別** 前橋保健医療圏、桐生保健医療圏では、「近くにいる」が50%台半ば以上と多くなっている。また、前橋保健医療圏と渋川保健医療圏では、「昔からのかかりつけ」が40%を超えている。
- ◆**市郡別** 人口規模が大きいほど「近くにいる」と「医師が信頼できる」が増加している。
- ◆**性別** 男女とも上位2位には大きな差異は認められないが、男性では「昔からのかかりつけ」が38.3%と女性(32.5%)を上回り、女性では「親切でていねい」が25.6%と男性(19.2%)を上回る。
- ◆**性・年代別** 男性の30代と女性の60代では「近くにいる」が60%前後と多くなっている。男女とも60代以上の年齢では「医師が信頼できる」が多く、男性の20代では「昔からのかかりつけ」が多くなっている。
- ◆**職業別** 学生を除くすべての職業で「近くにいる」が40%と多くなっている。学生では「昔からのかかりつけ」が84.1%と最も多くなっている。

図8-4 かかりつけ医を決めている理由







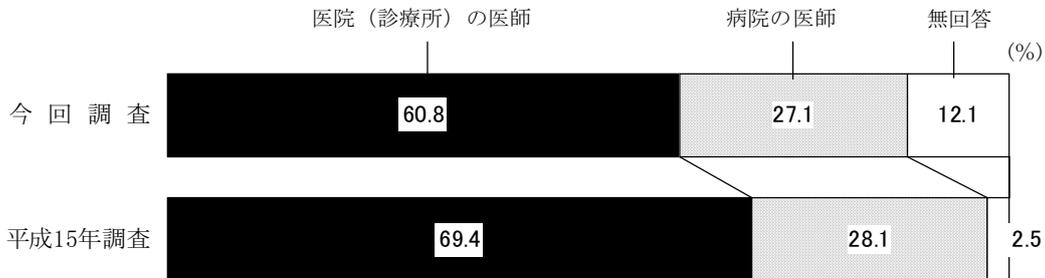
(3) かかりつけ医の種類

～ 「医院（診療所）の医師」61%が多い ～

問11-2 かかりつけ医師は医院（診療所）の医師ですか。病院の医師ですか。（○は1つだけ）

図8-5

（n=かかりつけ医師を決めている人）



注) 病院とは、病床20以上の医療機関をいいます。

かかりつけ医の種類としては「医院（診療所）の医師」が60.8%、「病院の医師」が27.1%となっている。

平成15年の調査結果と比較すると「医院（診療所）の医師」は、前回の69.4%から減少している。

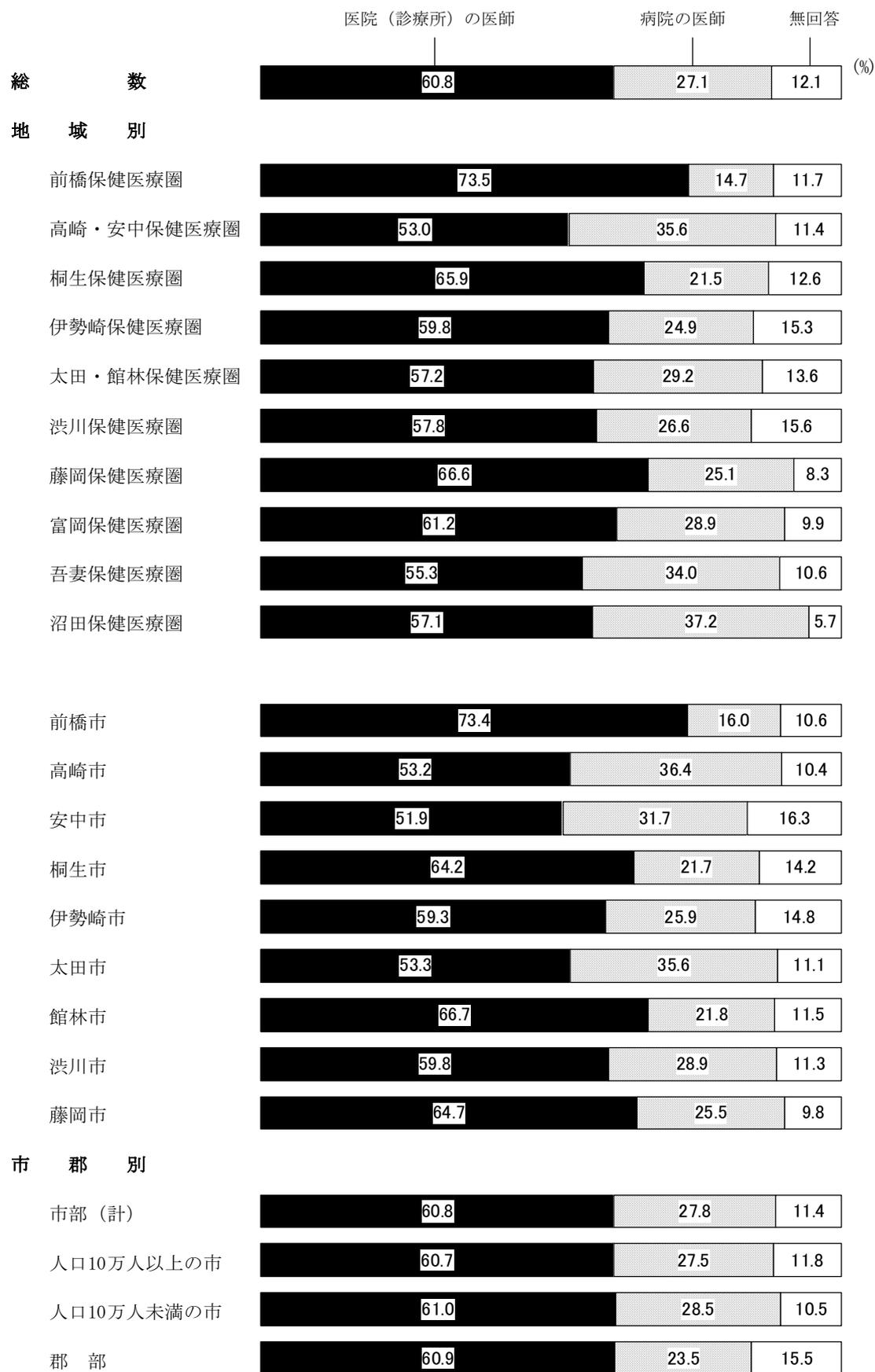
◆**地域別** 前橋保健医療圏では、「医院（診療所）の医師」が73.5%と際立って多く、これに次いで桐生保健医療圏が65.9%、藤岡保健医療圏が66.6%と65%台を超えている。

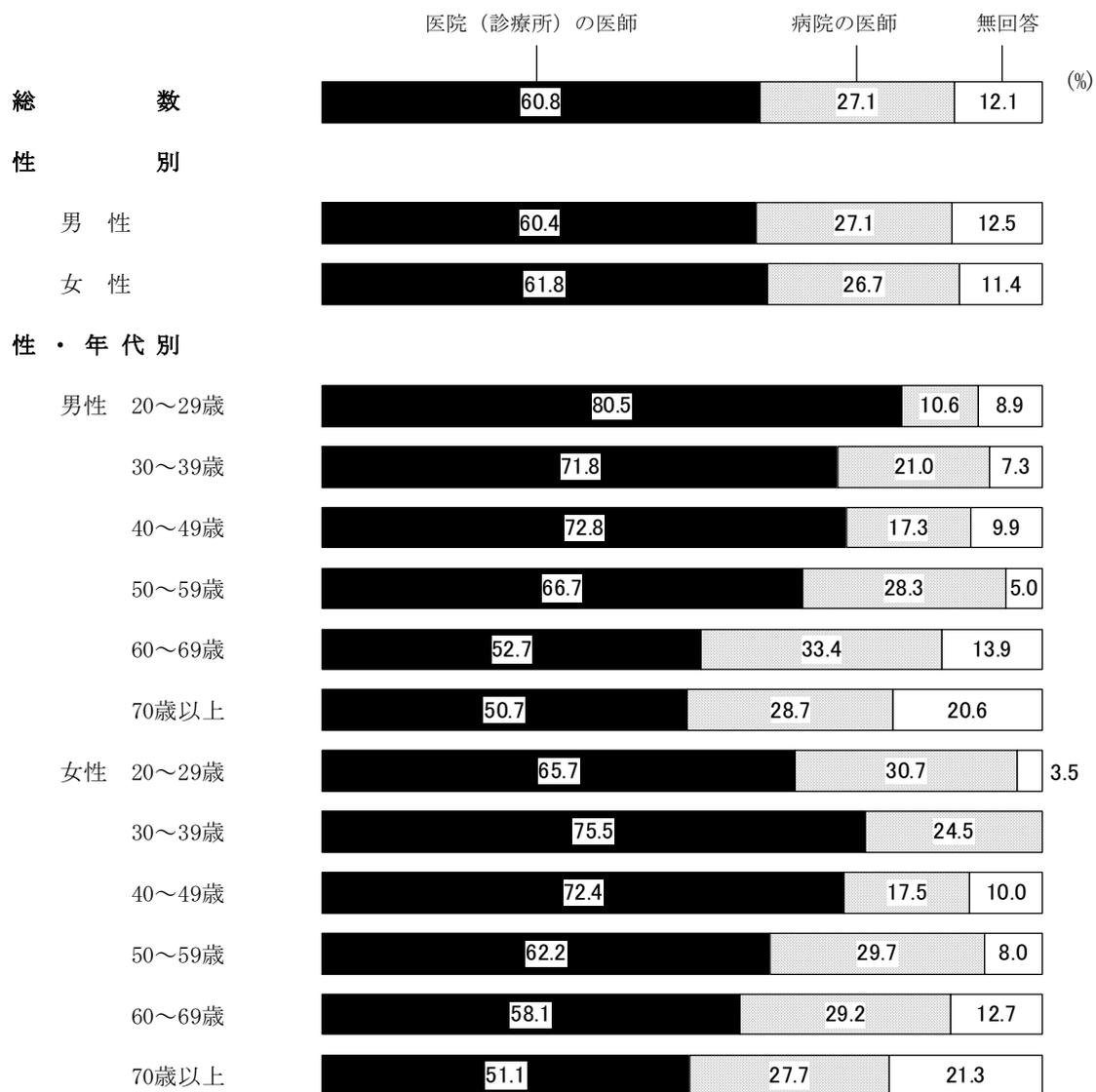
◆**市郡別** 郡部と市部、また人口規模による相違はほとんどない。

◆**性別** ほとんど男女差はない。

◆**性・年代別** 男性の20代から40代と女性の30代、40代では、「医院（診療所）の医師」が70%を超えている。特に男性の20代では80.5%と多くなっている。

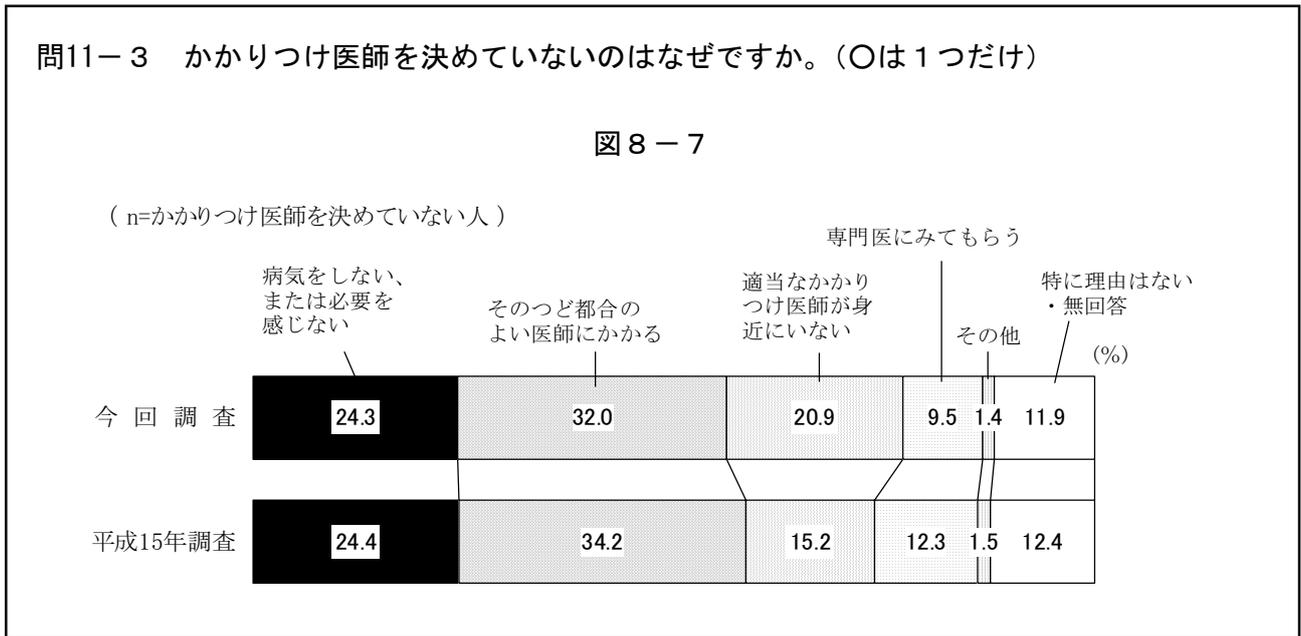
図 8 - 6 かかりつけ医の種類





(4) かかりつけ医を決めていない理由

～ 「そのつど都合のよい医師にかかる」が32% ～



かかりつけ医を「決めていない」人(37.1%)に、その理由をきくと、「そのつど都合のよい医師にかかる」が32.0%で最も多く、以下「病気をしない、または必要を感じない」(24.3%)、「適当なかかりつけ医師が身近にいない」(20.9%)の順で続いている。

平成15年の調査結果と比べると、「適当なかかりつけ医師が身近にいない」が15.2%から増加している。

◆**地域別** 高崎・安中保健医療圏、富岡保健医療圏では「適当なかかりつけ医師が身近にいない」が20%台後半と、他の保健医療圏よりやや多くなっている。

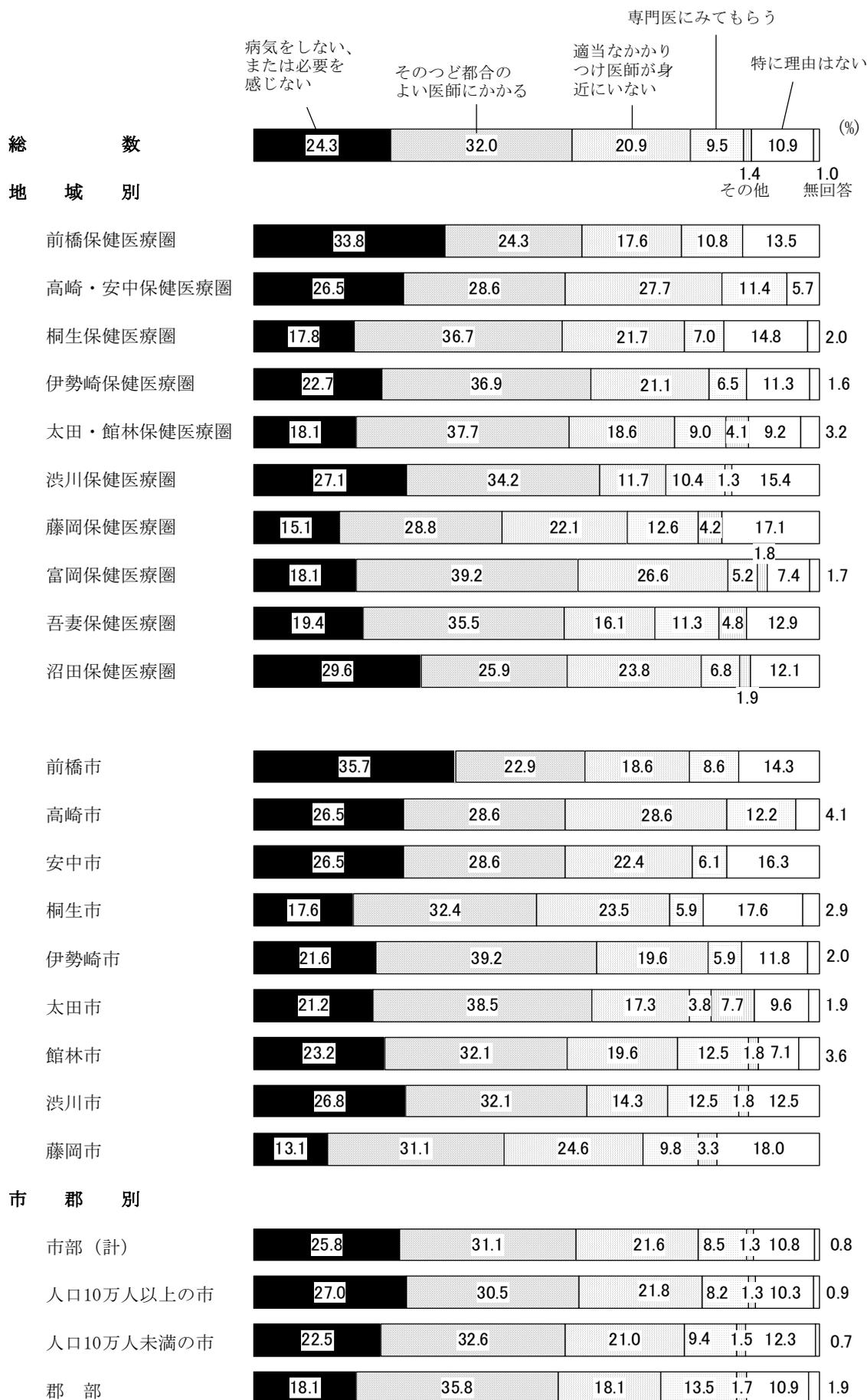
◆**市郡別** 郡部では「そのつど都合のよい医師にかかる」が35.8%と、市部の31.1%よりやや多く、市部では「適当なかかりつけ医師が身近にいない」が21.6%と郡部の18.1%よりやや多くなっている。

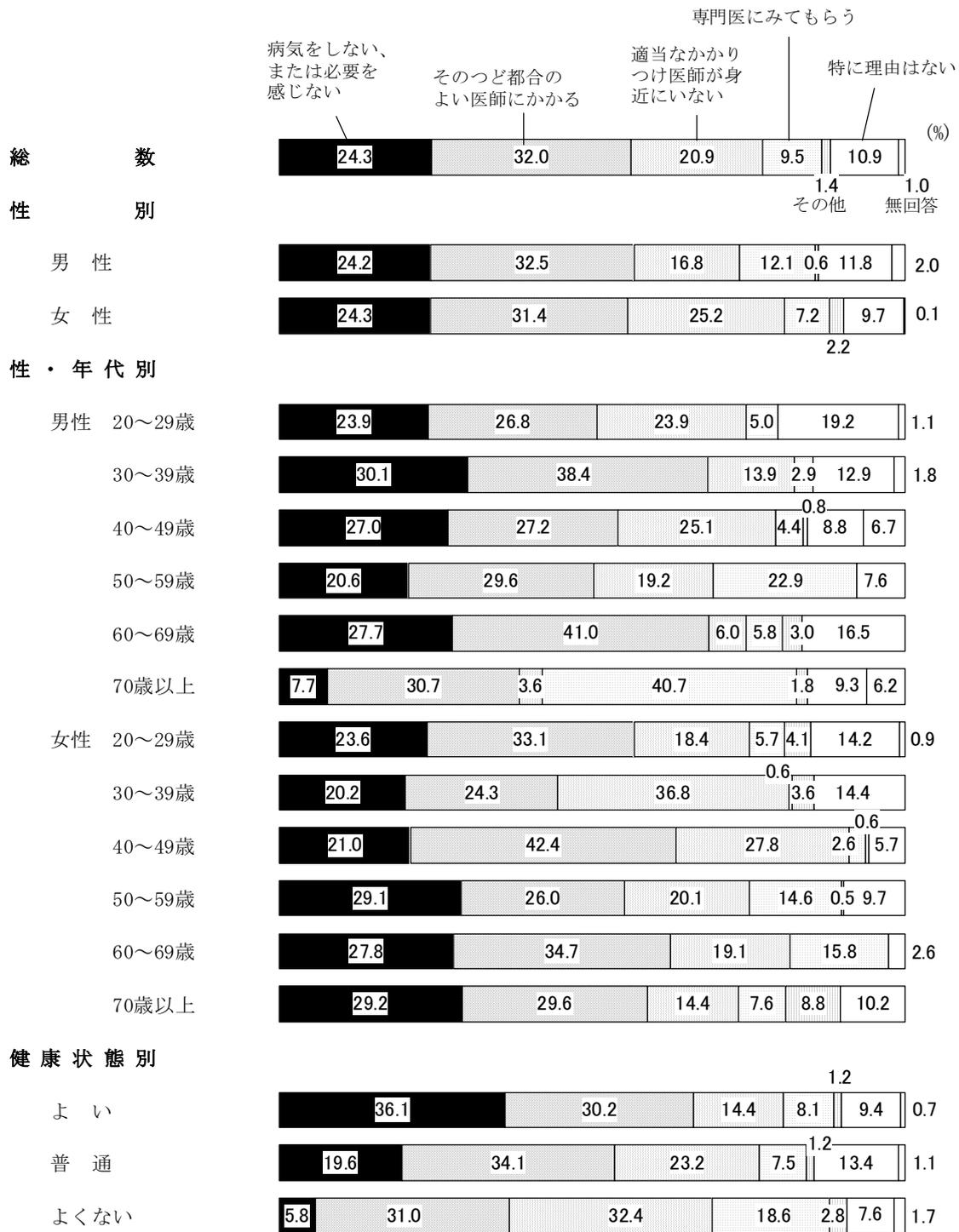
◆**性別** 女性では、「適当なかかりつけ医師が身近にいない」が25.2%と男性(16.8%)を上回る。

◆**性・年代別** 男性の30代、60代、女性の40代では「そのつど都合のよい医師にかかる」が、いずれも40%前後と多くなっている。また、男性では70歳以上、女性では30代で「適当なかかりつけ医師が身近にいない」が他の年齢より多くなっている。

◆**健康状態別** 健康状態のよくない人ほど「適当なかかりつけ医師が身近にいない」が増加しており、よくないという人では32.4%となっている。

図 8-8 かかりつけ医を決めていない理由





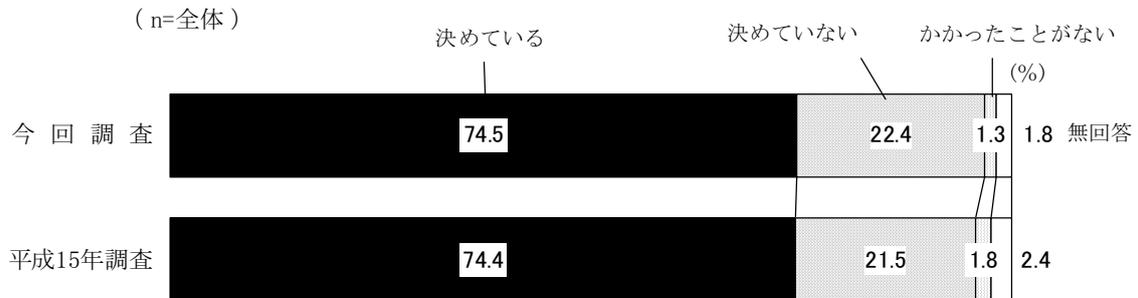
9 かかりつけ歯科医

(1) かかりつけ歯科医の有無

～ 「決めている」は4人に3人 ～

問12 あなたは、かかりつけの歯科医を決めていますか。(○は1つだけ)

図9-1



かかりつけ歯科医を「決めている」は74.5%を占めている。一方、「決めていない」は22.4%である。平成15年の調査結果との比較では、ほぼ同様となっている。

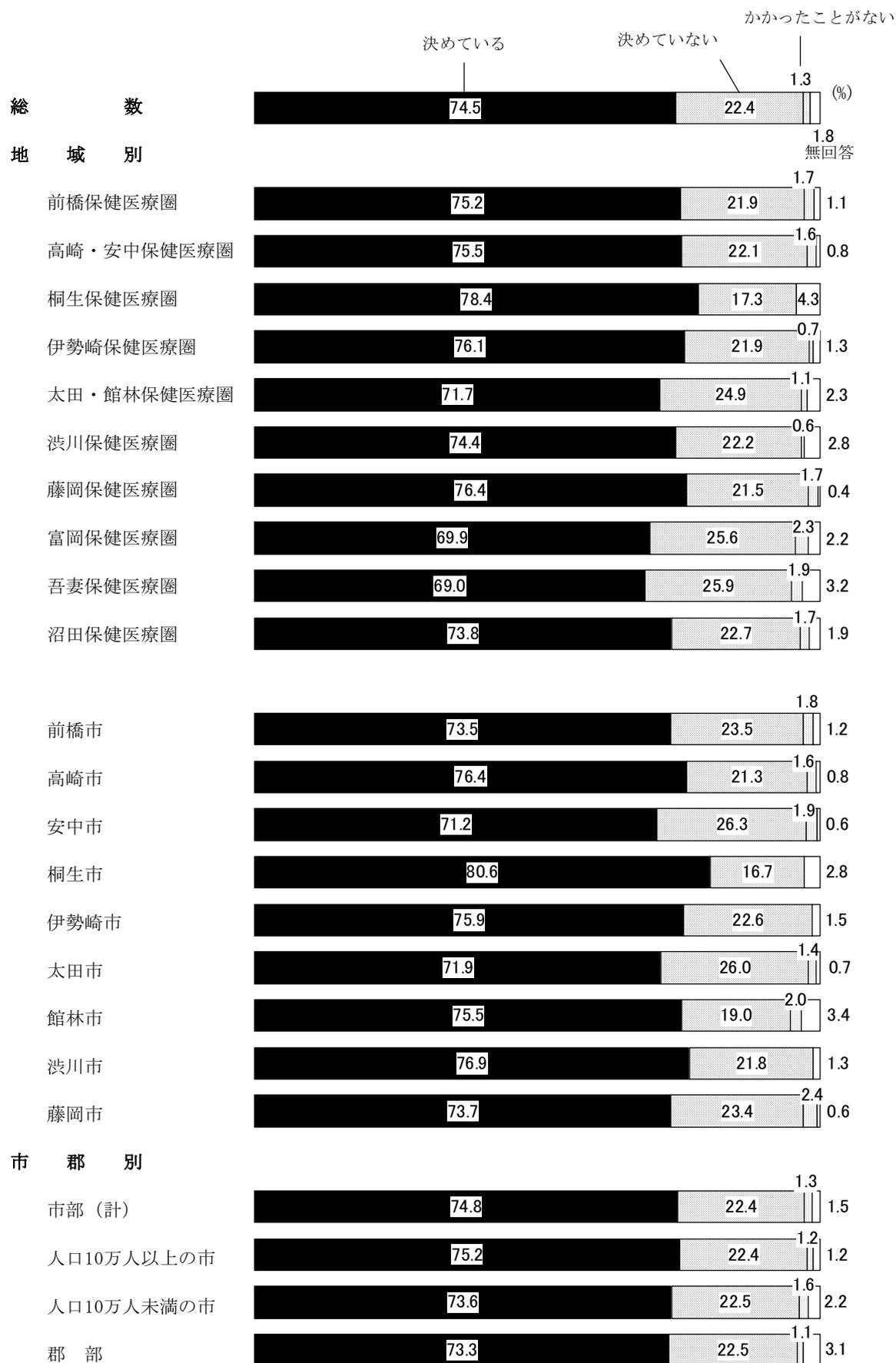
◆**地域別** 全地域中、「決めている」が最も少ない吾妻保健医療圏でも69.0%を占めており、すべての保健医療圏で70%前後となっている。

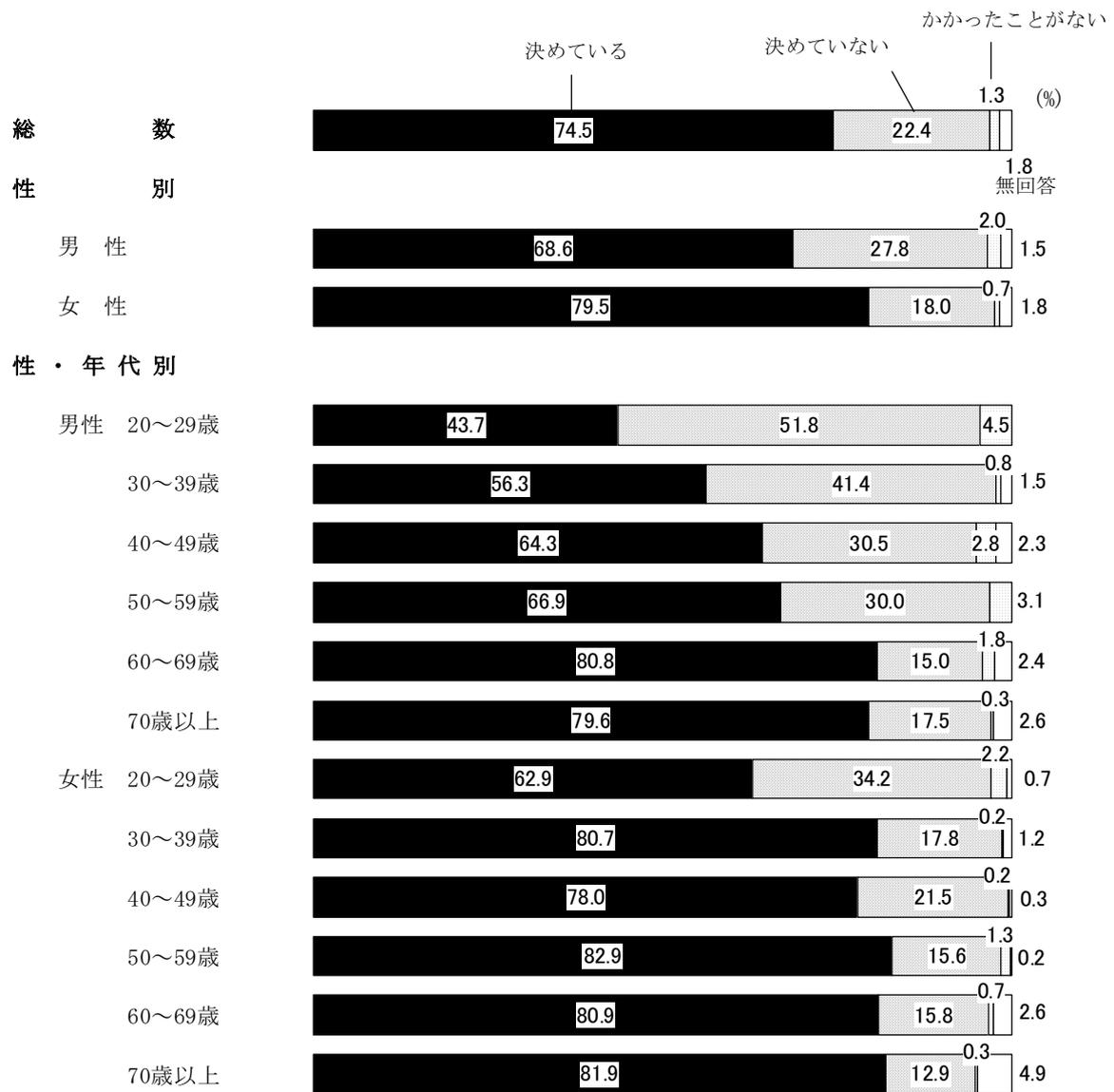
◆**市郡別** 市部と郡部の違いはあまりない。

◆**性別** 女性では「決めている」が79.5%と、男性(68.6%)を10ポイント以上、上回っている。

◆**性・年代別** 男性の場合、20代では「決めている」が43.7%と低いが、年齢が高くなるにつれて増加し、60代、70歳以上では80%前後に達している。女性は、全年代にわたって、「決めている」が、男性を上回っているが、20代で62.9%と低く、30代以上の年齢では80%前後を占めている。

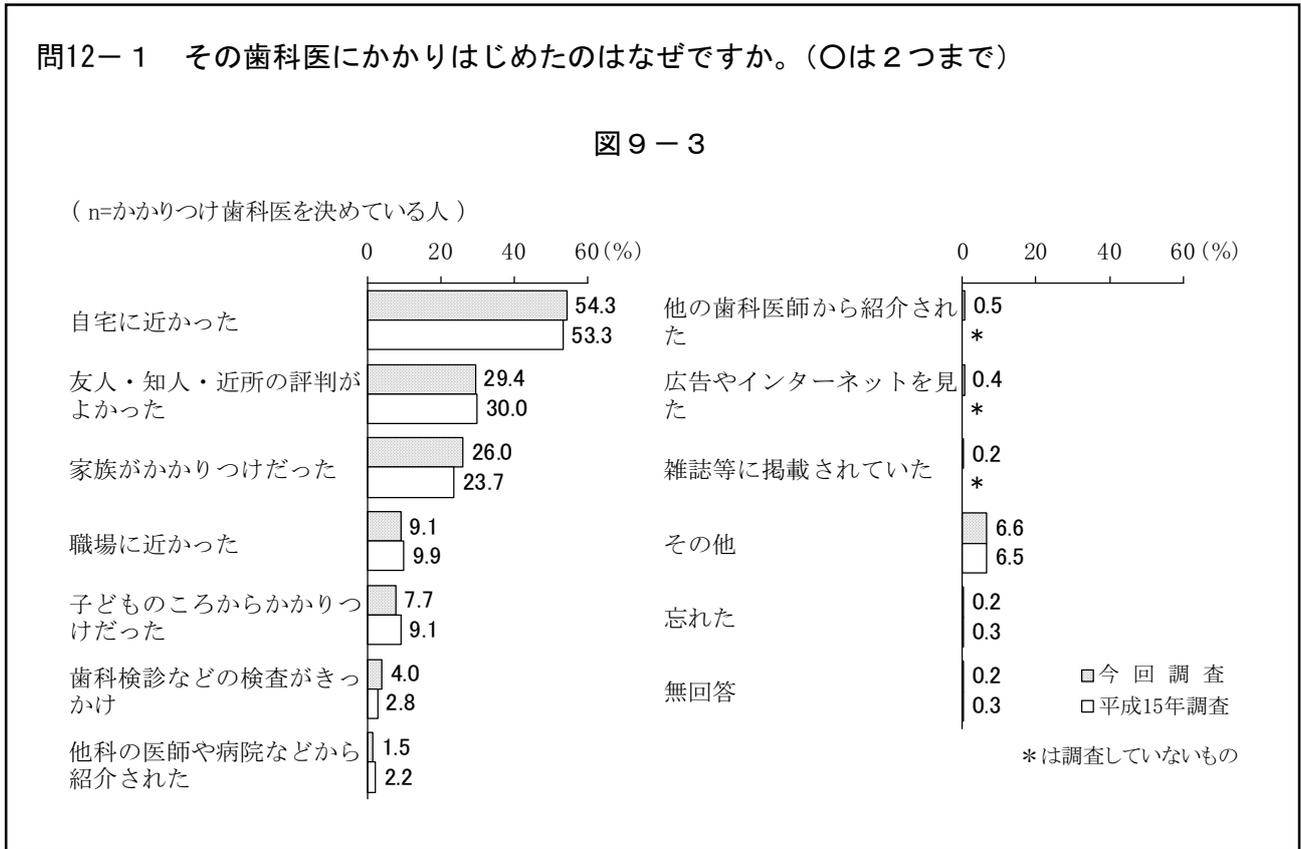
図9-2 かかりつけ歯科医の有無





(2) かかりつけ歯科医を決めている理由

～ 「自宅に近かった」54%が過半数 ～

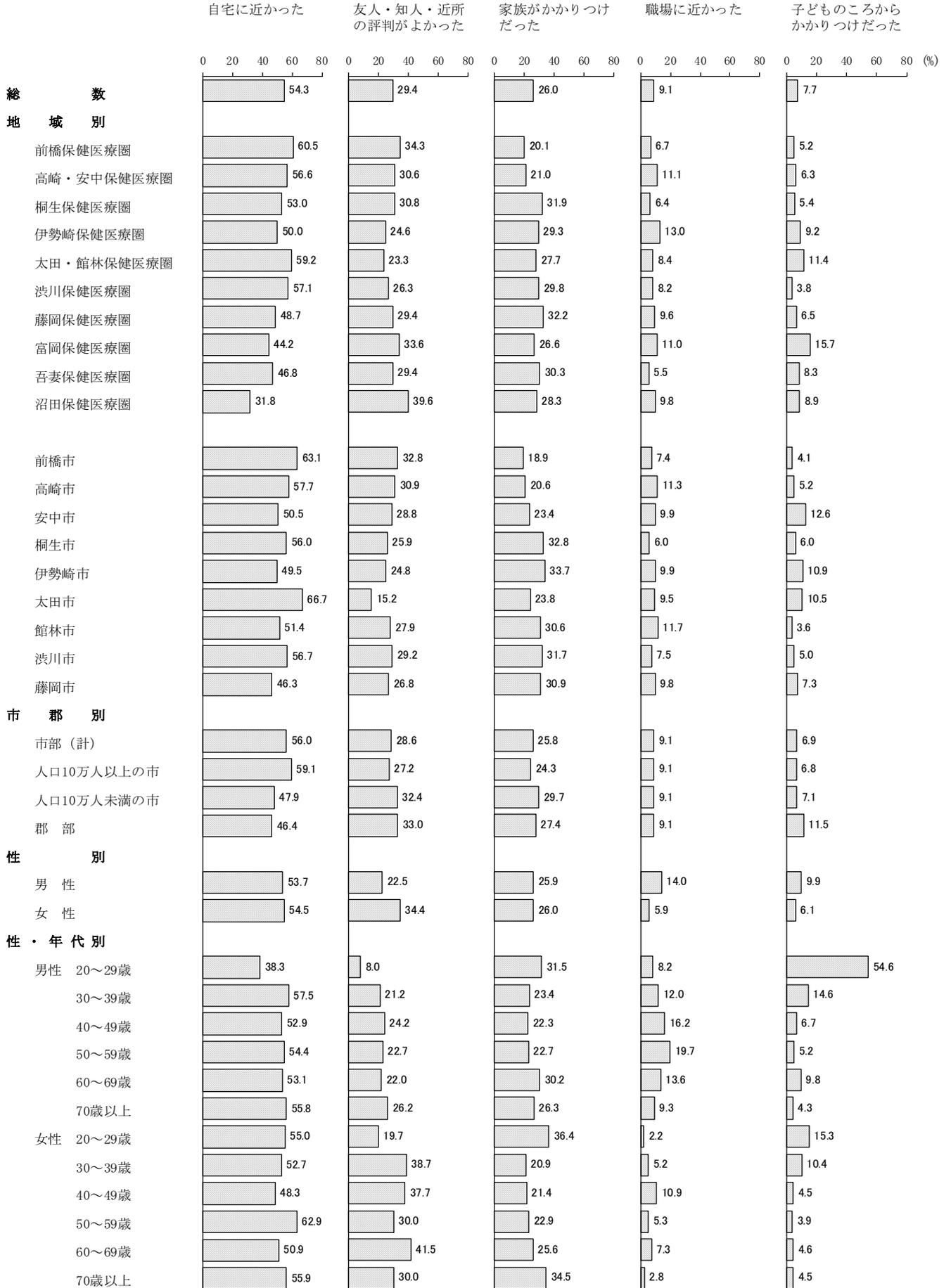


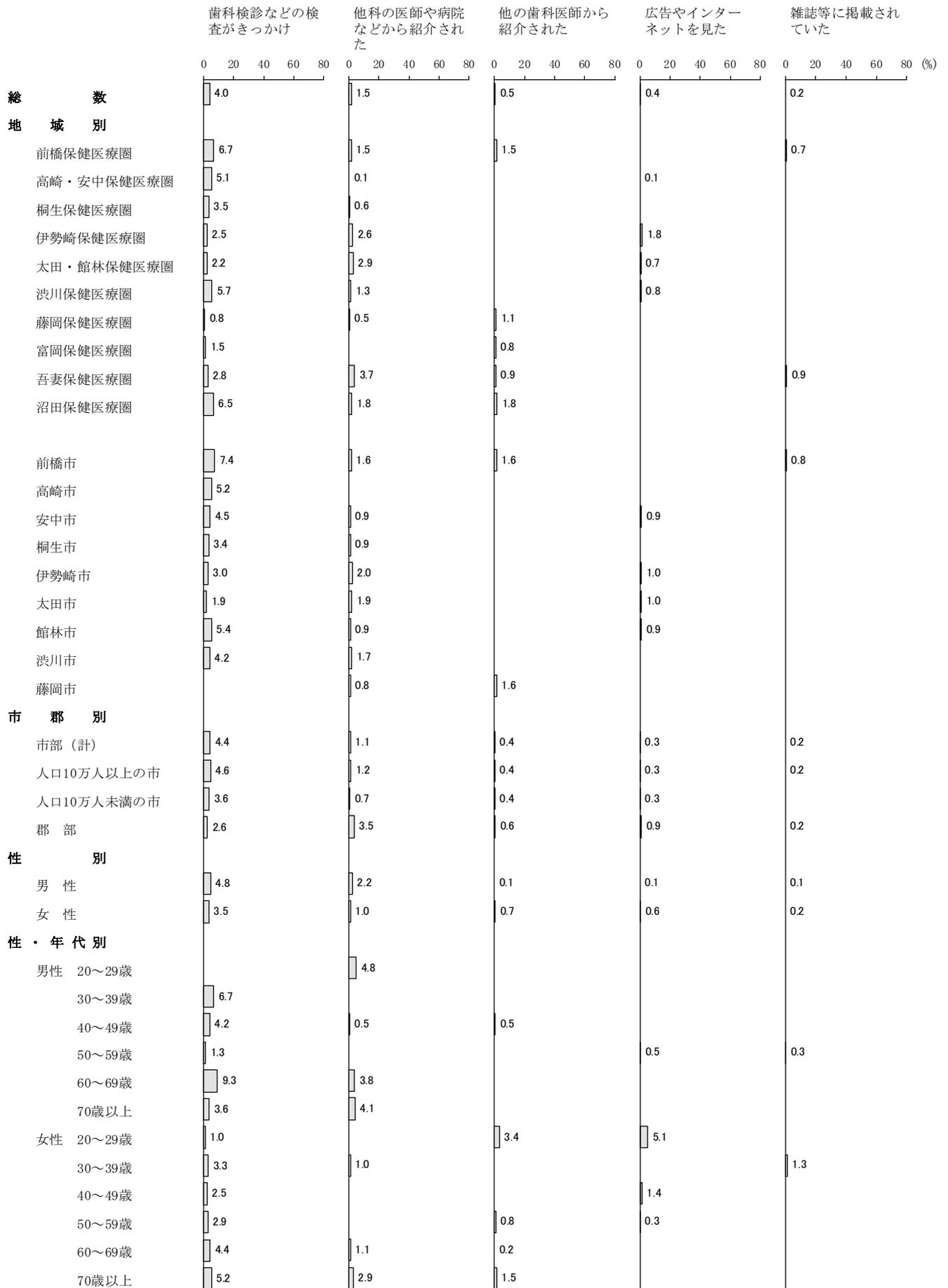
かかりつけ歯科医を「決めている」人(74.5%)に、その理由をきくと、「自宅に近かった」が54.3%で最も多く、以下「友人・知人・近所の評判がよかった」(29.4%)「家族がかかりつけだった」(26.0%)の順で続いている。

平成15年の調査結果との比較では、上位項目についてはほぼ同様となっている。

- ◆**地域別** いずれの保健医療圏でも、上位3項目に集中する傾向は共通している。ただ、沼田保健医療圏をのぞく医療圏ではいずれも「自宅に近かった」が最大の理由となっているが、沼田保健医療圏では「友人・知人・近所の評判がよかった」が39.6%で、「自宅に近かった」(31.8%)を上回っている。
- ◆**市郡別** 人口規模別にみると、人口10万人以上の市では「自宅に近かった」が59.1%と、人口10万人未満の市(47.9%)や郡部(46.4%)より多くなっている。
- ◆**性別** 女性では「友人・知人・近所の評判がよかった」が34.4%と、男性(22.5%)を上回っている。一方、男性では「職場に近かった」が14.0%と、女性(5.9%)より多くなっている。
- ◆**性・年代別** 男性では、20代で、「子どものころからかかりつけだった」が54.6%と、際立って多くなっている。また、女性では、30代、40代、60代で「友人・知人・近所の評判がよかった」が40%前後と、他の年齢に比べて多くなっている。

図9-4 かかりつけ歯科医を決めている理由



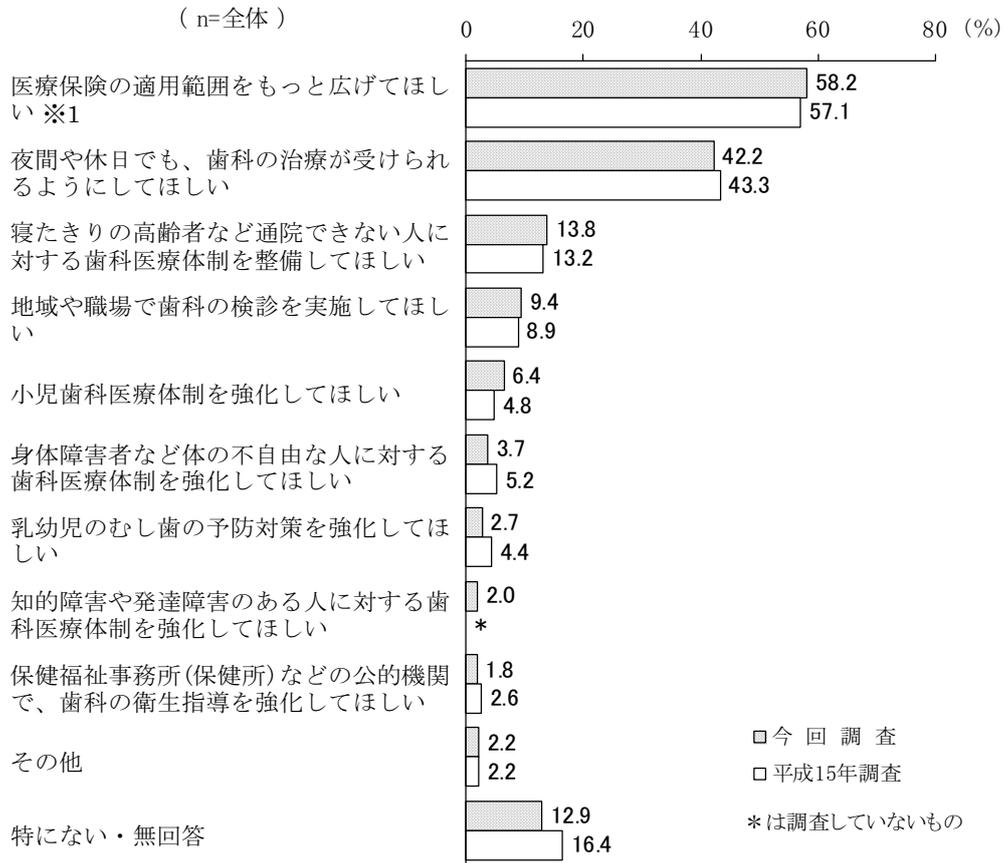


10 歯科の保健医療についての要望

～ 「医療保険の適用範囲をもっと広げてほしい」58%が最多 ～

問13 あなたは、歯科の保健医療についてどのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は2つまで)

図 10-1



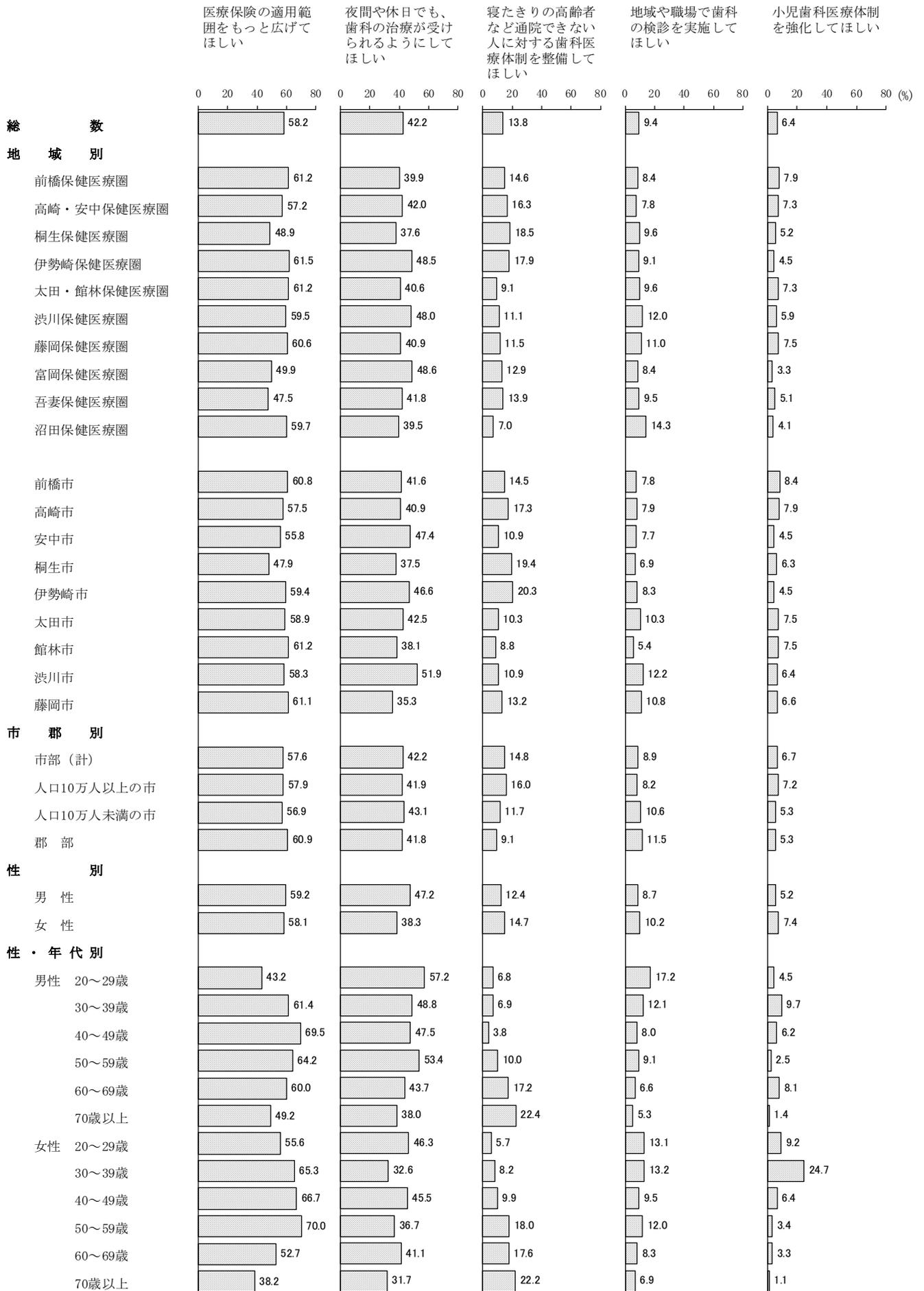
※1 平成15年調査は「保険の適用範囲をもっと広げてほしい」

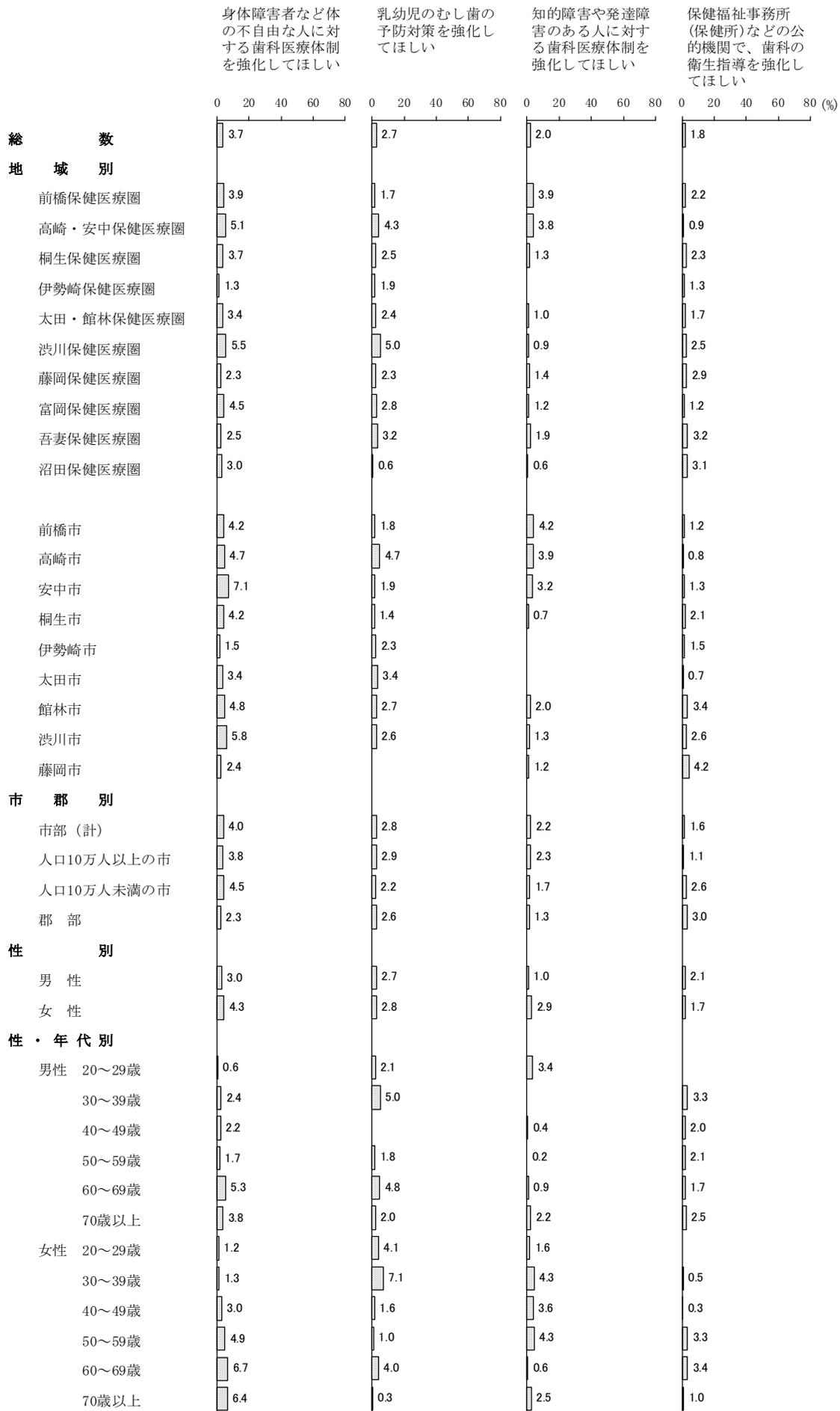
歯科の保健医療についての要望としては「医療保険の適用範囲をもっと広げてほしい」が58.2%で最も多く、これに「夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」(42.2%)が次いでいる。

平成15年の調査結果と比べると、一部選択肢に変更はあるものの、ほとんど変化はみられない。

- ◆**地域別** 伊勢崎保健医療圏、渋川保健医療圏、富岡保健医療圏では、「夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」が、50%近くと多くなっている。
- ◆**市郡別** 上位2項目にはあまり差がみられないが、人口規模が大きいほど「寝たきりの高齢者など通院できない人に対する歯科医療体制を整備してほしい」が増加する傾向がある。
- ◆**性別** 男性では「夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」が47.2%と、女性(38.3%)を上回っている。
- ◆**性・年代別** 男性では、20代と50代で、「夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」が50%を超えている。また、女性では、20代と40代で、「夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」が40%台半ばと多くなっている。

図 10-2 歯科の保健医療についての要望





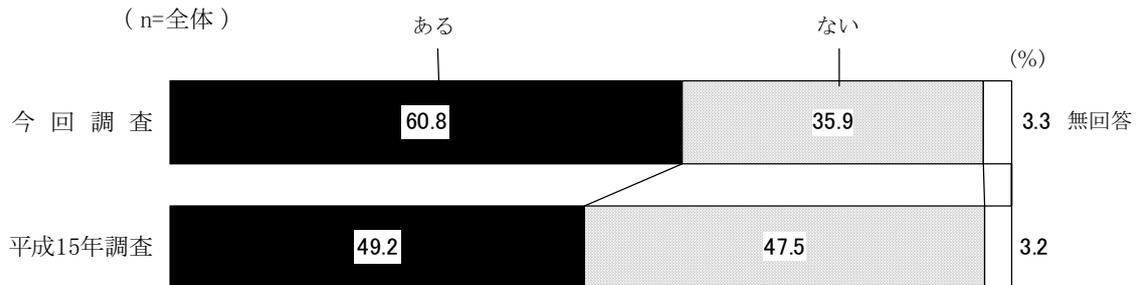
11 薬局について

(1) 院外薬局での調剤の有無

～ 「ある」61%が多数 ～

問14 あなたは、この1年間に、医院（診療所）や病院から処方せんをもらって、院外の薬局で薬を調剤してもらったことがありますか。（○は1つだけ）

図 11-1



この1年間で、薬局で薬を調剤してもらったことが「ある」人は60.8%で、「ない」人の35.9%を大きく上回る。

平成15年の調査結果との比較では、「ある」が49.2%から10ポイント以上の増加となっている。

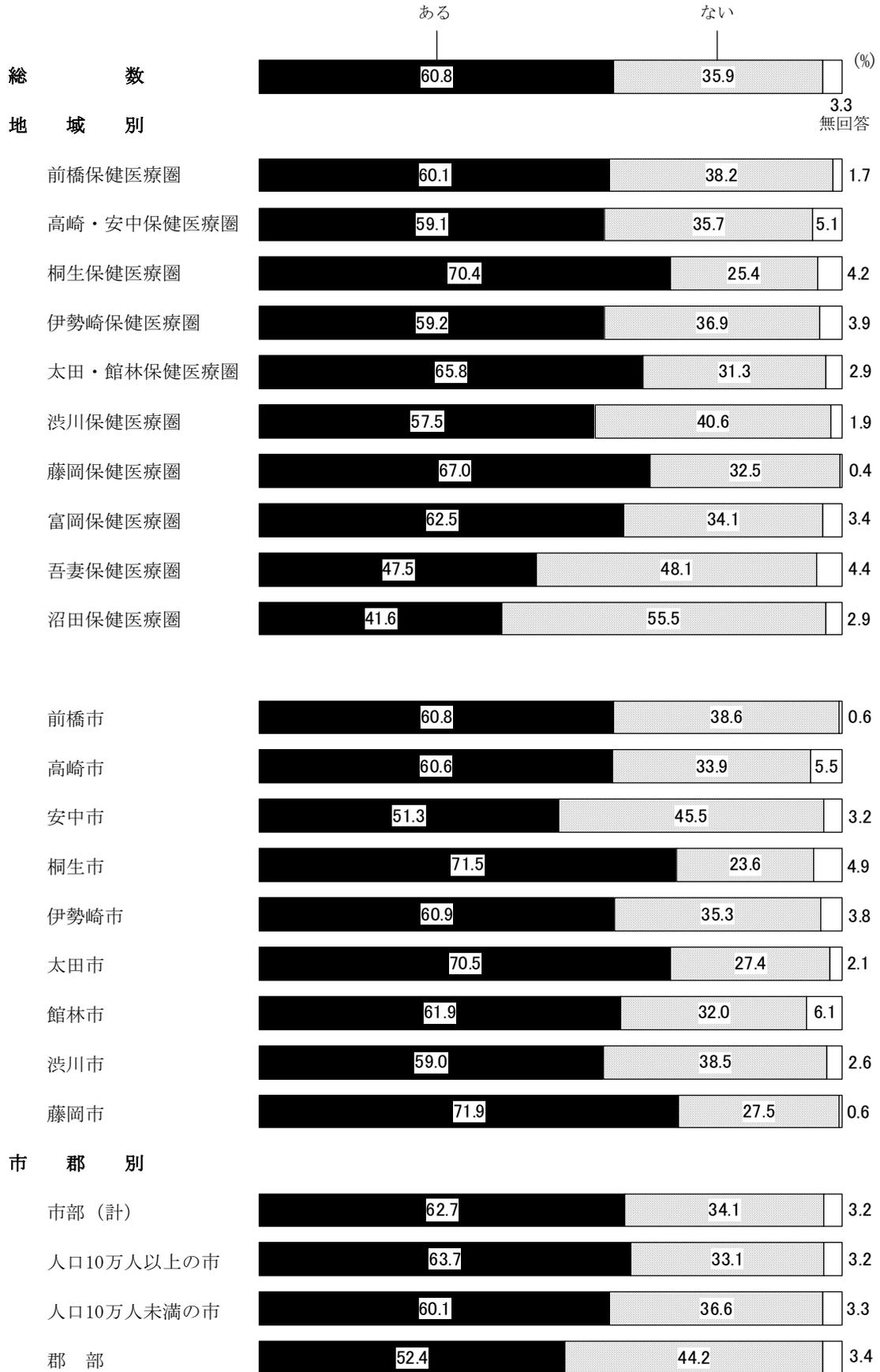
◆**地域別** 桐生保健医療圏で「ある」が70.4%に達するのをはじめ、太田・館林保健医療圏（65.8%）、藤岡保健医療圏（67.0%）で60%台半ばを超えている。一方、吾妻保健医療圏、沼田保健医療圏では「ある」が50%を下回り、特に沼田保健医療圏では、「ない」が55.5%と過半数を占めている。

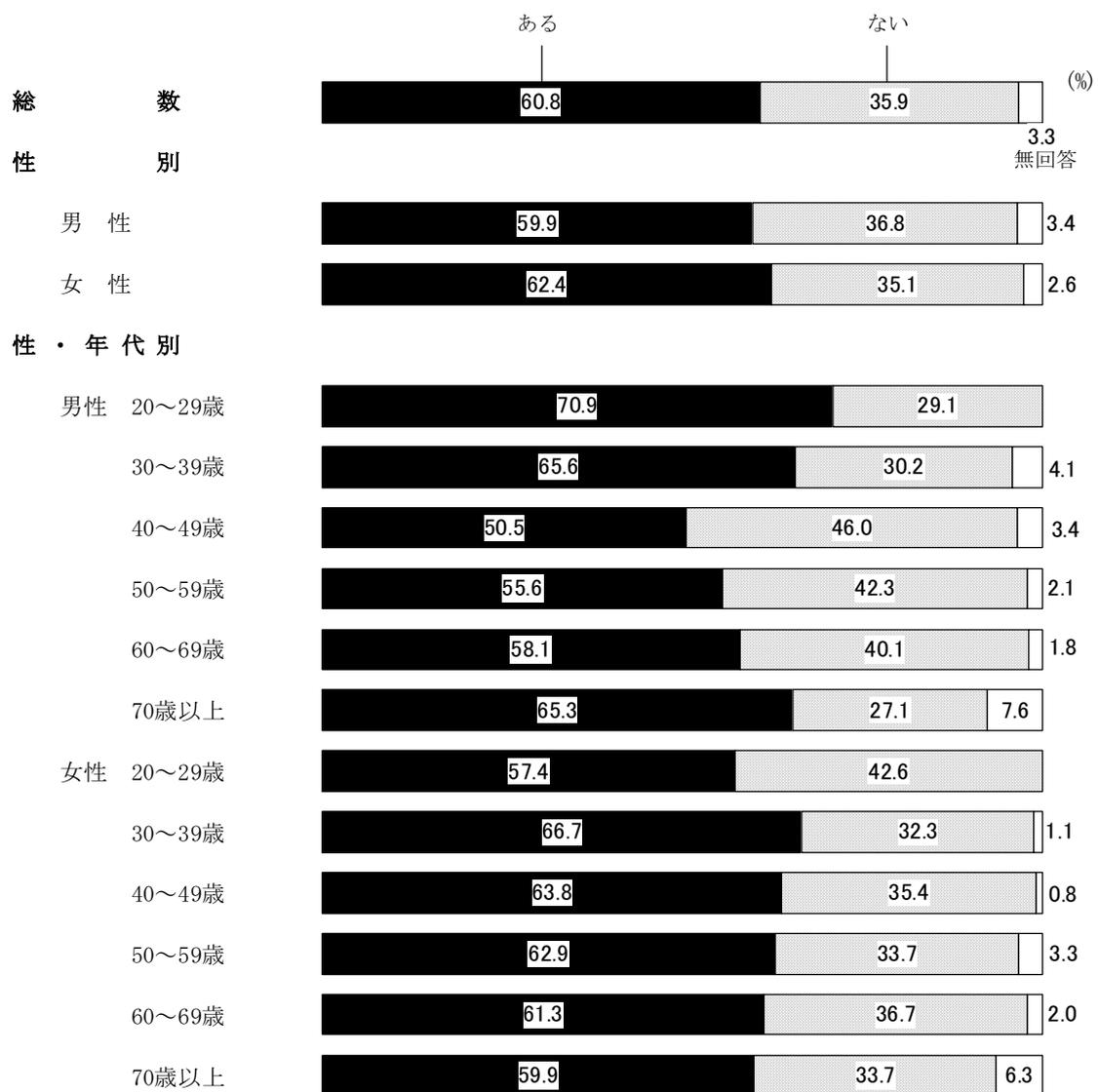
◆**市郡別** 市部では「ある」が62.7%と、郡部（52.4%）より多くなっている。

◆**性別** 男女差はあまりみられない。

◆**性・年代別** 男性では、20代で「ある」が70.9%と最も多く、これに次いで、30代（65.6%）と70歳以上（65.3%）で60%台半ばを占めている。また、女性では、30代で「ある」が66.7%と、全年代中最も多くなっている。

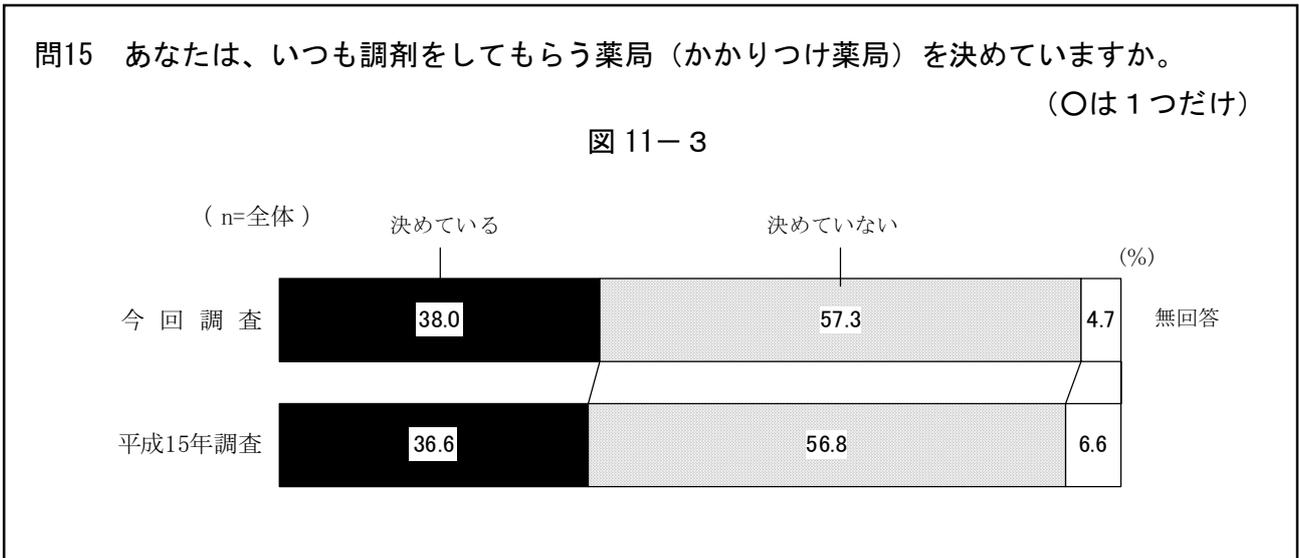
図 11-2 院外薬局での調剤の有無





(2) かかりつけ薬局の有無

～ 「決めている」が38%、「決めていない」が57% ～

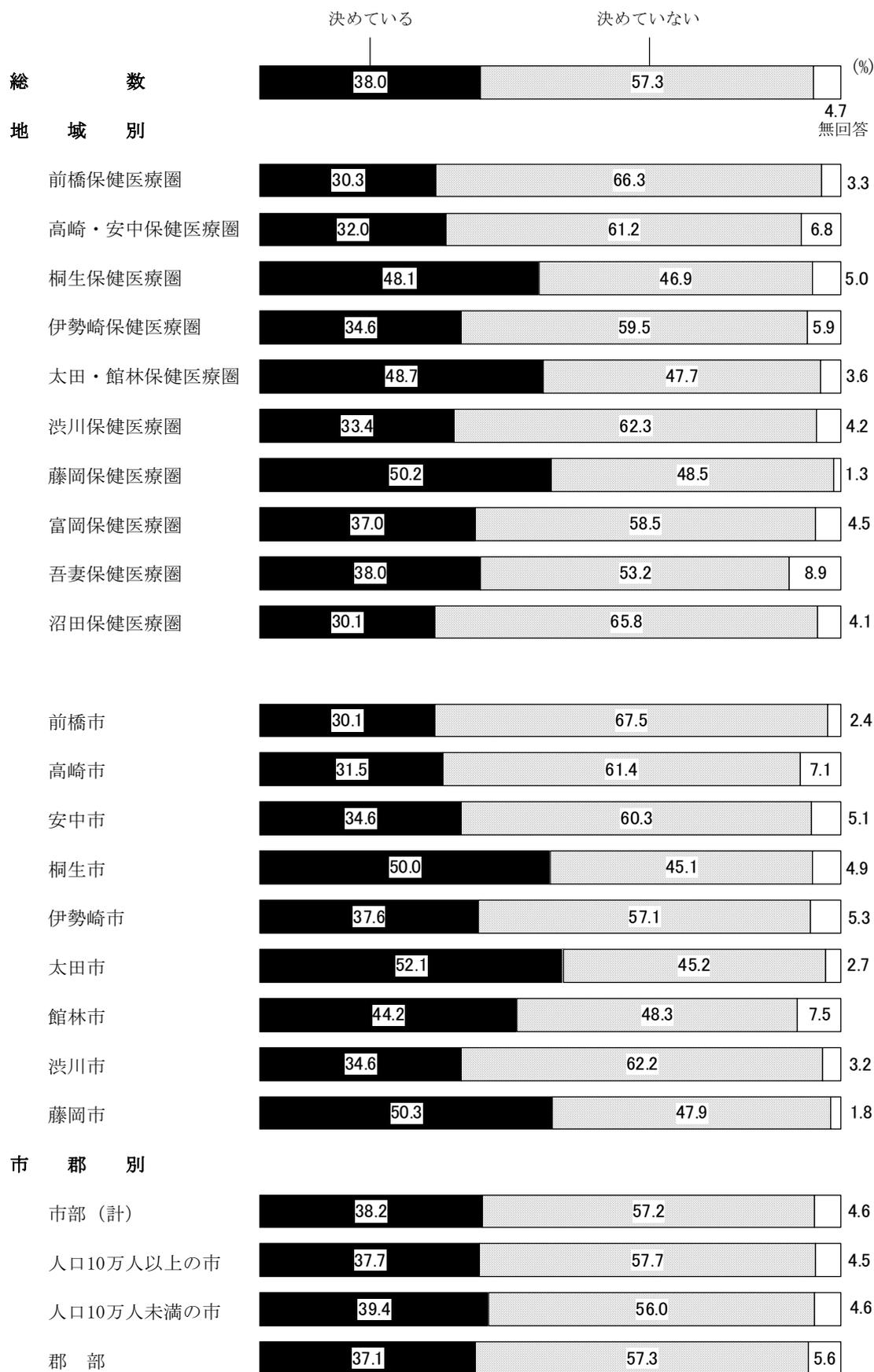


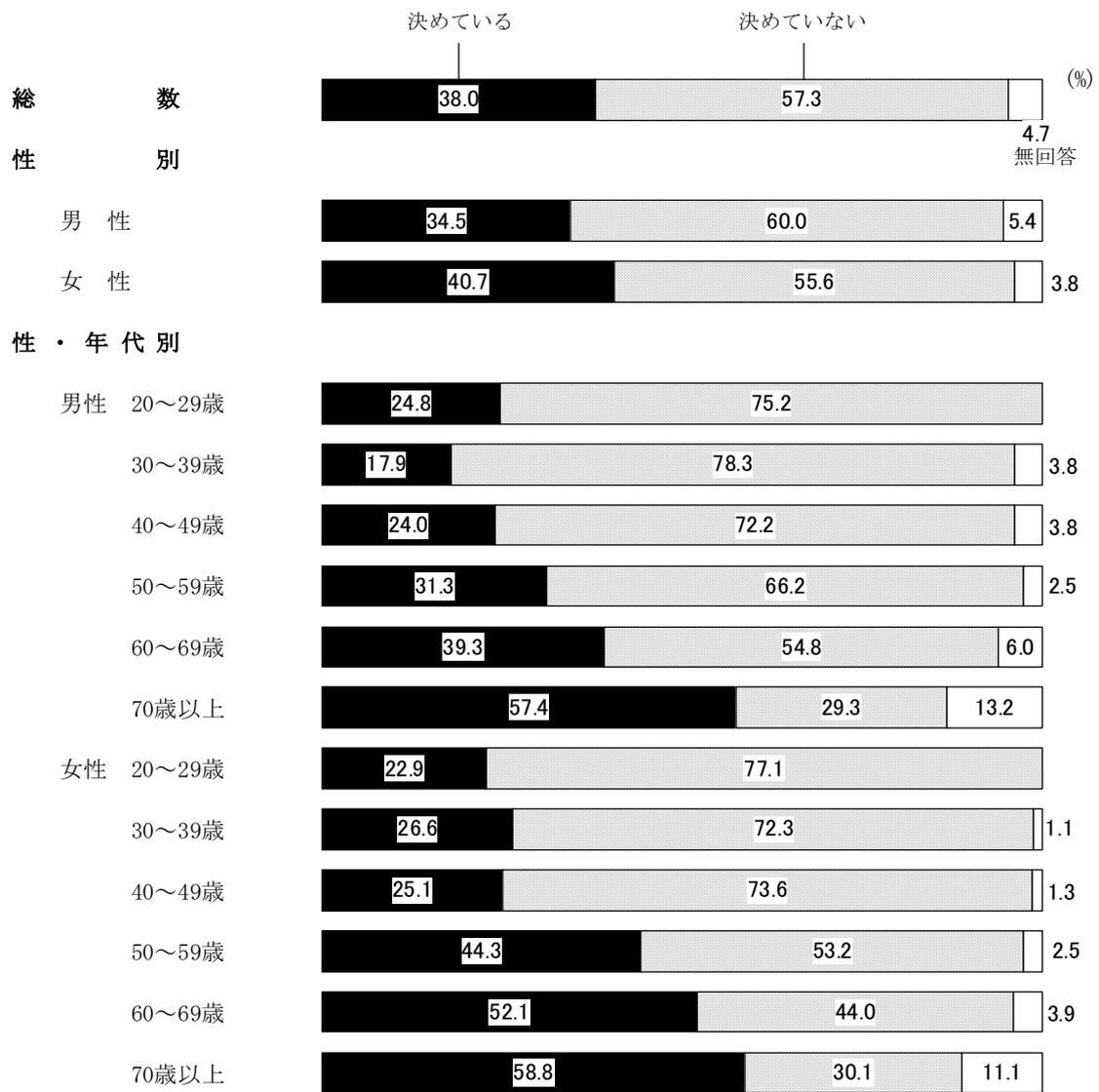
かかりつけ薬局を「決めている」は38.0%、「決めていない」は57.3%となっている。

平成15年の調査結果との比較では、ほぼ同様の結果となっている。

- ◆**地域別** 桐生保健医療圏、太田・館林保健医療圏、藤岡保健医療圏では「決めている」が50%前後を占めている。一方、前橋保健医療圏、沼田保健医療圏は、「決めている」が30%程度に留まっている。
- ◆**市郡別** 市部と郡部の上に大きな相違はない。
- ◆**性別** 女性では「決めている」が40.7%と、男性(34.5%)を上回っている。
- ◆**性・年代別** 男女とも、年齢が高くなるにつれて、「決めている」が増加する傾向があり、70歳以上では60%近くに達している。

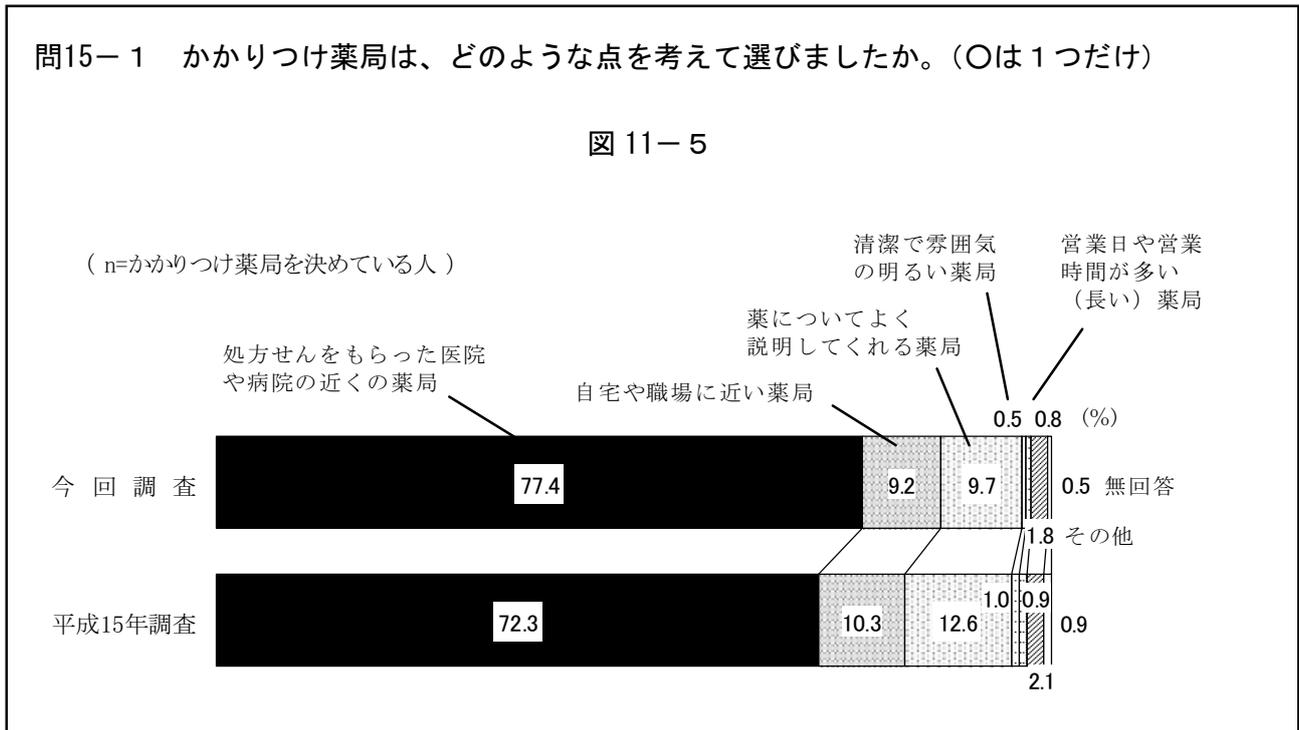
図 11-4 かかりつけ薬局の有無





(3) かかりつけ薬局の選択理由

～ 「処方せんをもらった医院や病院近くの薬局」77%が圧倒的に多い ～

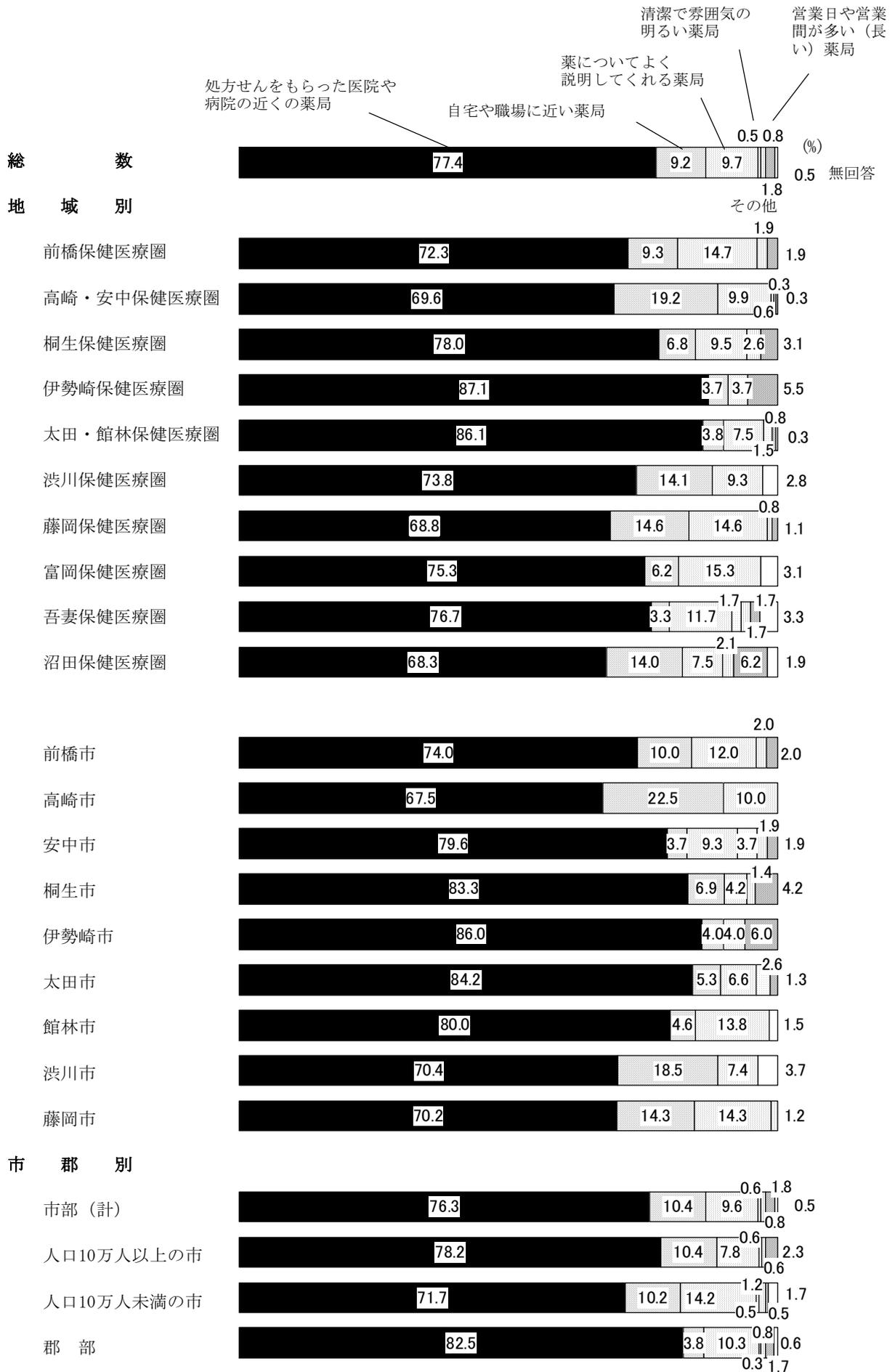


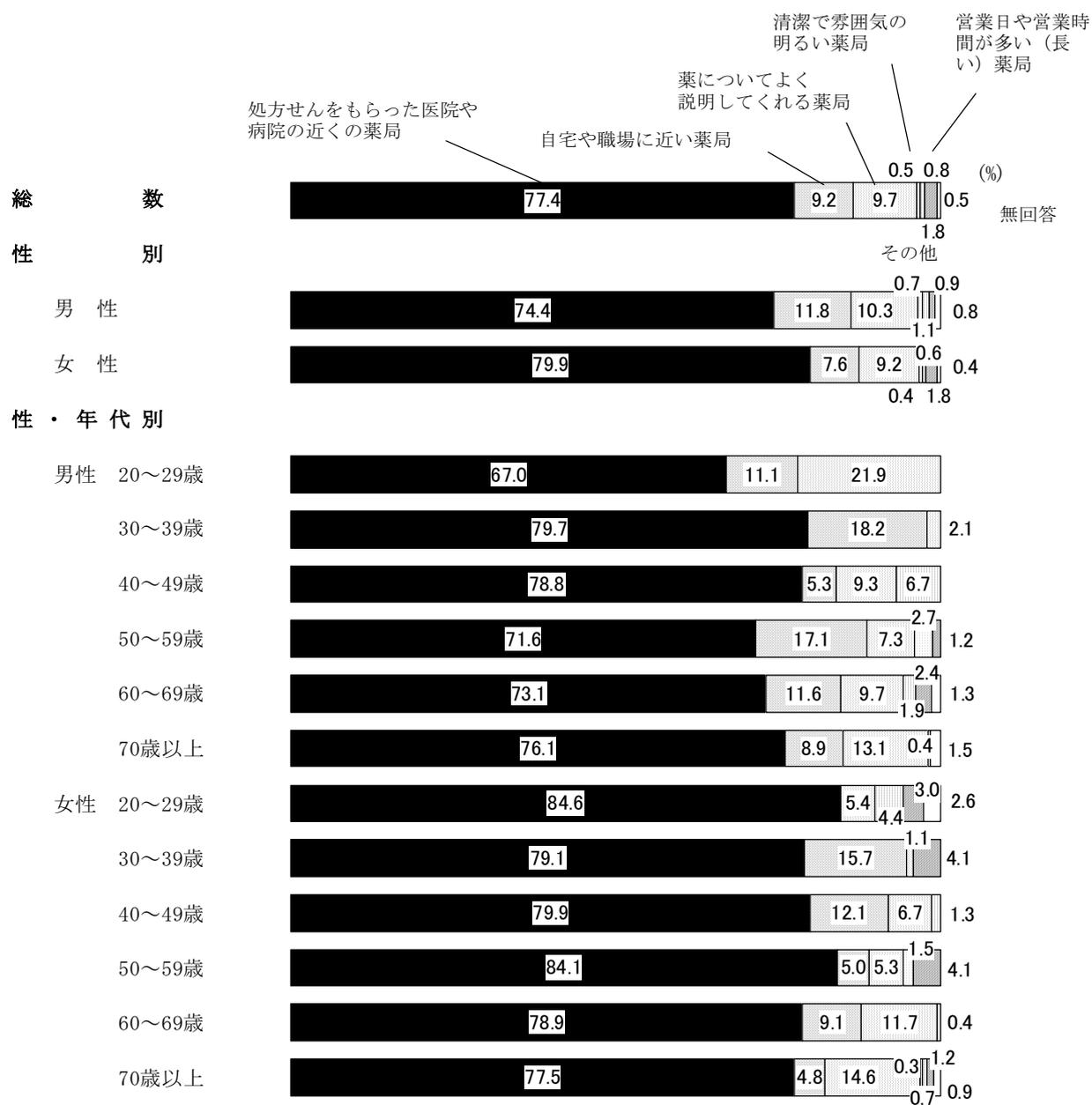
かかりつけ薬局を「決めている」人(38.0%)に、その理由をきくと、「処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局」(77.4%)が突出して多くなっている。

平成15年の調査結果との比較では、「処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局」が、72.3%から増加している。

- ◆**地域別** いずれの保健医療圏でも「処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局」に集中している。
- ◆**市郡別** 郡部では「処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局」が82.5%と、市部(76.3%)より多くなっている。市部では「自宅や職場に近い薬局」が10.4%と、郡部(3.8%)より多くなっている。
- ◆**性別** 女性では、「処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局」が79.9%と、男性(74.4%)をやや上回っている。
- ◆**性・年代別** 男女とも、各年代にわたって「処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局」に集中する傾向は共通している。また、男性の20代では「薬についてよく説明してくれる薬局」が21.9%と多い。

図 11-6 かかりつけ薬局の選択理由





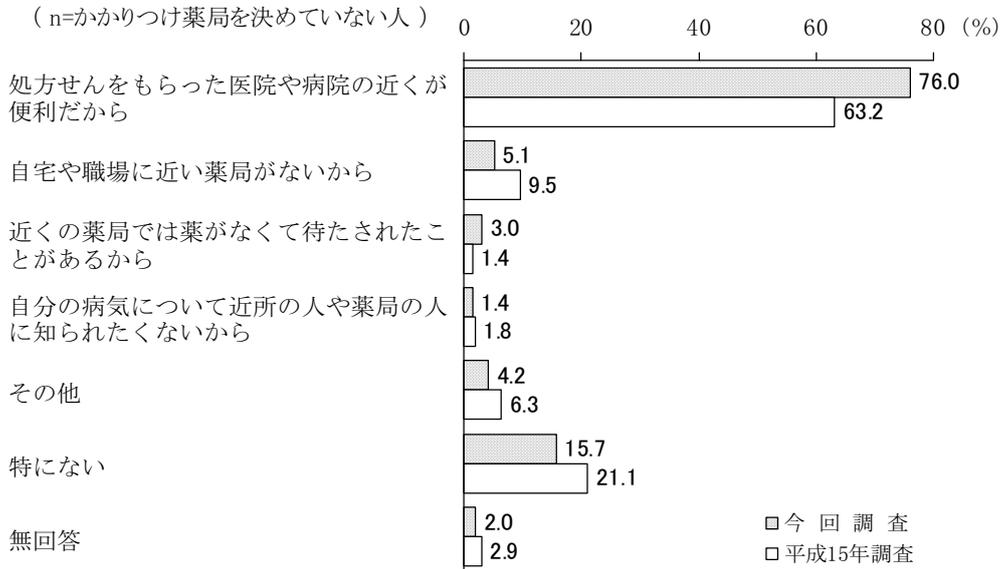
(4) かかりつけ薬局を決めていない理由

～ 「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」76%が断然多い ～

問15-2 かかりつけ薬局を決めていないのは、どのような理由からですか。

(○はあてはまるものすべて)

図 11-7



かかりつけ薬局を「決めていない」人 (57.3%) に、その理由をきくと、「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」(76.0%) に集中している。

平成15年の調査結果との比較では、「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」が、63.2%から増加している。

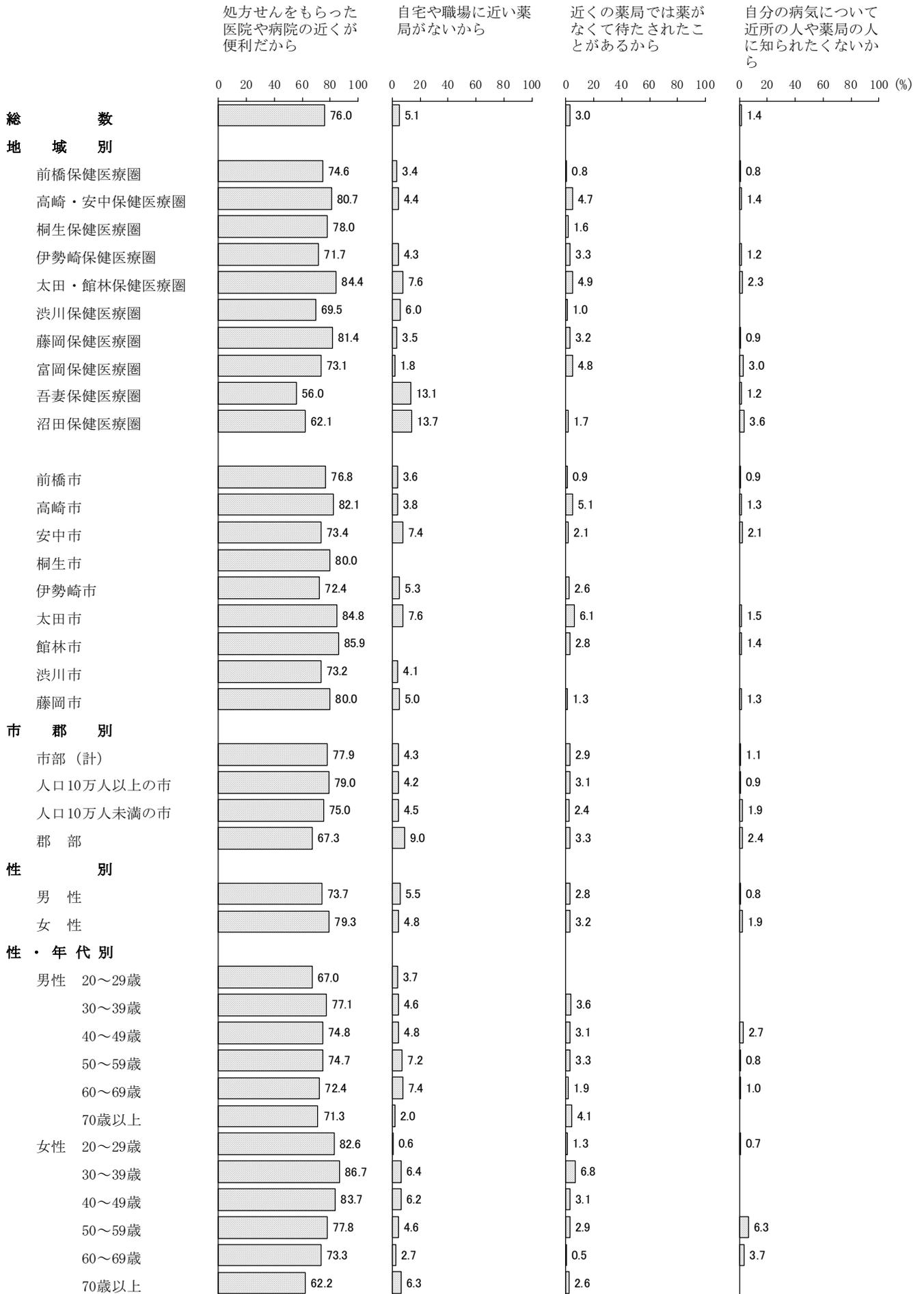
◆**地域別** いずれの保健医療圏でも、「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」に集中する傾向は共通している。

◆**市郡別** 人口規模が大きいほど「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」が増加している。

◆**性別** 女性では「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」が79.3%と、男性(73.7%)よりやや多くなっている。

◆**性・年代別** 男女ともにすべての年齢で、「処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから」に集中する傾向は共通している。

図 11-8 かかりつけ薬局を決めていない理由



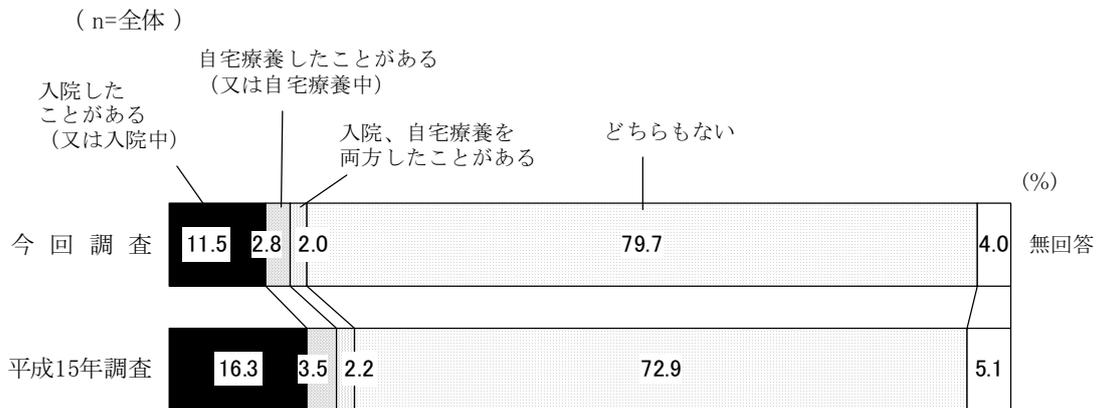
12 入院・自宅療養

(1) 入院・自宅療養の経験

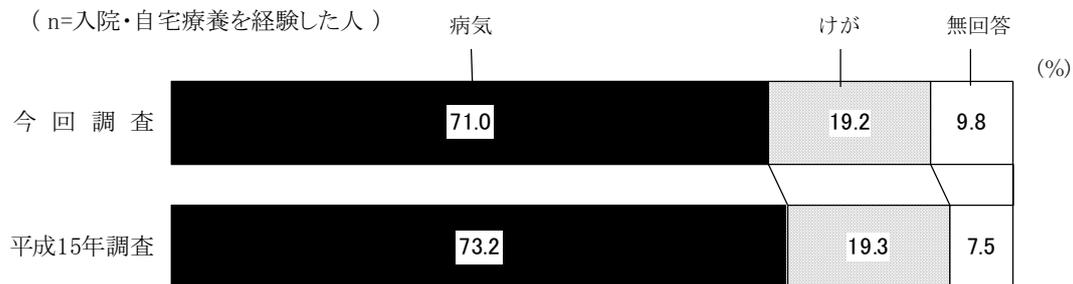
～ 「入院したことがある（又は入院中）」12%、その理由は「病気」71% ～

問16 あなたは、最近5年以内に病気やけがで10日以上入院、または1ヶ月以上の自宅療養をしたことがありますか（出産は除きます）。（○は1つだけ）

図 12-1



問16-1 入院または自宅療養の理由は何でしたか。（○は1つだけ）



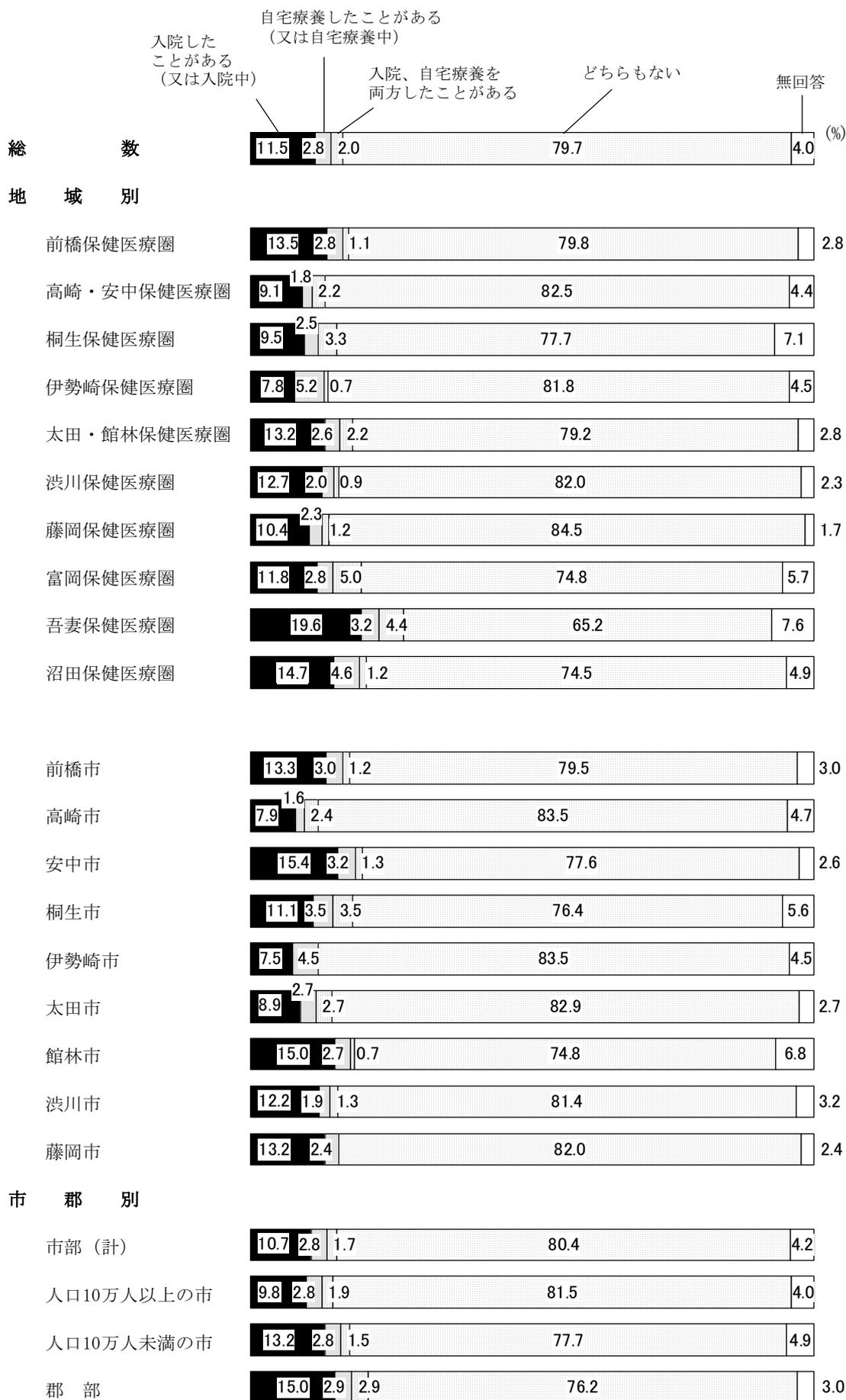
最近、5年以内に病気やけがで10日以上「入院をしたことがある（又は入院中）」が11.5%、「自宅療養したことがある（又は自宅療養中）」は2.8%、「入院、自宅療養を両方したことがある」は2.0%となっている。一方、「どちらもない」は79.7%である。

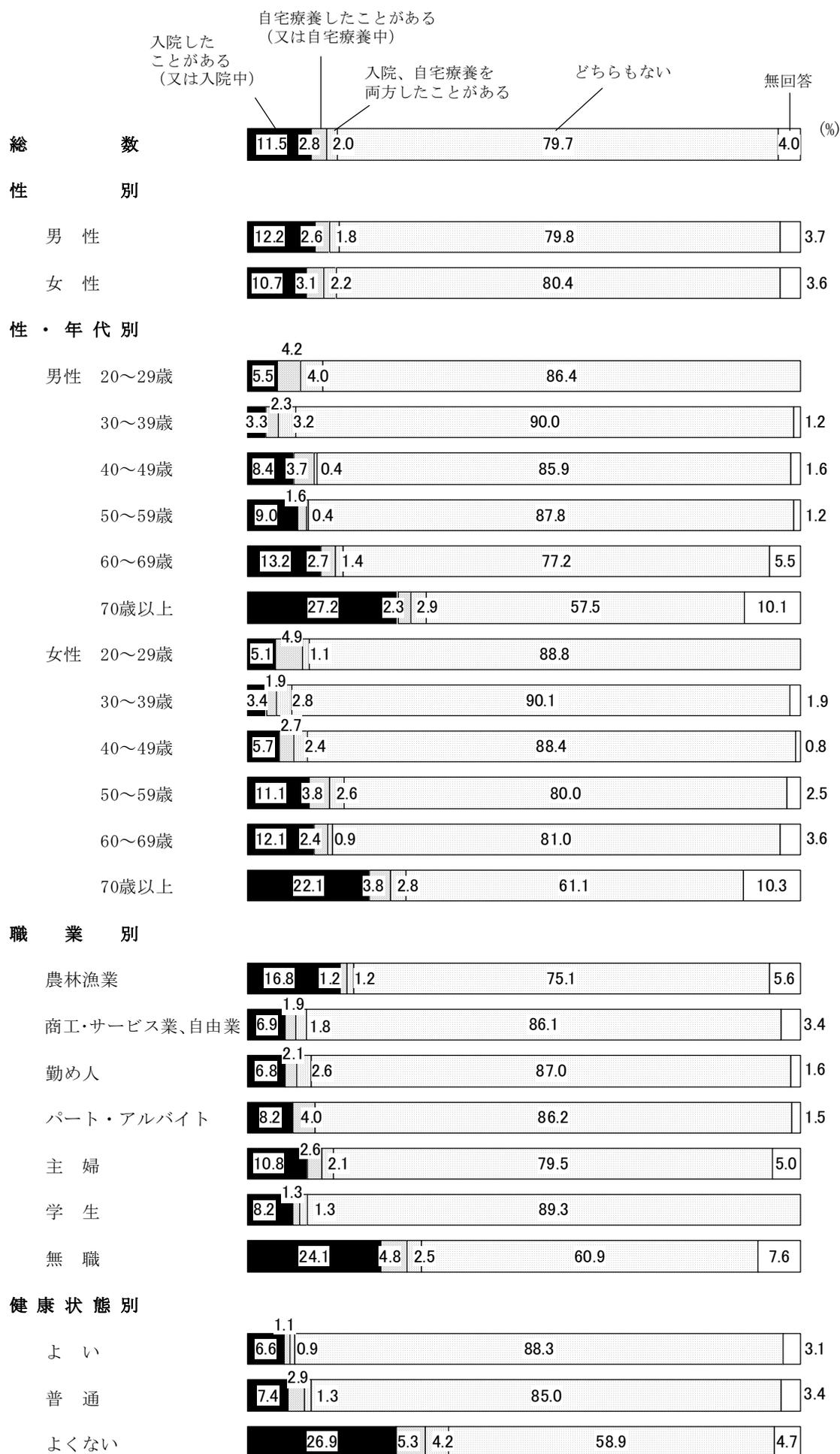
入院、自宅療養の理由としては「病気」が71.0%、「けが」が19.2%となっている。

平成15年の調査結果と比較すると、「入院をしたことがある（又は入院中）」は、前回（16.3%）から、やや減少している。

- ◆**地域別** 吾妻保健医療圏では、「入院をしたことがある（又は入院中）」が19.6%と、他の医療圏より多くなっている。
- ◆**市郡別** 郡部では、「入院をしたことがある（又は入院中）」が15.0%と、市部（10.7%）より多い。
- ◆**性別** 性別による違いは少ない。
- ◆**性・年代別** 男女とも、30代以上の年齢では、年齢が高くなるにつれて、「入院をしたことがある（又は入院中）」が増加している。
- ◆**職業別** 無職では「入院をしたことがある（又は入院中）」が24.1%と、他の職業に比べて多くなっている。
- ◆**健康状態別** 健康状態がよくない人では「入院をしたことがある（又は入院中）」が26.9%を占めている。

図 12-2 入院・自宅療養の経験





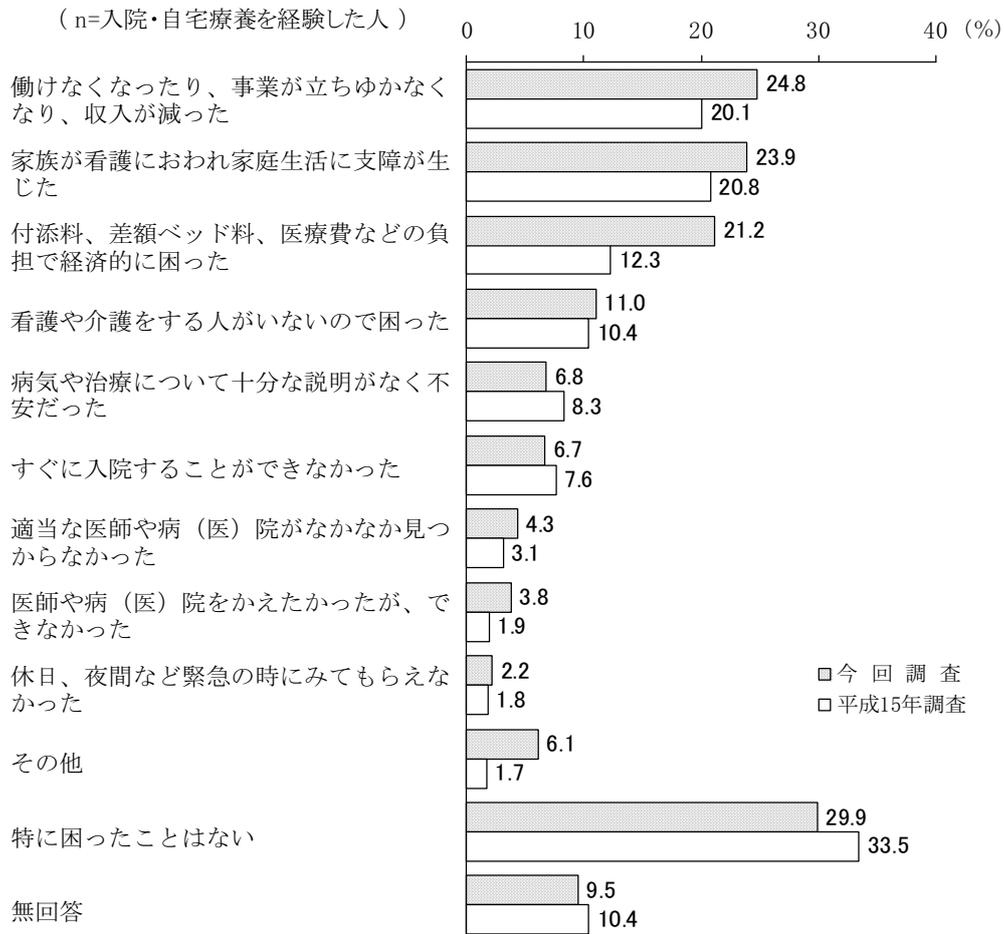
(2) 入院・自宅療養で困ったこと

～ 「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」25%、

「家族が看護におわれ家庭生活に支障が生じた」24%が多い ～

問16-2 入院や自宅療養の時にどのようなことに困りましたか。(〇は3つまで)

図 12-3



入院・自宅療養で「困ったことがある」という人は60.6%となっている。

その内容は、「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」が24.8%、「家族が看護におわれ家庭生活に支障が生じた」が23.9%、「付添料、差額ベッド料、医療費などの負担で経済的に困った」が21.2%と多くなっている。

平成15年の調査結果と比較すると、「困ったことがある」は前回の56.1%から増加している。具体的な内容では、「付添料、差額ベッド料、医療費などの負担で経済的に困った」が前回の12.3%から大きく増加した。

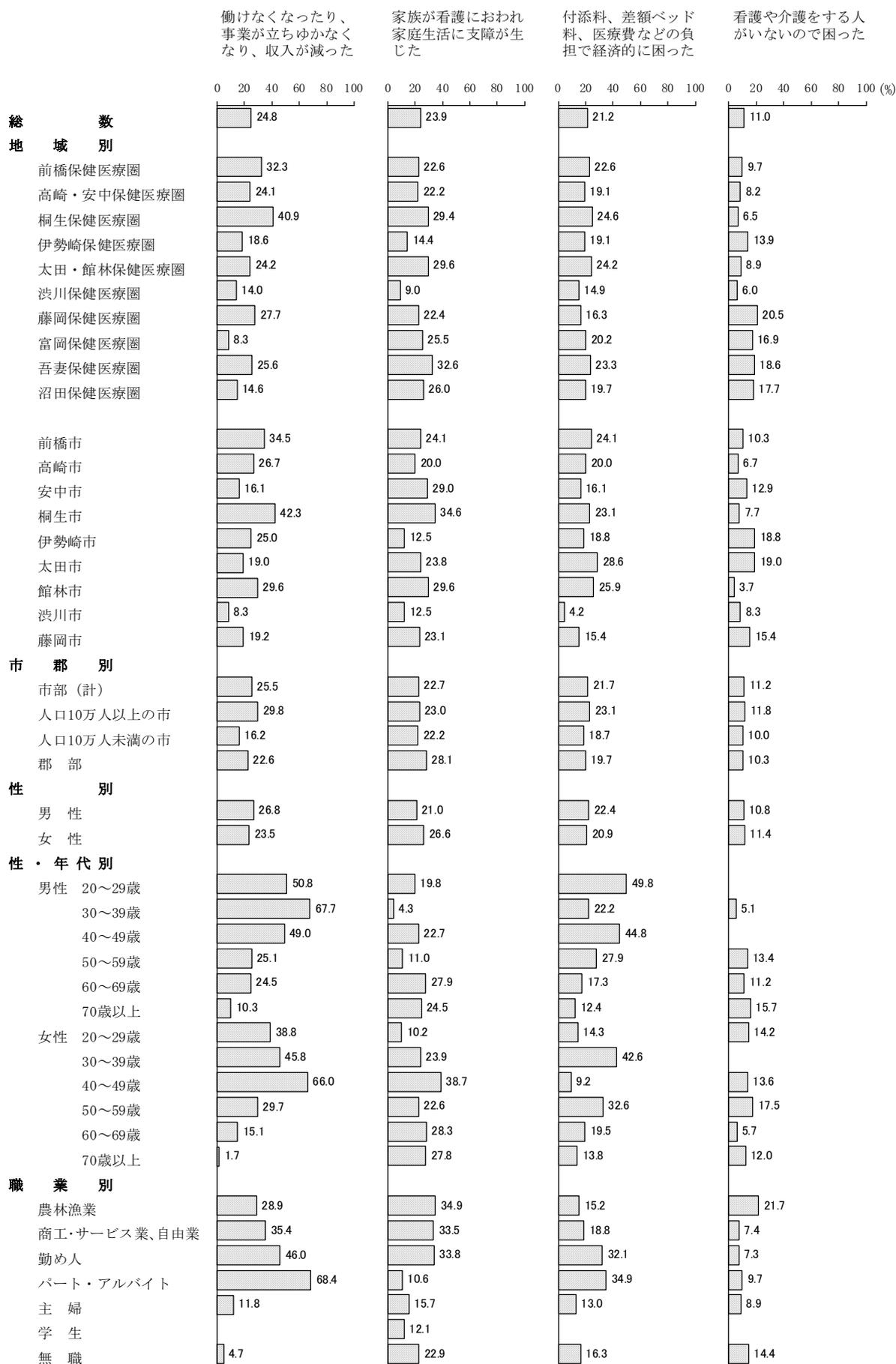
◆**地域別** 桐生保健医療圏では「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」が40.9%と、他の保健医療圏より多くなっている。

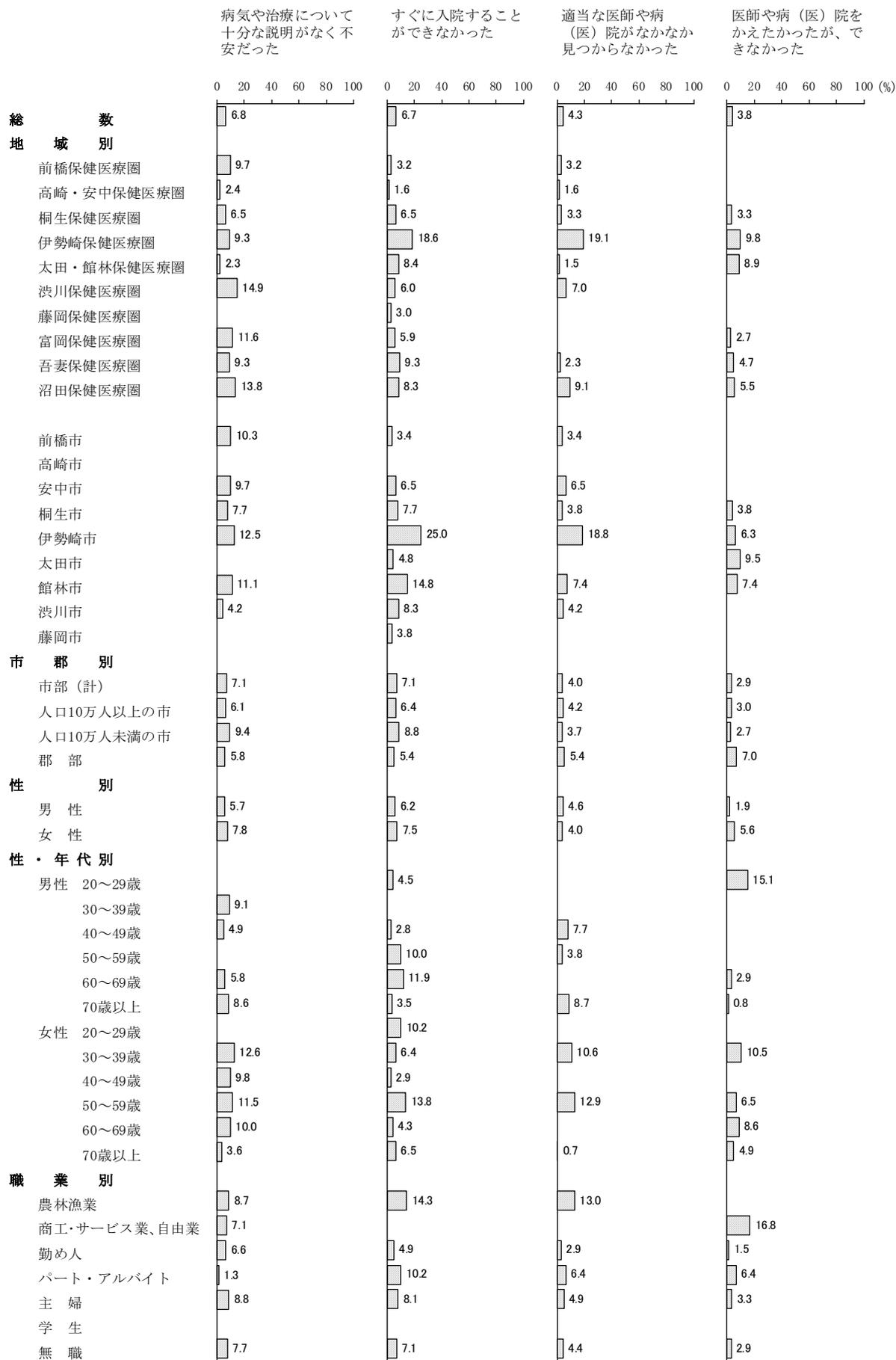
◆**市郡別** 人口規模別で見ると、人口10万人以上の市では「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」が29.8%と、人口10万人未満の市(16.2%)や郡部(22.6%)に比べて多く

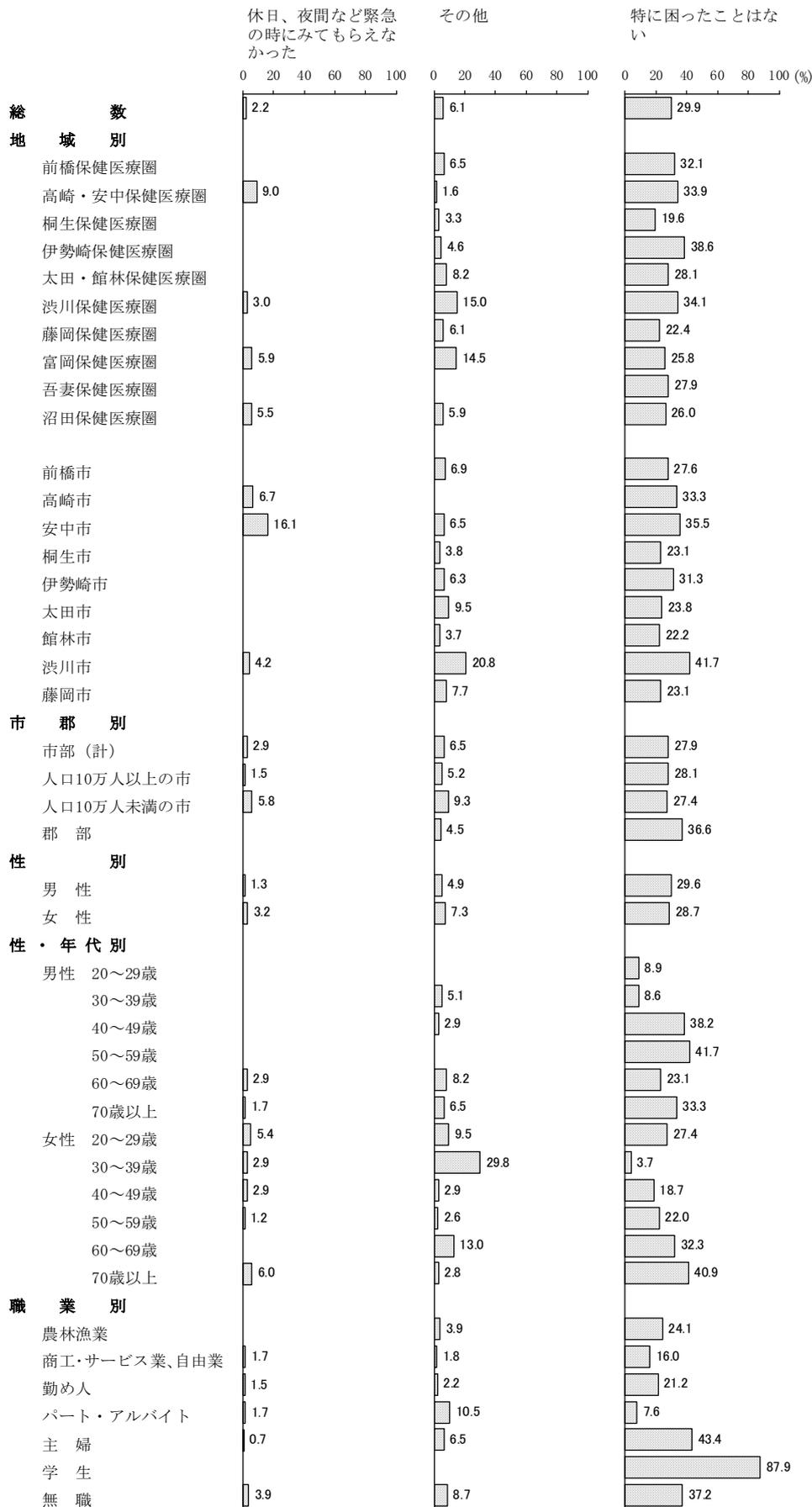
なっている。

- ◆**性別** 男性では、「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」が 26.8%で最も多く、女性では、「家族が看護におわれ家庭生活上に支障が生じた」が 26.6%で最も多くなっている。
- ◆**性別・年代別** 男性の 30 代と女性の 40 代では、「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」が 60%台半ばを超え、突出している。女性の 40 代では「家族が看護におわれ家庭生活上に支障が生じた」も 38.7%と、他の男女の年齢に比べ多くなっている。また、男性の 20 代、40 代及び女性の 30 代では、「付添料、差額ベッド料、医療費などの負担で経済的に困った」がいずれも 40%を超え、多くなっている。
- ◆**職業別** パート・アルバイトでは「働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った」が 68.4%と、他の職種に比べてかなり多くなっている。

図 12-4 入院・療養で困ったこと







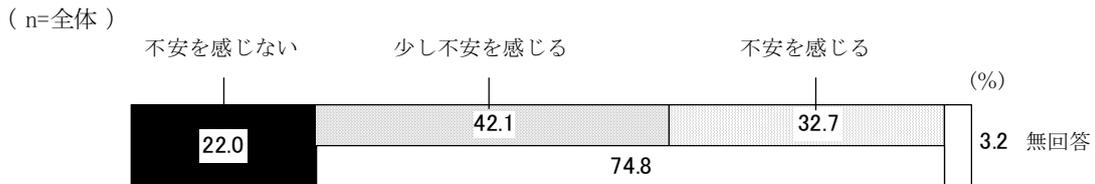
13 転院について

(1) 転院に対する不安感

～ 4人に3人が「不安を感じる」 ～

問17 脳卒中など救急の治療が必要な病気の場合、回復に応じて、入院した医療機関からリハビリテーションが得意な医療機関等に転院を求められることがあります。もし、このような場合、あなたが転院を求められたとしたら不安を感じますか。(○は1つだけ)

図 13-1



回復に応じて、転院を求められた場合、「不安を感じない」人は22.0%にとどまる。一方、「不安を感じる」人は32.7%で、これに「少し不安を感じる」(42.1%)を合わせた<不安を感じる>は74.8%となっている。

◆**地域別** 全地域で、<不安を感じる>が70%を超えている。

◆**市郡別** 人口規模による差異はほとんどない。

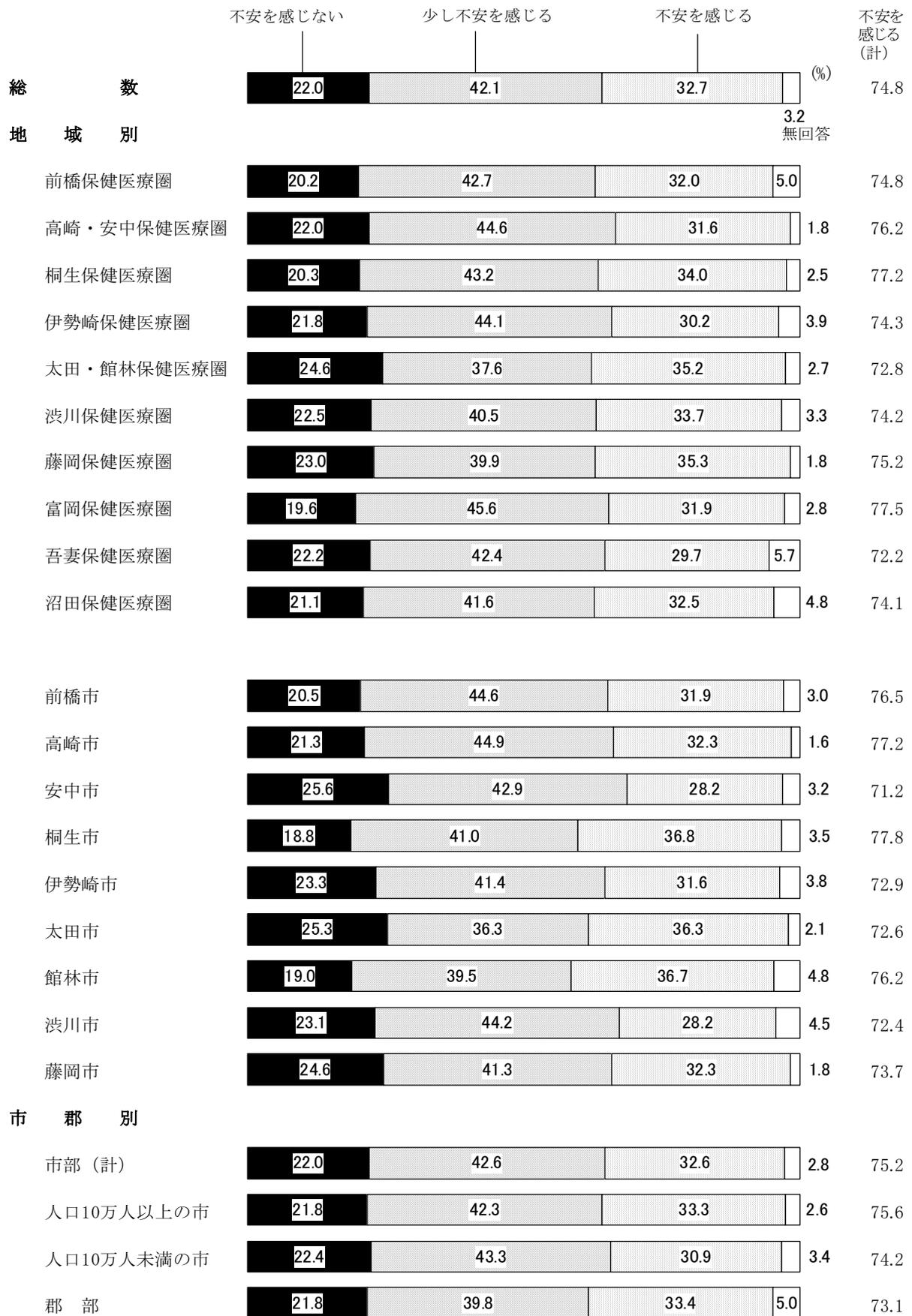
◆**性別** 女性では<不安を感じる>が77.3%と、男性(71.9%)より多くなっている。

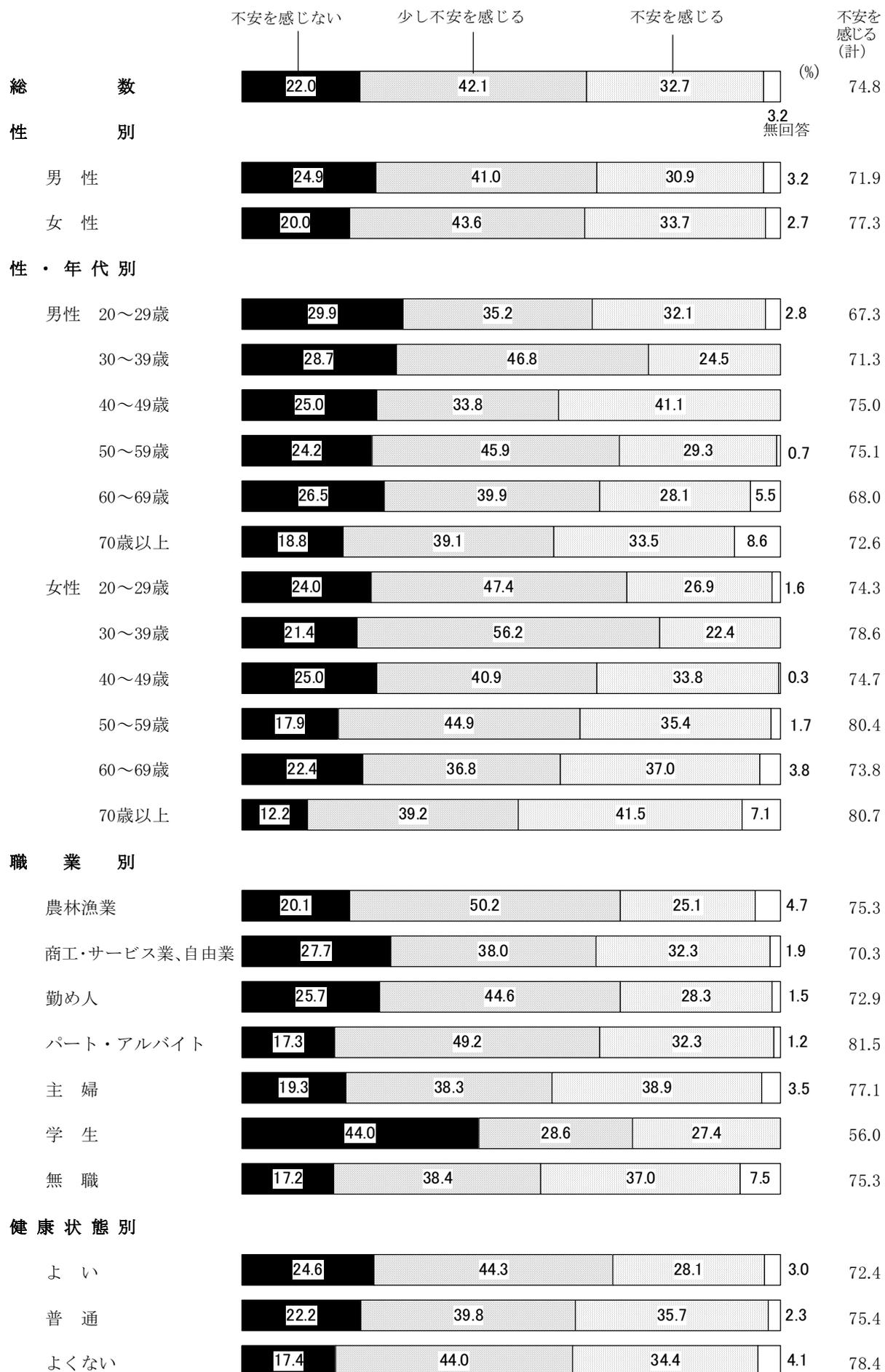
◆**性・年代別** 男性では20代と60代で<不安を感じる>が70%を下回り、他の年齢に比べ低くなっている。女性では、全年齢で70%以上となっており、50代と70歳以上では80%を超えている。

◆**職業別** 学生をのぞく職業では、<不安を感じる>は、いずれも70%を超えている。

◆**健康状態別** 健康状態がよくない人ほど、<不安を感じる>が増加している。

図 13-2 転院に対する不安感



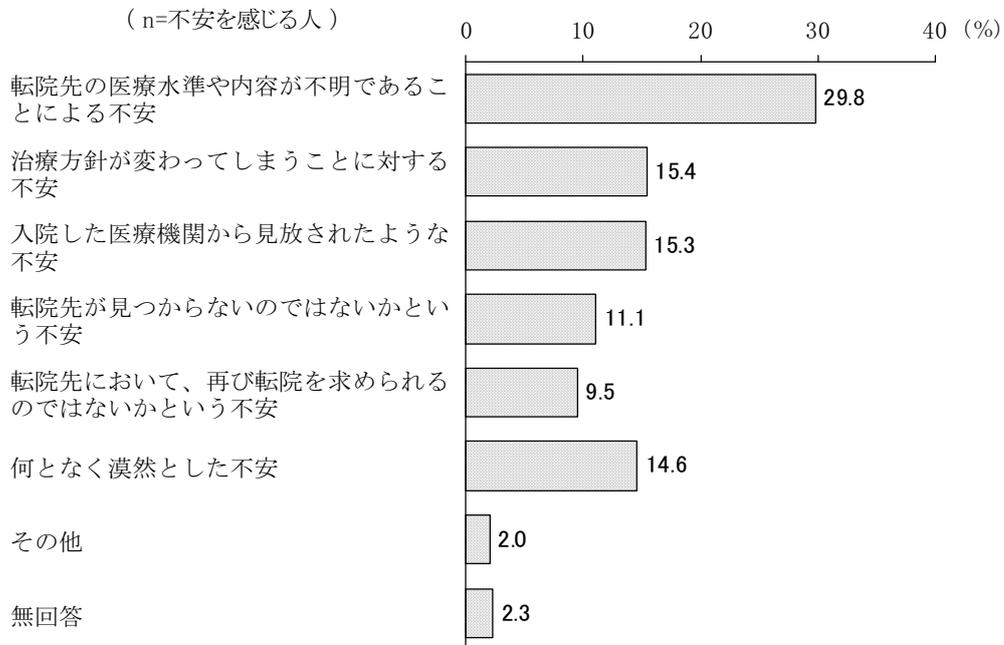


(2) 具体的な不安内容

～ 「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」30%が最多 ～

問17-1 具体的にはどのような不安を感じますか。(○は1つだけ)

図 13-3



転院に対して「不安を感じる」人(74.8%)にきいた具体的な不安は、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」が29.8%で最も多く、次いで「治療方針が変わってしまうことに対する不安」(15.4%)、「入院した医療機関から見放されたような不安」(15.3%)となっている。

◆**地域別** すべての地域で「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」が最も多くなっているが、中でも伊勢崎保健医療圏で38.4%と他の医療圏に比べ多くなっている。また、富岡保健医療圏では「治療方針が変わってしまうことに対する不安」が23.0%、藤岡保健医療圏では「入院した医療機関から見放されたような不安」が21.4%と多くなっている。

◆**市郡別** 人口10万人以上の市では、郡部や人口10万人未満の市に比べ、「治療方針が変わってしまうことに対する不安」が少なく、「入院した医療機関から見放されたような不安」が多くなっている。

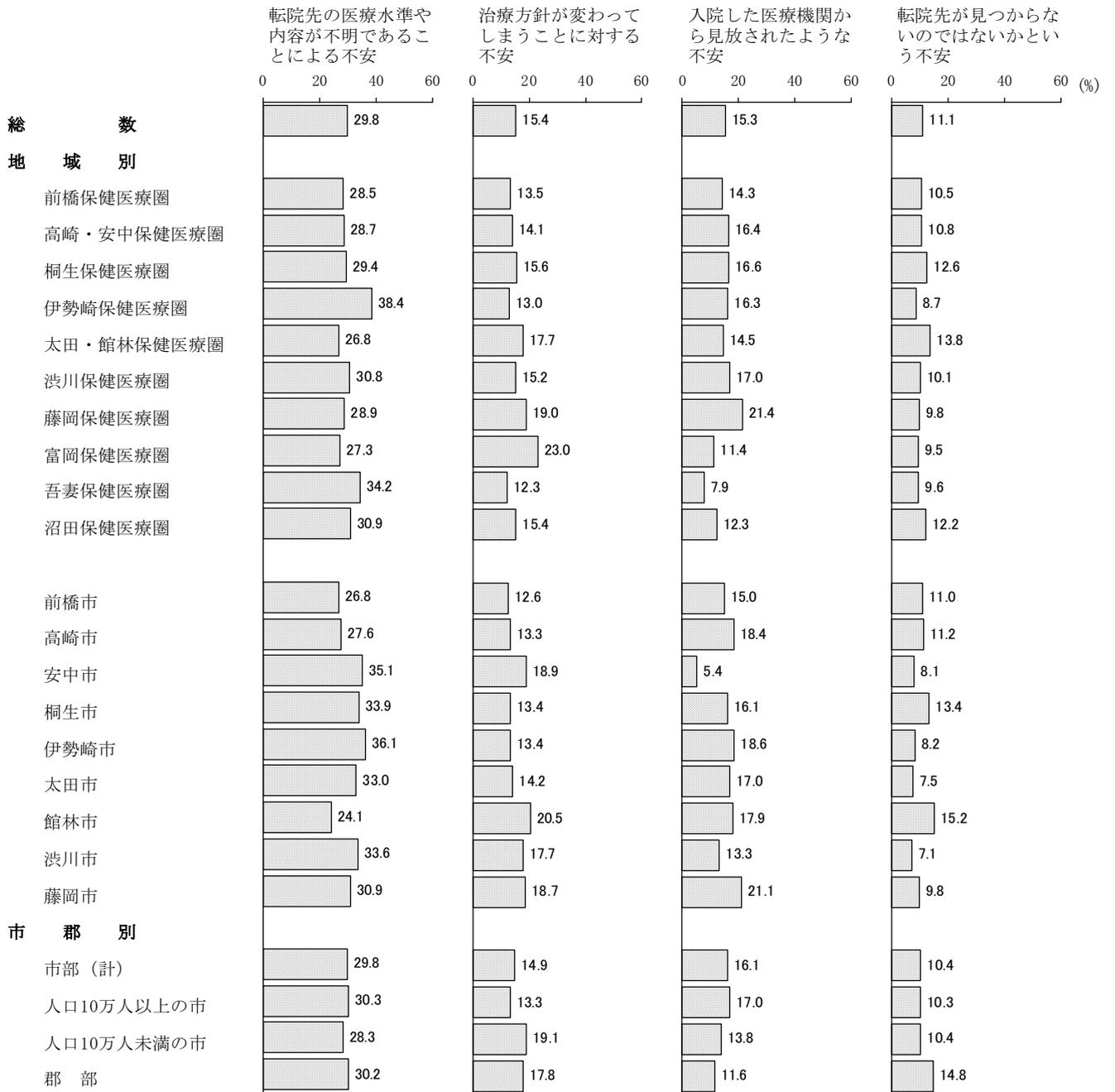
◆**性別** 男性では、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」が33.2%と、女性(27.5%)をやや上回っている。女性では、「転院先が見つからないのではないかと不安」が13.9%と、男性(7.8%)より多くなっている。

◆**性・年代別** 男性の20代では「治療方針が変わってしまうことに対する不安」が26.7%で、他の年齢では最も多い「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」(23.1%)を上回る。また、男女ともに40代から50代で「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」がそれぞれ他の年齢より多くなっている。

◆**職業別** 農林漁業では「治療方針が変わってしまうことに対する不安」が23.7%と他の職業に比べ多くなっている。

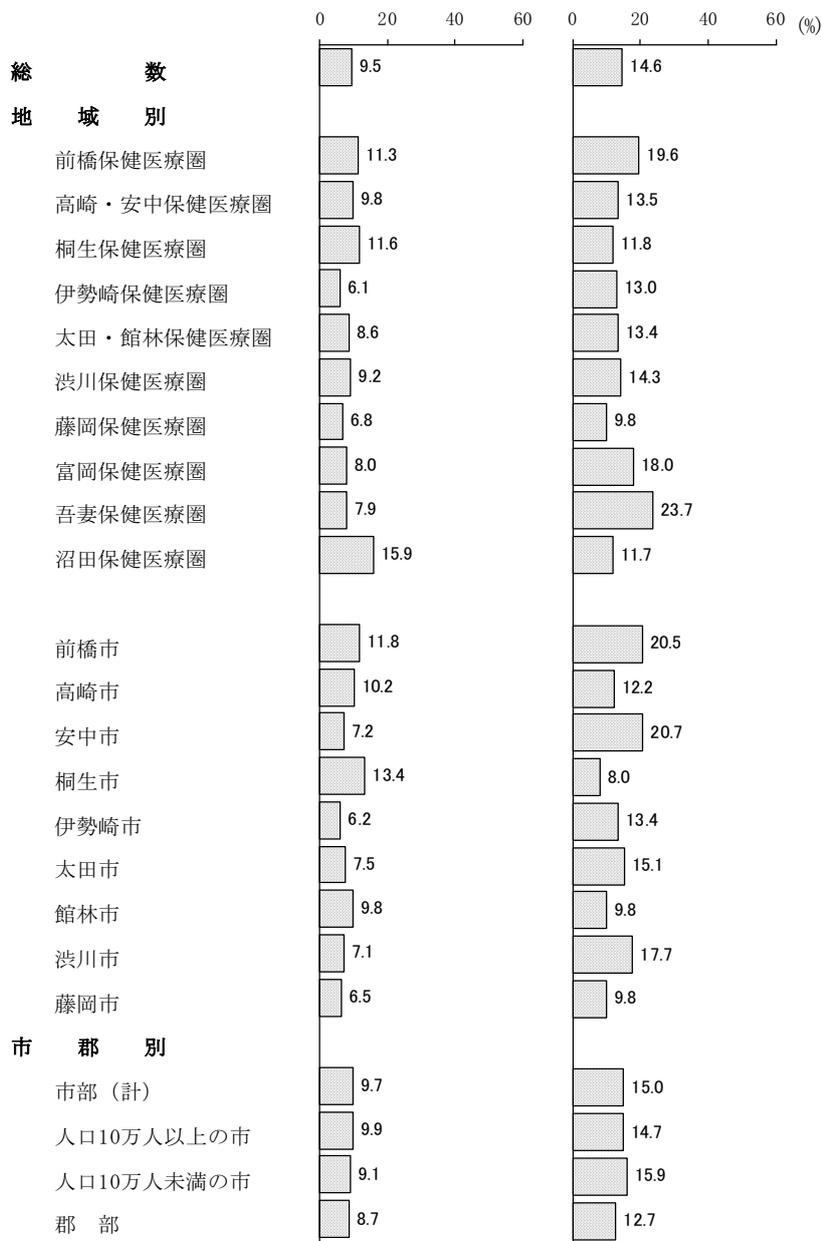
◆健康状態別 健康状態がよくない人では、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」が34.8%と、健康状態がよい(27.1%)、普通(28.7%)という人に比べて多くなっている。

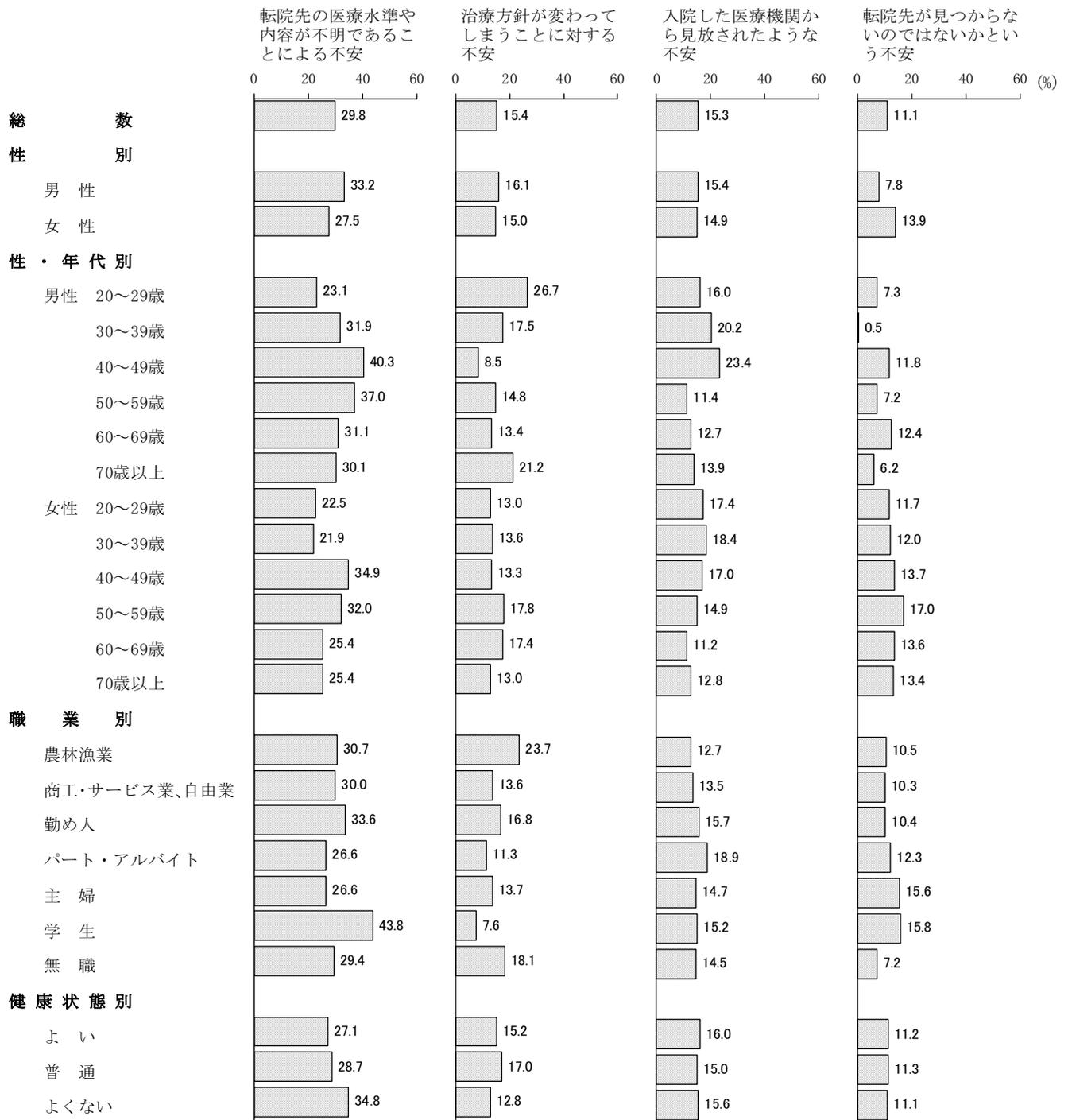
図13-4 具体的な不安内容

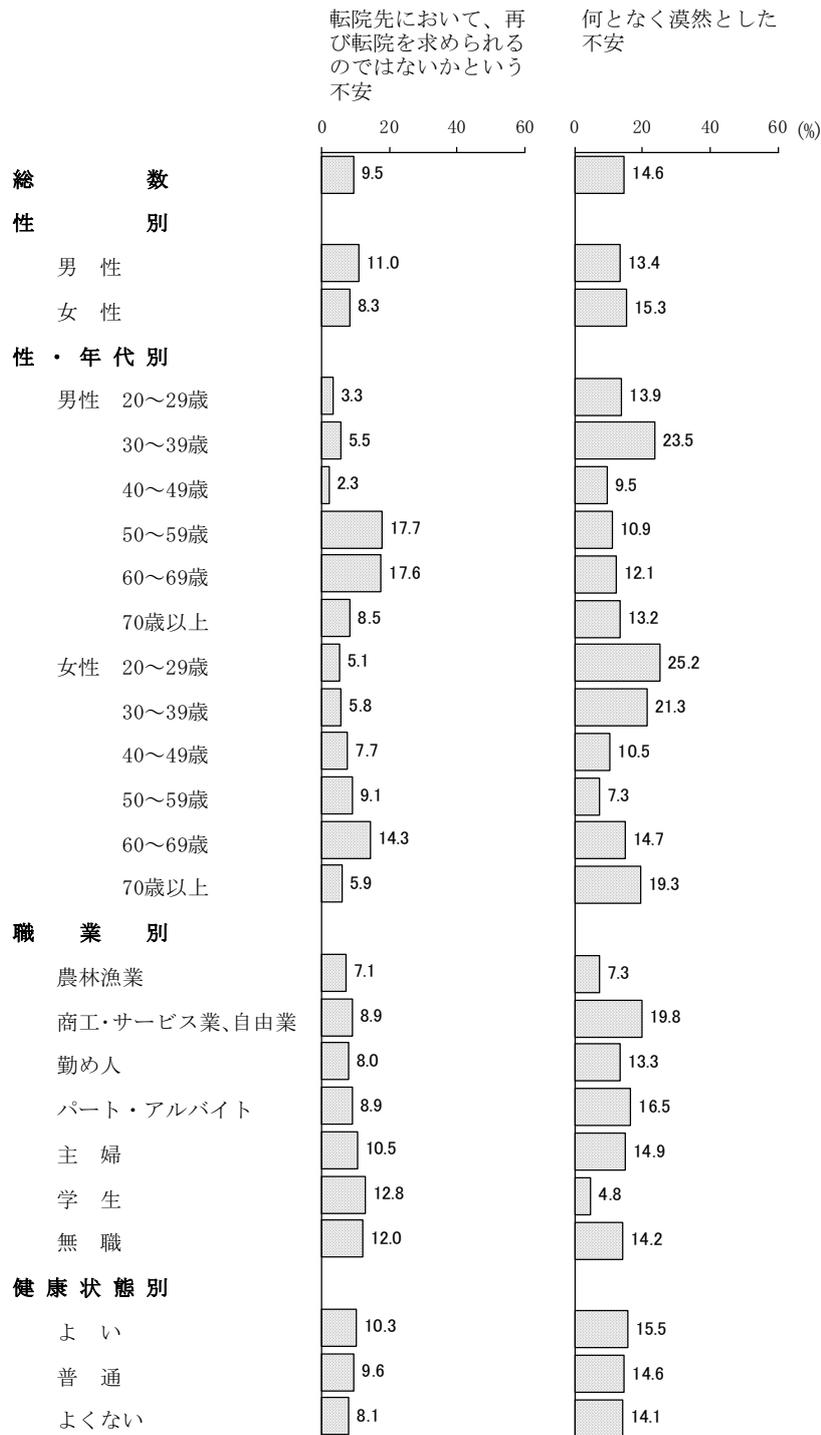


転院先において、再び転院を求められるのではないかと不安

何となく漠然とした不安



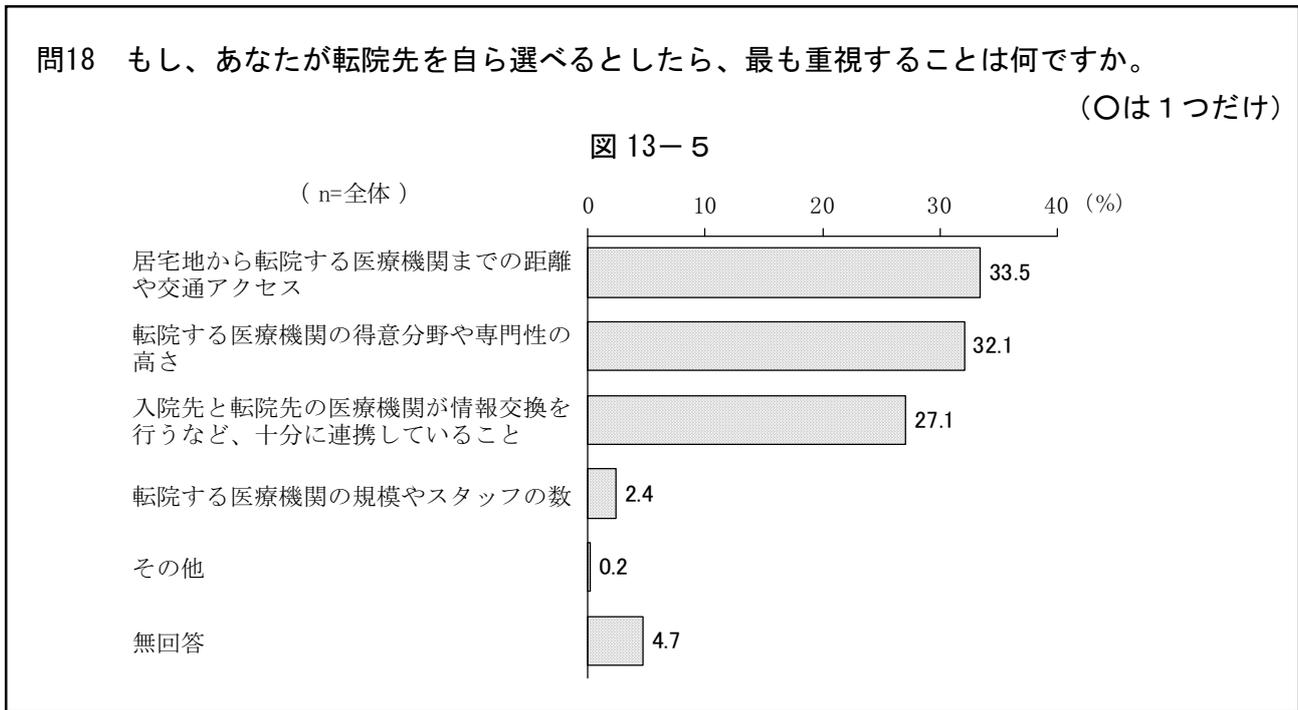




(3) 転院先の選択で重視すること

～ 「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」34%、

「転院する医療機関の得意分野や専門性の高さ」32% ～



転院先の選択で重視することは、「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」が33.5%、「転院する医療機関の得意分野や専門性の高さ」が32.1%、「入院先と転院先の医療機関が情報交換を行うなど、十分に連携していること」が27.1%となっている。

◆**地域別** 富岡保健医療圏と吾妻保健医療圏では、「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」が40%を超え、他の医療圏より多くなっている。太田・館林保健医療圏、藤岡保健医療圏、沼田保健医療圏は「転院する医療機関の得意分野や専門性の高さ」が30%台後半と、他の地域よりやや多い。

◆**市郡別** 市部と郡部ではあまり差異はみられない。

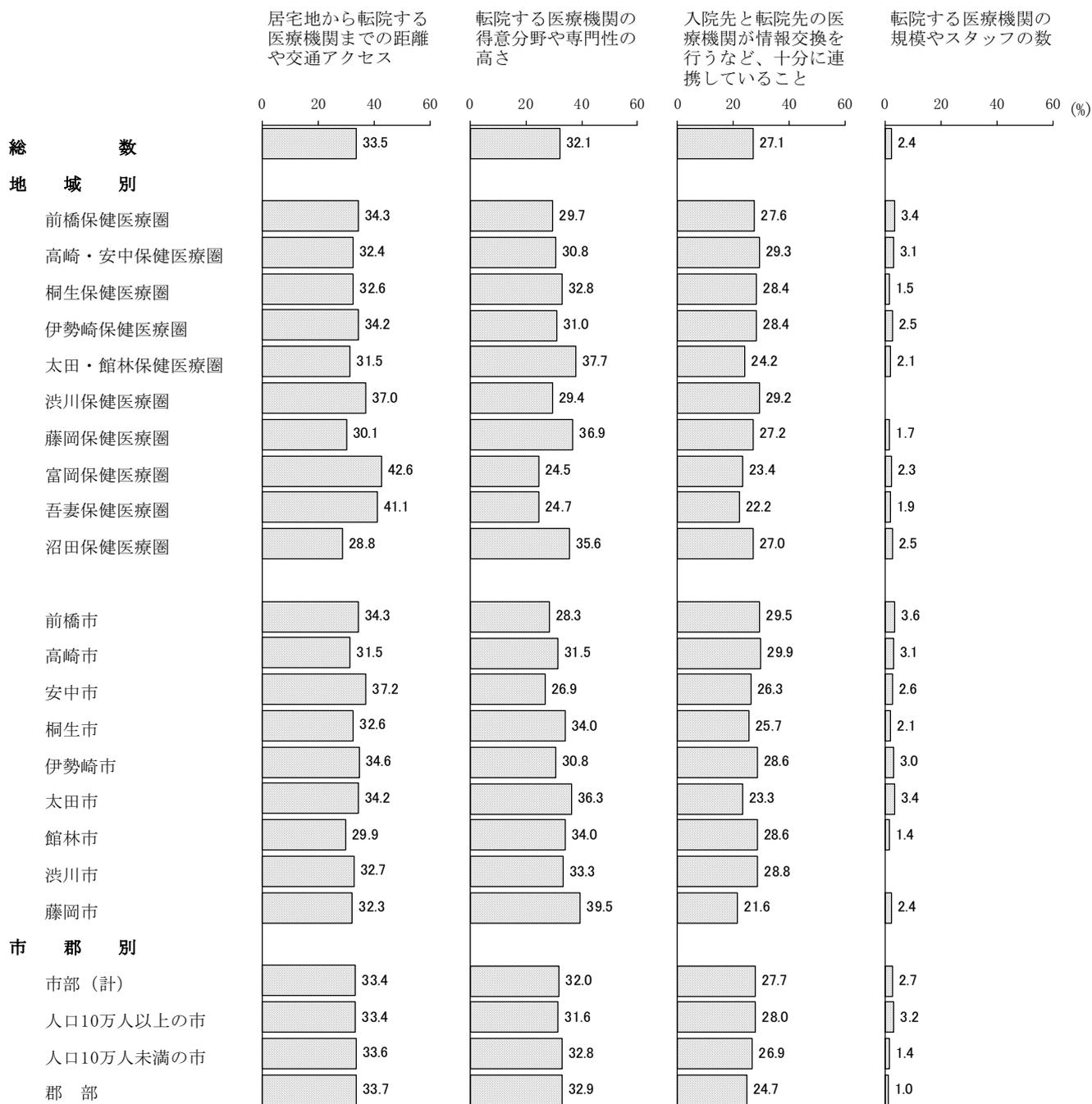
◆**性別** 男性では「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」が37.1%と、女性(30.7%)より多くなっている。一方、女性では「転院する医療機関の得意分野や専門性の高さ」と「入院先と転院先の医療機関が情報交換を行うなど、十分に連携していること」が男性よりやや多くなっている。

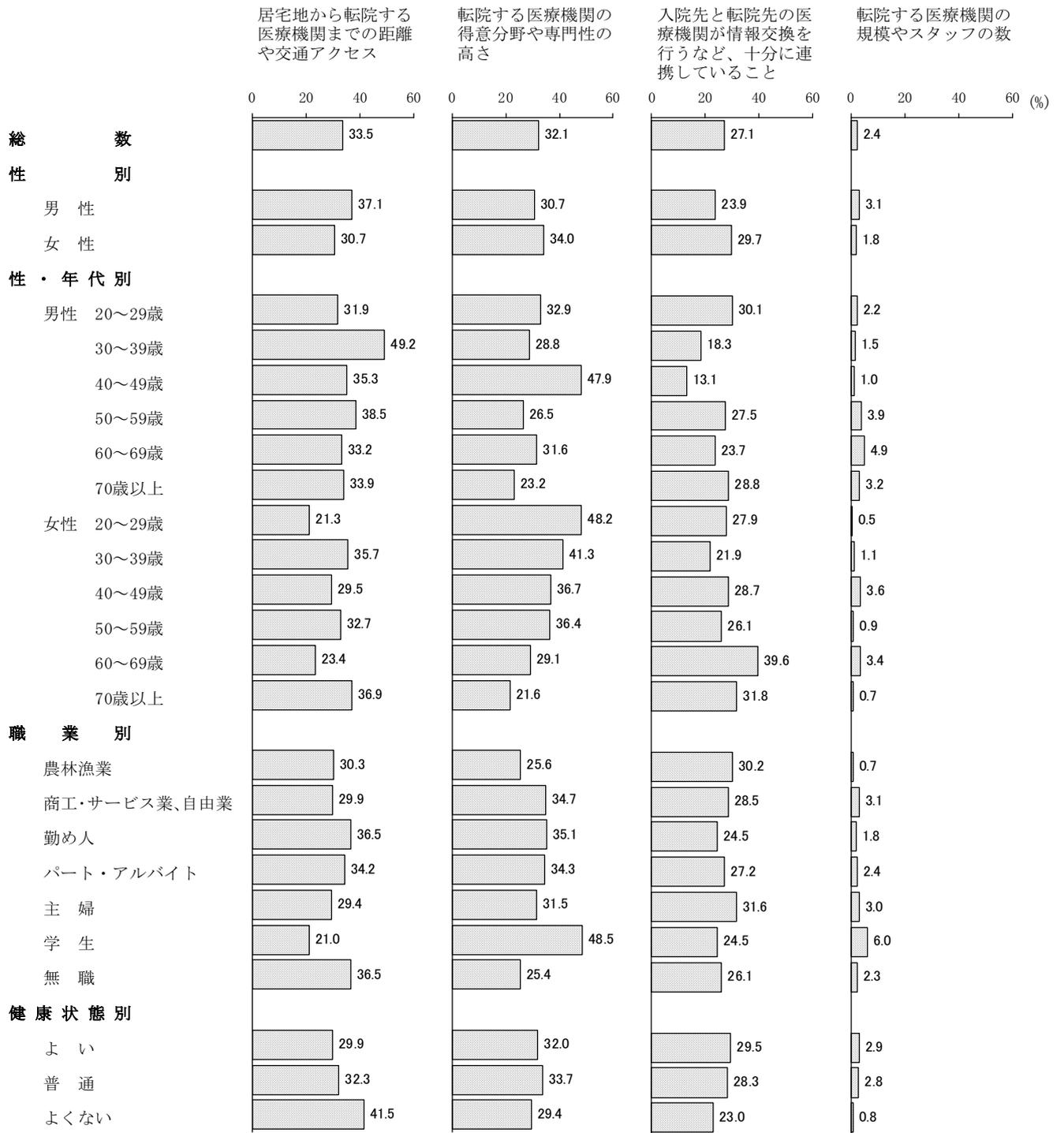
◆**性・年代別** 男性では、30代で「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」が49.2%、40代で「転院する医療機関の得意分野や専門性の高さ」が47.9%と他の年齢より目立って多い。女性では、年齢が低いほど「転院する医療機関の得意分野や専門性の高さ」が増加し、20代では48.2%を占める。また、女性の60代では「入院先と転院先の医療機関が情報交換を行うなど、十分に連携していること」が39.6%と多くなっている。

◆**職業別** 勤め人、パート・アルバイト、無職では「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」が30%台半ばと多くなっている。

◆**健康状態別** 健康状態がよくない人では、「居宅地から転院する医療機関までの距離や交通アクセス」が41.5%と、健康状態がよい(29.9%)、普通(32.3%)という人に比べて多くなっている。

図 13-6 転院先の選択で重視すること





14 在宅医療について

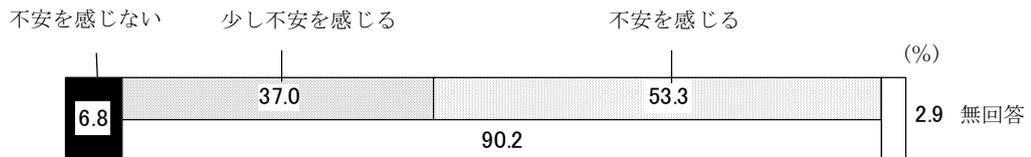
(1) 在宅医療に対する不安感

～ 「不安を感じる」人が90% ～

問19 もし、あなたやあなたの家族が治療や療養を必要とするにも関わらず通院困難であるとしたら、在宅で医療を受けることについて不安を感じますか。(○は1つだけ)

図 14-1

(n=全体)



在宅医療について、「不安を感じない」人は6.8%にとどまる。一方、「不安を感じる」人は53.3%で、これに「少し不安を感じる」(37.0%)を合わせた<不安を感じる>は90.2%となっている。

◆**地域別** 全地域で、<不安を感じる>が90%前後と多くなっている。

◆**市郡別** 市部、郡部ともに<不安を感じる>が90%前後と多くなっている。

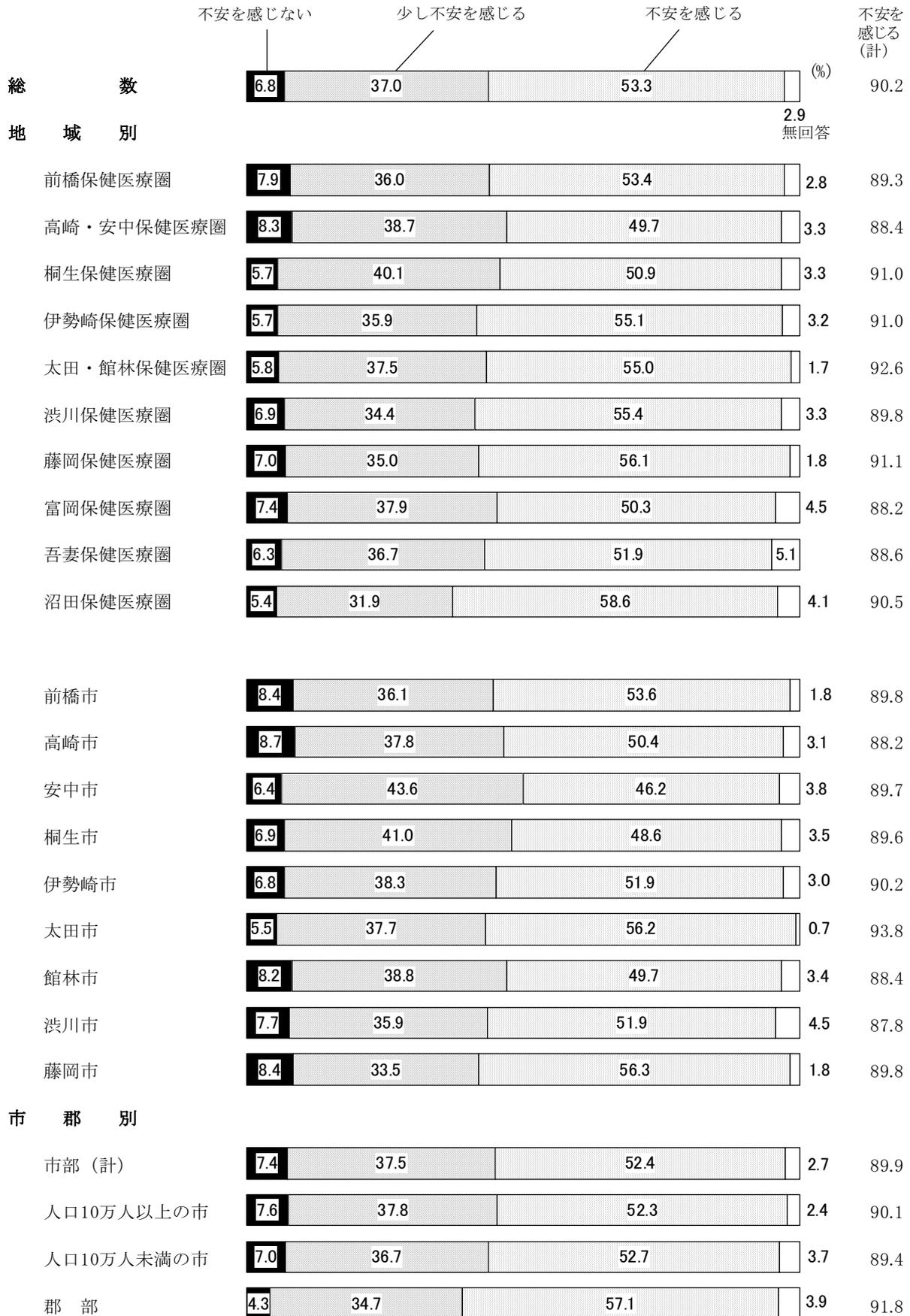
◆**性別** 男女ともに<不安を感じる>が90%前後と多くなっている。

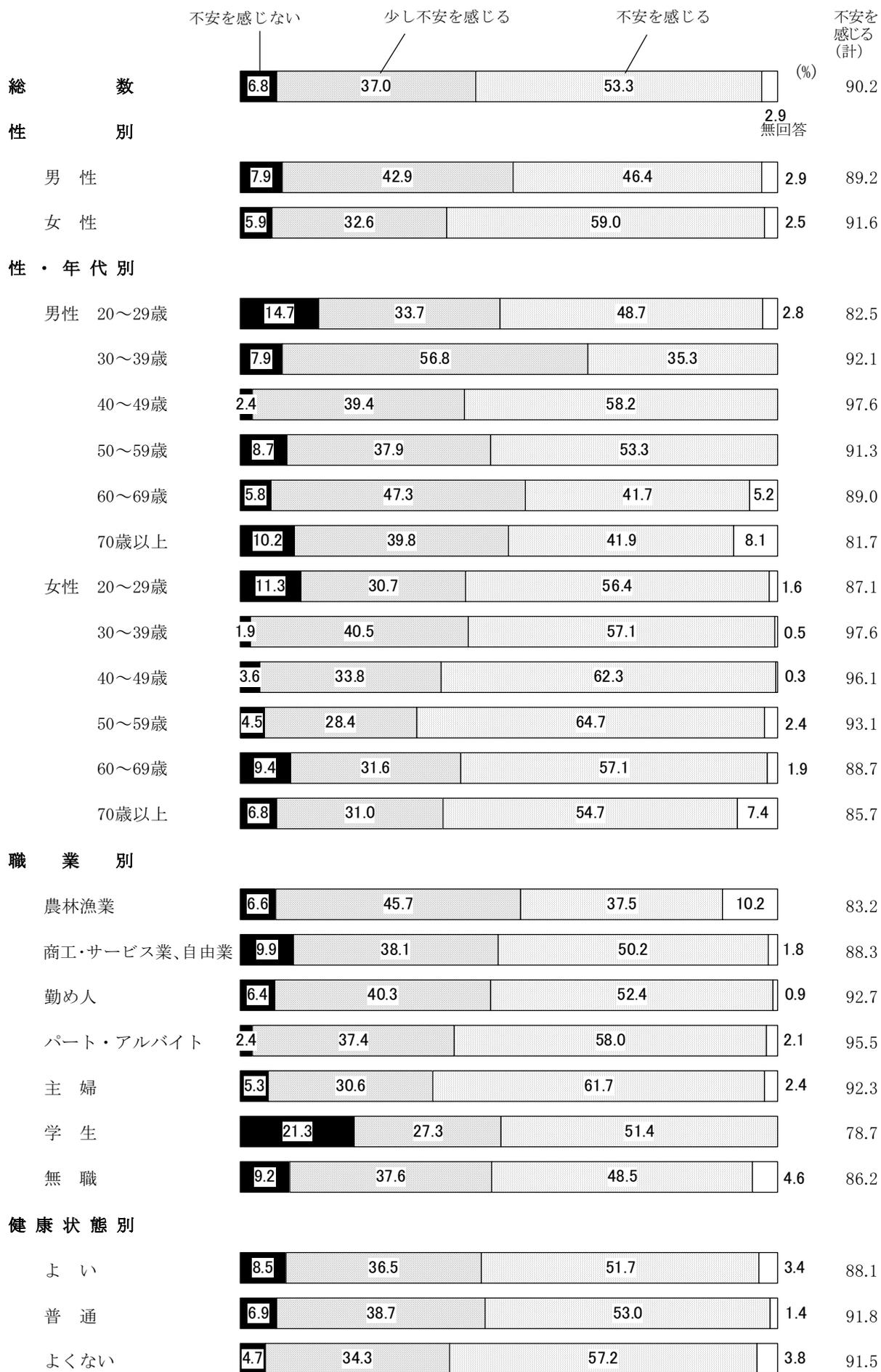
◆**性・年代別** 男性では20代から40代にかけて<不安を感じる>が増加し、40代で97.6%とピークに達したあと、年齢が上がるにつれて減少している。女性では、30代から40代で<不安を感じる>が90%台後半を占めるが、それ以降、年齢が上がるにつれて、男性同様に減少している。

◆**職業別** 勤め人、パート・アルバイト、主婦では、<不安を感じる>が90%を超えている。

◆**健康状態別** 健康状態がよくない人だけでなく普通という人でも、<不安を感じる>が、ともに90%を超えている。

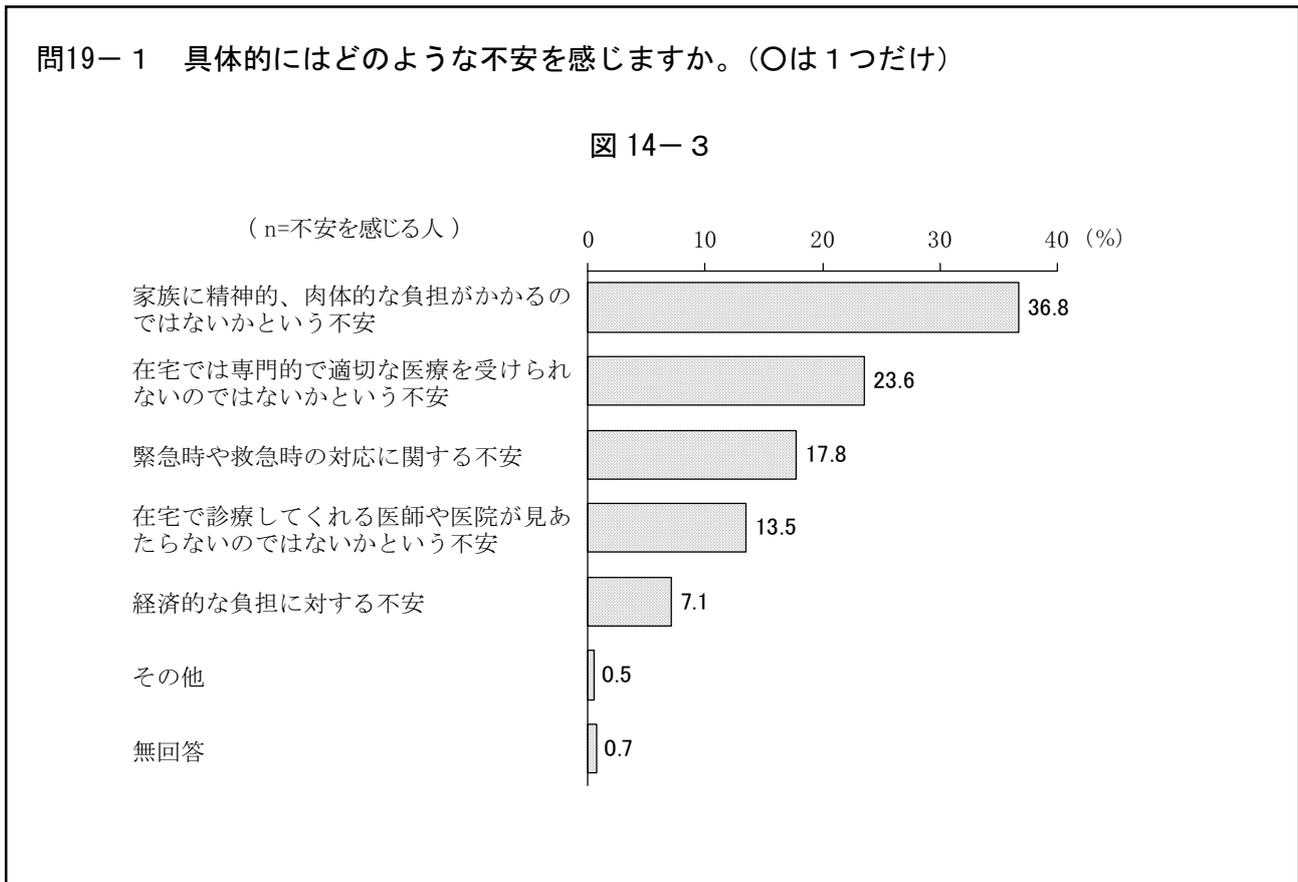
図 14-2 在宅医療に対する不安感





(2) 具体的な不安内容

～ 「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安」37%が最多 ～



在宅医療について「不安を感じる」人(90.2%)にきいた具体的な不安は、「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安」が36.8%で最も多く、以下「在宅では専門的で適切な医療を受けられないのではないかと不安」(23.6%)、「緊急時や救急時の対応に関する不安」(17.8%)の順になっている。

◆**地域別** すべての地域で「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安」が最も多くなっているが、中でも桐生保健医療圏で47.1%と他の医療圏に比べ多くなっている。

◆**市郡別** 市部と郡部ではほとんど差はないが、人口10万人未満の市では、「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安」が41.3%と、人口10万人以上の市(35.1%)や郡部(36.6%)に比べやや多くなっている。

◆**性別** 女性では、「緊急時や救急時の対応に関する不安」が20.7%と、男性(14.2%)を上回っている。

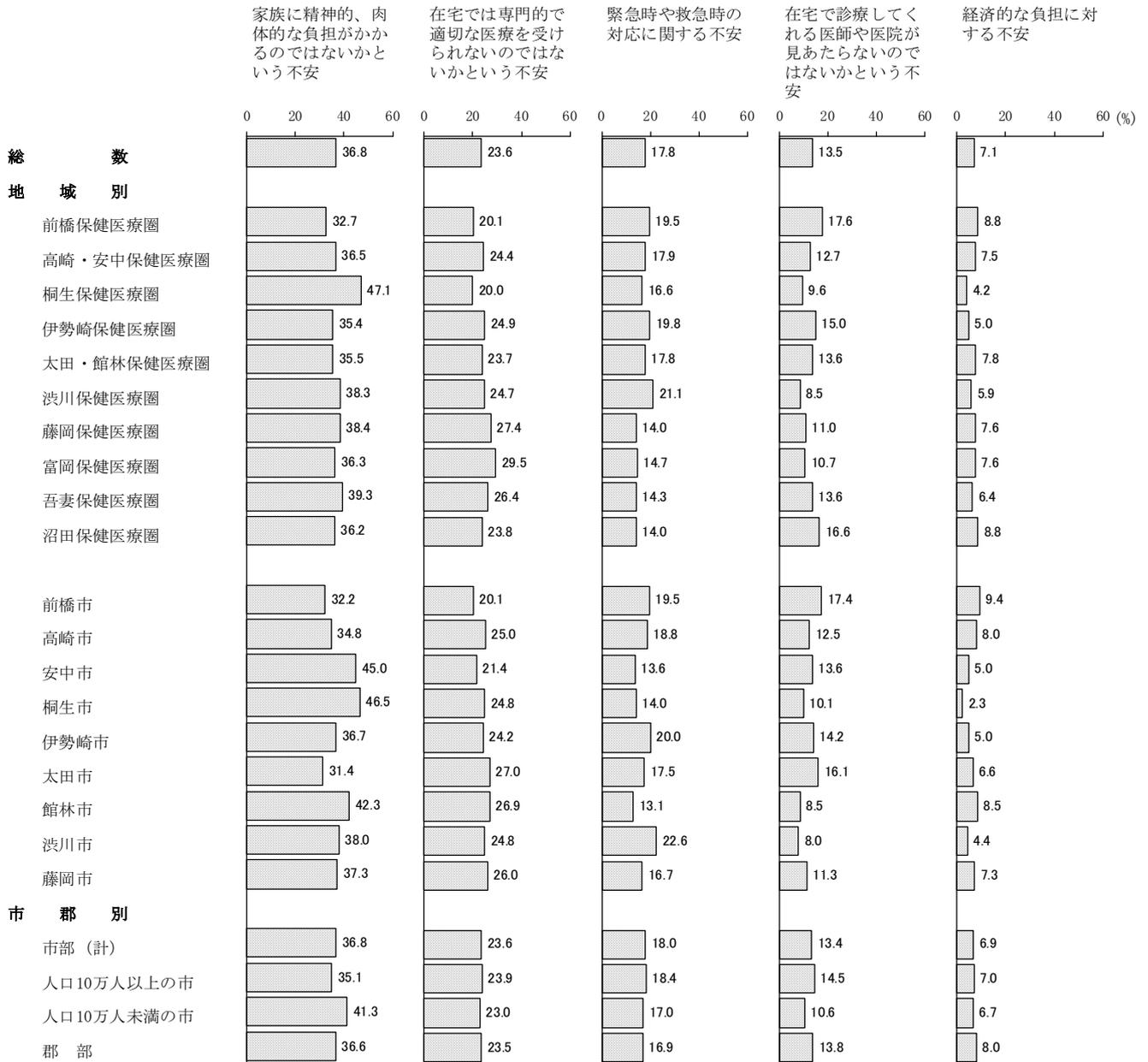
◆**性・年代別** 男性では60代で「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安」が47.7%と他の年齢に比べかなり多くなっている。女性では40代以上で「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安」が40%前後と多くなっている。男性の50代と女性の30代では「在宅では専門的で適切な医療を受けられないのではないかと不安」が30%を超えている。また、男女ともに50代以下の年齢では、年齢が低いほど「緊急時や救急時の対応に関する不安」が増加し、特に女性で顕著である。

◆**職業別** 農林漁業、パート・アルバイトでは「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと

いう不安」が40%を超えている。また、農林漁業では「在宅で診療してくれる医師や医院が見あたらないのではないかという不安」が23.1%と他の職業に比べ多くなっている。

◆**健康状態別** 健康状態がよい、普通という人では、「家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかという不安」が30%台後半で、健康状態がよくないという人（32.9%）に比べてやや多くなっている。

図 14-4 具体的な不安内容



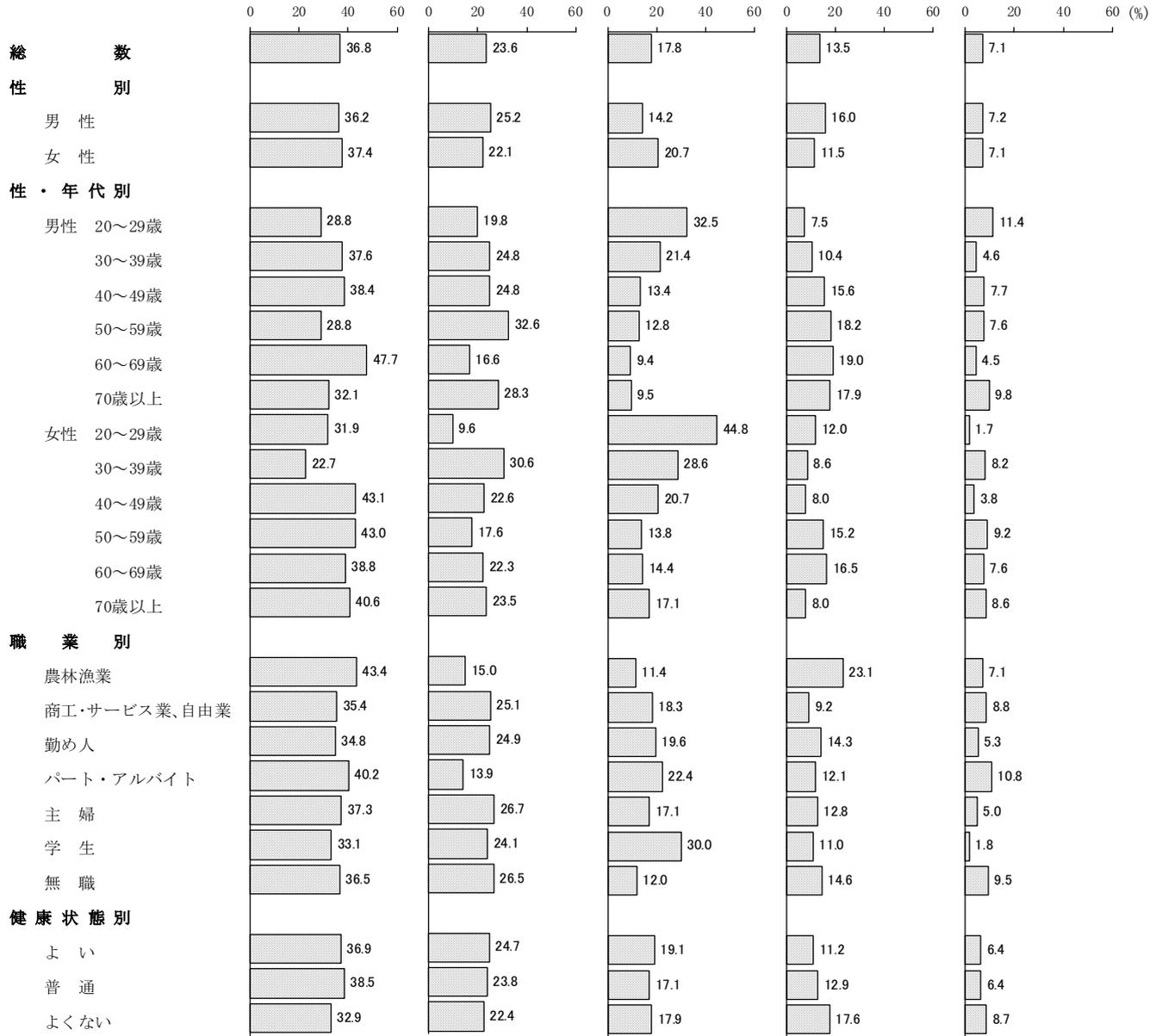
家族に精神的、肉体的な負担がかかるのではないかと不安

在宅では専門的で適切な医療を受けられないのではないかと不安

緊急時や救急時の対応に関する不安

在宅で診療してくれる医師や医院が見当たらないのではないかと不安

経済的な負担に対する不安



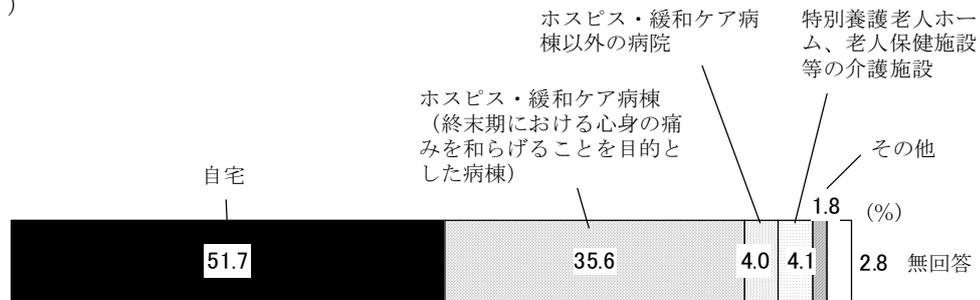
(3) 治る見込みの少ない病気にかかったときに過ごしたい場所

～ 「自宅」52%が過半数 ～

問20 もし、あなたが治る見込みの少ない病気にかかったとしたら、どこで過ごしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

図 14-5

(n=全体)



治る見込みの少ない病気にかかったときに過ごしたい場所は、「自宅」が 51.7%と過半数を占め、次いで「ホスピス・緩和ケア病棟(終末期における心身の痛みを和らげることを目的とした病棟)」が 35.6%となっている。

◆**地域別** 太田・館林保健医療圏では「自宅」が 48.8%と半数を下回るが、それ以外の医療圏ではいずれも過半数を占めている。

◆**市郡別** 市部と郡部では相違がみられないが、人口規模でみると、人口 10 万人未満の市では、「自宅」が 47.1%と半数を下回る。

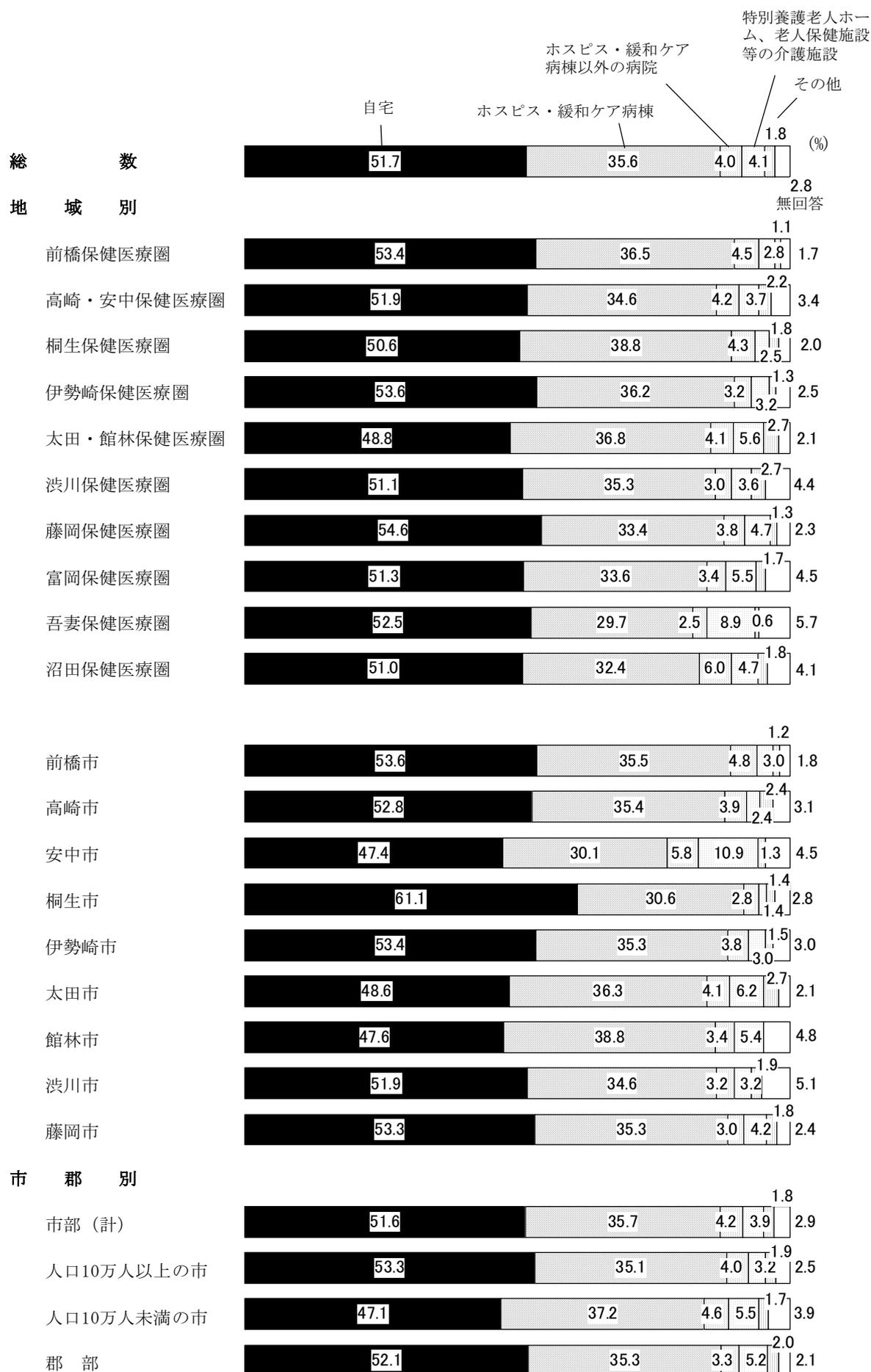
◆**性別** 男性では「自宅」が 59.4%と、女性 (45.8%) を大きく上回っている。一方、女性では「ホスピス・緩和ケア病棟」が 42.0%と、男性 (27.9%) をかなり上回っている。

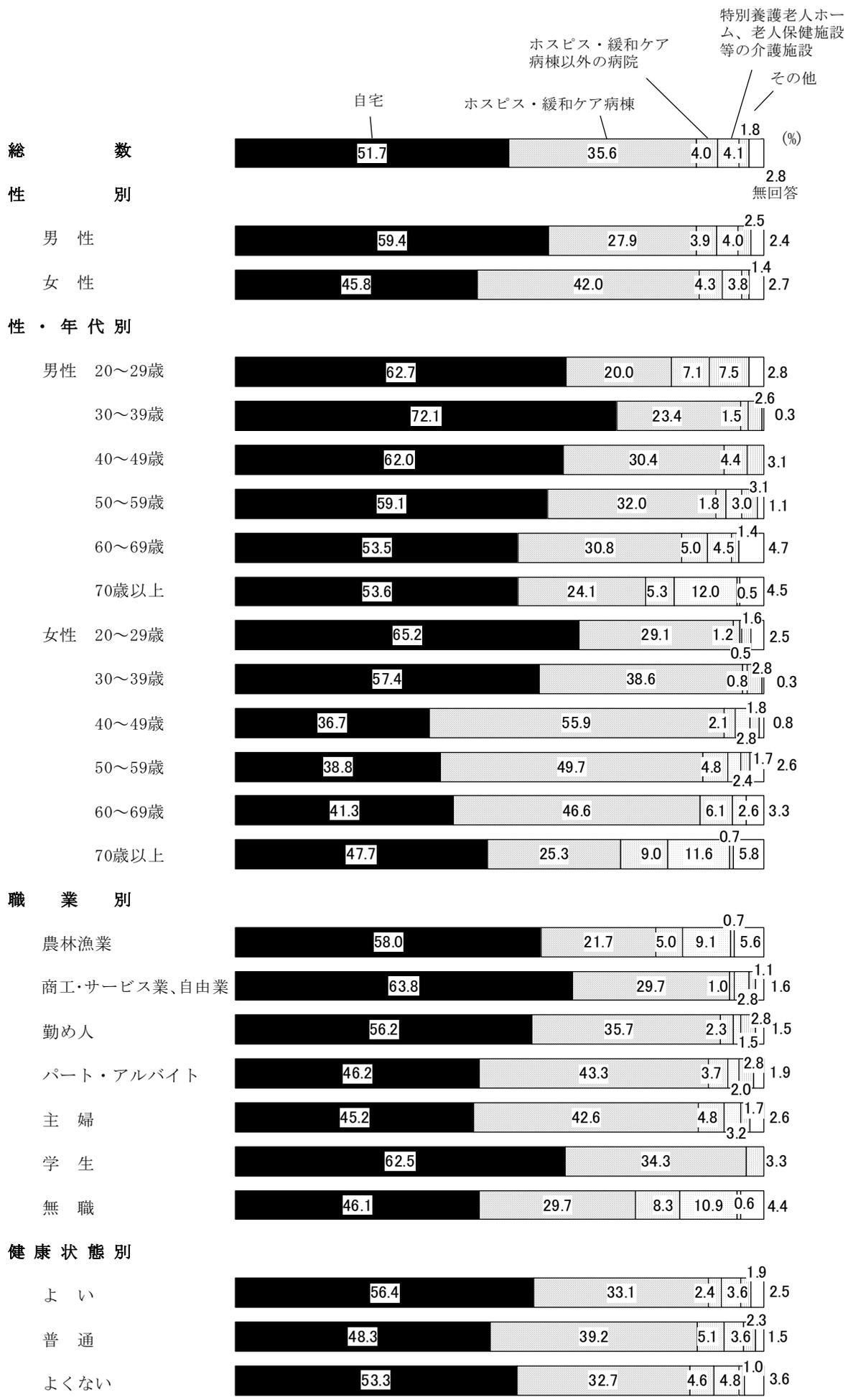
◆**性・年代別** 男性では、30代で「自宅」が 72.1%ときわめて多く、20代、40代でも 60%を超えている。女性では、40代以上の年齢では「自宅」が半数を下回り、40代と 50代では 30%台にとどまっている。女性の 40代から 60代では、「自宅」よりも「ホスピス・緩和ケア病棟」が多く、中でも 40代では 55.9%を占める。

◆**職業別** 商工・サービス業、自由業、学生では「自宅」が 60%を超え、農林漁業、勤め人でも過半数を占めている。一方、パート・アルバイト、主婦、無職では、「自宅」が半数を下回っている。このうち、パート・アルバイト、主婦では、「ホスピス・緩和ケア病棟」が 40%を超えている。

◆**健康状態別** 健康状態が普通という人では、よい人や、よくない人に比べ、「自宅」が少なく、「ホスピス・緩和ケア病棟」が多くなっている。

図 14-6 治る見込みの少ない病気にかかったときに過ごしたい場所

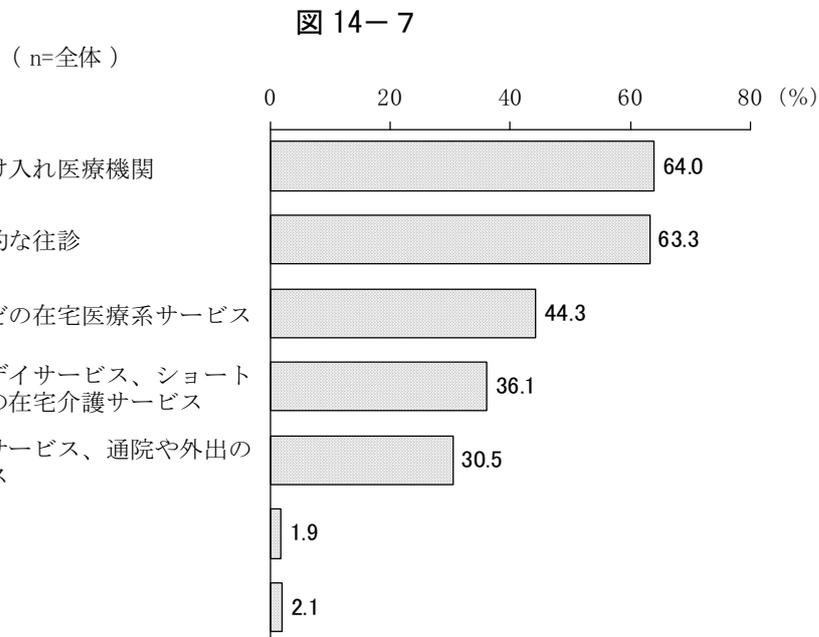




(4) 自宅で過ごす場合に必要なこと

～ 「緊急時の受け入れ医療機関」64%、「医師の定期的な往診」63%が多い ～

問21 もし、あなたが治る見込みの少ない病気にかかり、自宅で過ごすことになった場合、以下のもののうち特に何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)



自宅で過ごす場合に必要なこととしては、「緊急時の受け入れ医療機関」(64.0%)と「医師の定期的な往診」(63.3%)が多く、これらに次いで「訪問看護などの在宅医療系サービス」(44.3%)が続いている。

◆**地域別** いずれの保健医療圏でも、上位2項目に集中する傾向は共通している。

◆**市郡別** 市部と郡部にあまり差はみられない。

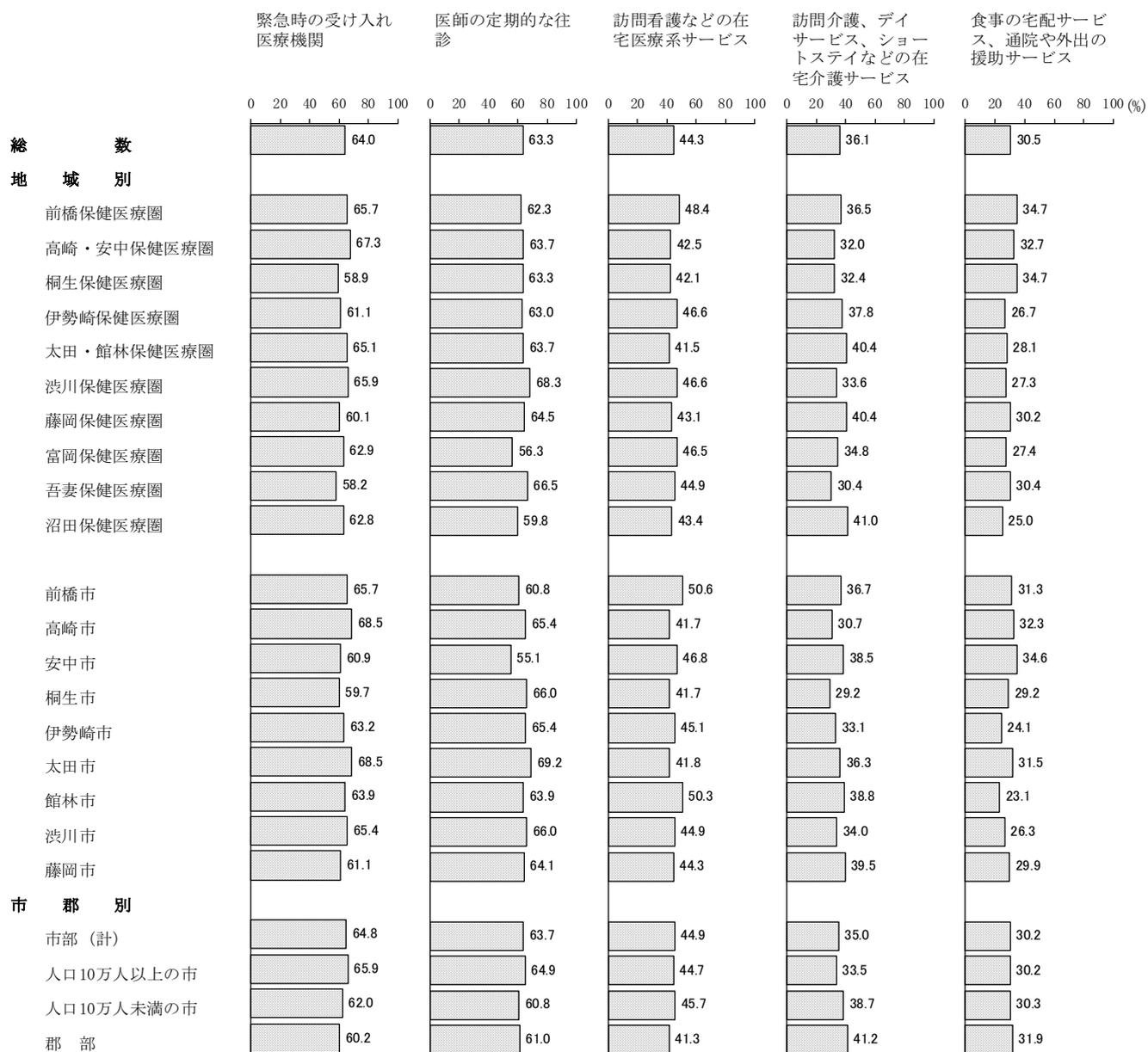
◆**性別** 女性では「緊急時の受け入れ医療機関」が66.8%と、男性(61.3%)よりやや多くなっている。また、「訪問介護、デイサービス、ショートステイなどの在宅介護サービス」や「食事の宅配サービス、通院や外出の援助サービス」も男性より女性で多くなっている。

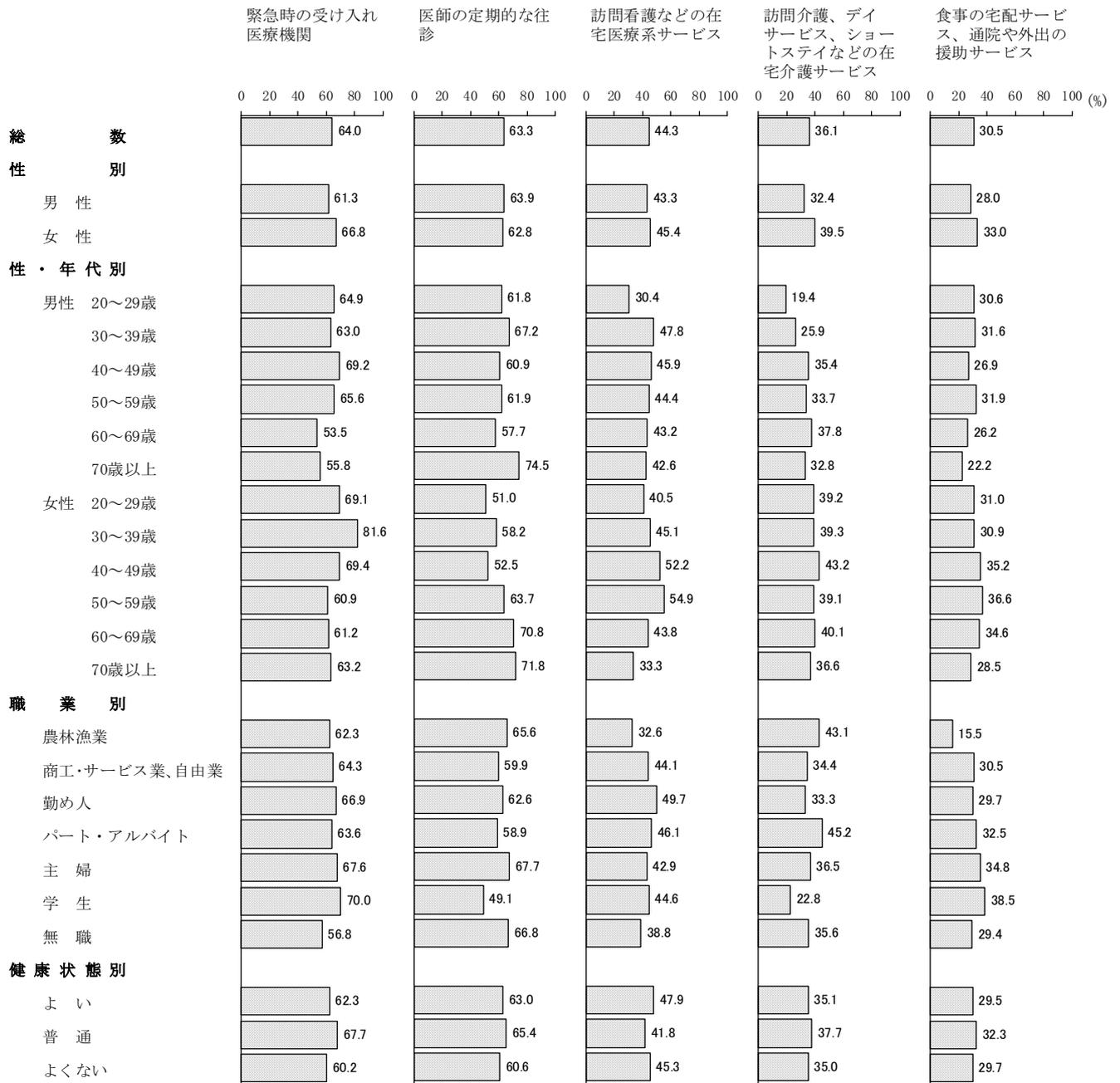
◆**性・年代別** 男性では、70歳以上で「医師の定期的な往診」が74.5%と多くなっている。女性では30代で「緊急時の受け入れ医療機関」が81.6%と多く、60代以上で「医師の定期的な往診」が70%を超えて多くなっている。

◆**職業別** 農林漁業、主婦、無職では「医師の定期的な往診」が60%台後半と多くなっている。

◆**健康状態別** 健康状態が普通という人では、「緊急時の受け入れ医療機関」が67.7%と、よい人やよくない人に比べ、やや多くなっている。

図 14-8 自宅で過ごす場合に必要なこと





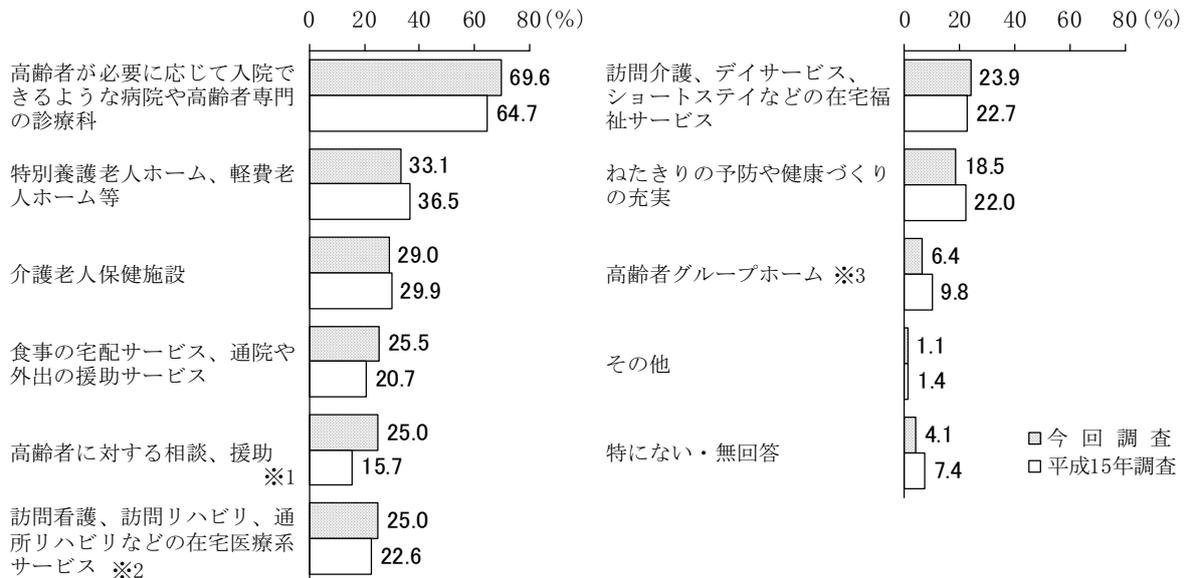
15 高齢者保健医療福祉サービスへの要望

～ 「高齢者が必要に応じて入院できるような病院や高齢者専門の診療科」70%が断然多い ～

問22 あなたは高齢者向けの保健医療福祉サービスとしてどのようなものを、もっと充実すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

図 15-1

(n=全体)



※1 平成15年調査は「痴呆性高齢者に対する相談、援助」

※2 平成15年調査は「訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、ショートステイなどの在宅医療サービス」

※3 平成15年調査は「痴呆性高齢者グループホーム」

高齢者向け保健医療サービスの中で充実させるべきものとしては「高齢者が必要に応じて入院できるような病院や高齢者専門の診療科」が69.6%で最も多く、以下「特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム等」(33.1%)、「介護老人保健施設」(29.0%)の順で続いている。

平成15年の調査結果と比べると、「高齢者に対する相談、援助」は前回の15.7%から大きく増加している。このほか、「高齢者が必要に応じて入院できるような病院や高齢者専門の診療科」「食事の宅配サービス、通院や外出の援助サービス」も約5ポイント増加している。

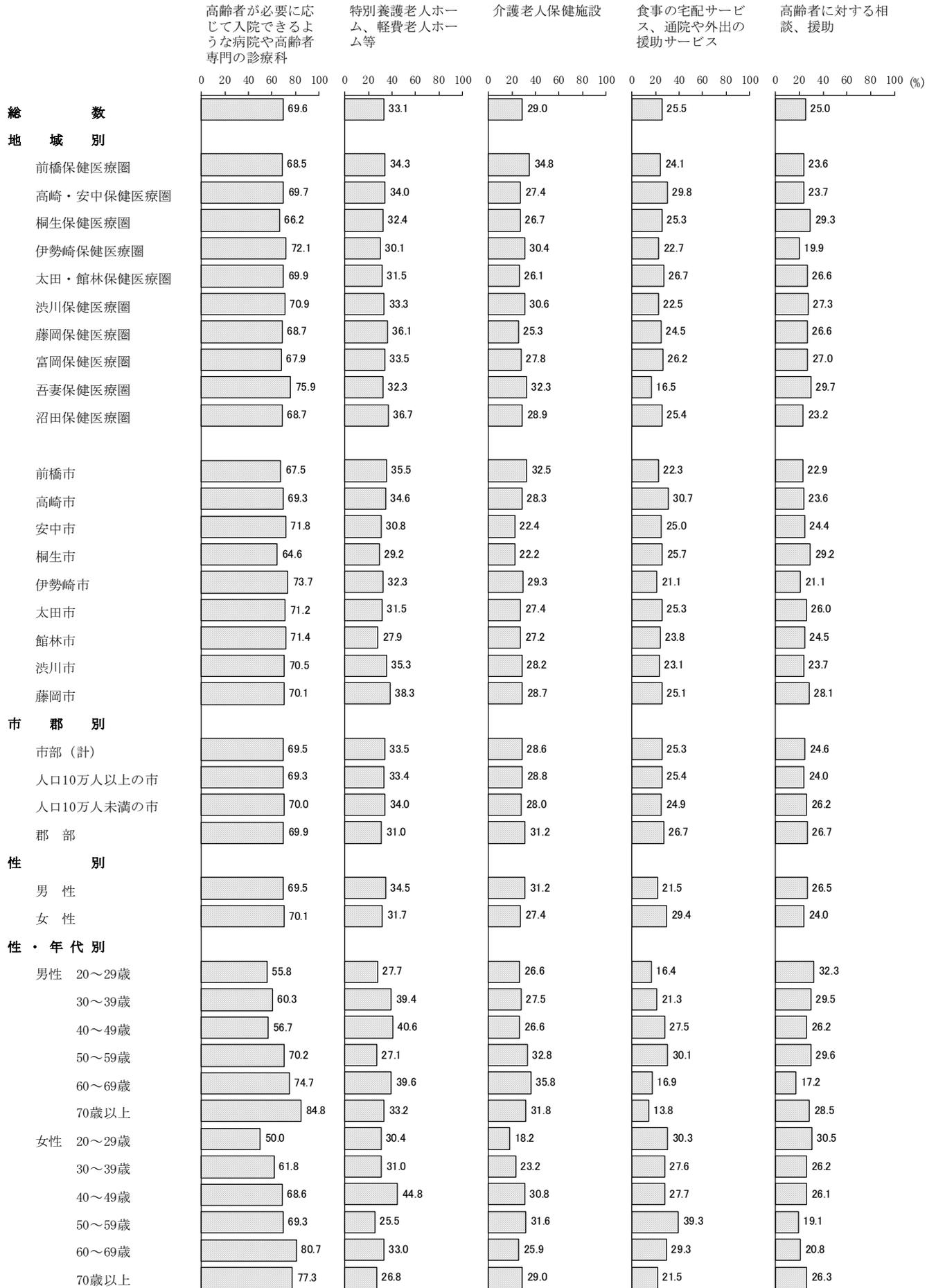
◆**地域別** すべての保健医療圏で「高齢者が必要に応じて入院できるような病院や高齢者専門の診療科」が60%台半ば以上となっているが、中でも吾妻保健医療圏では75.9%と多くなっている。

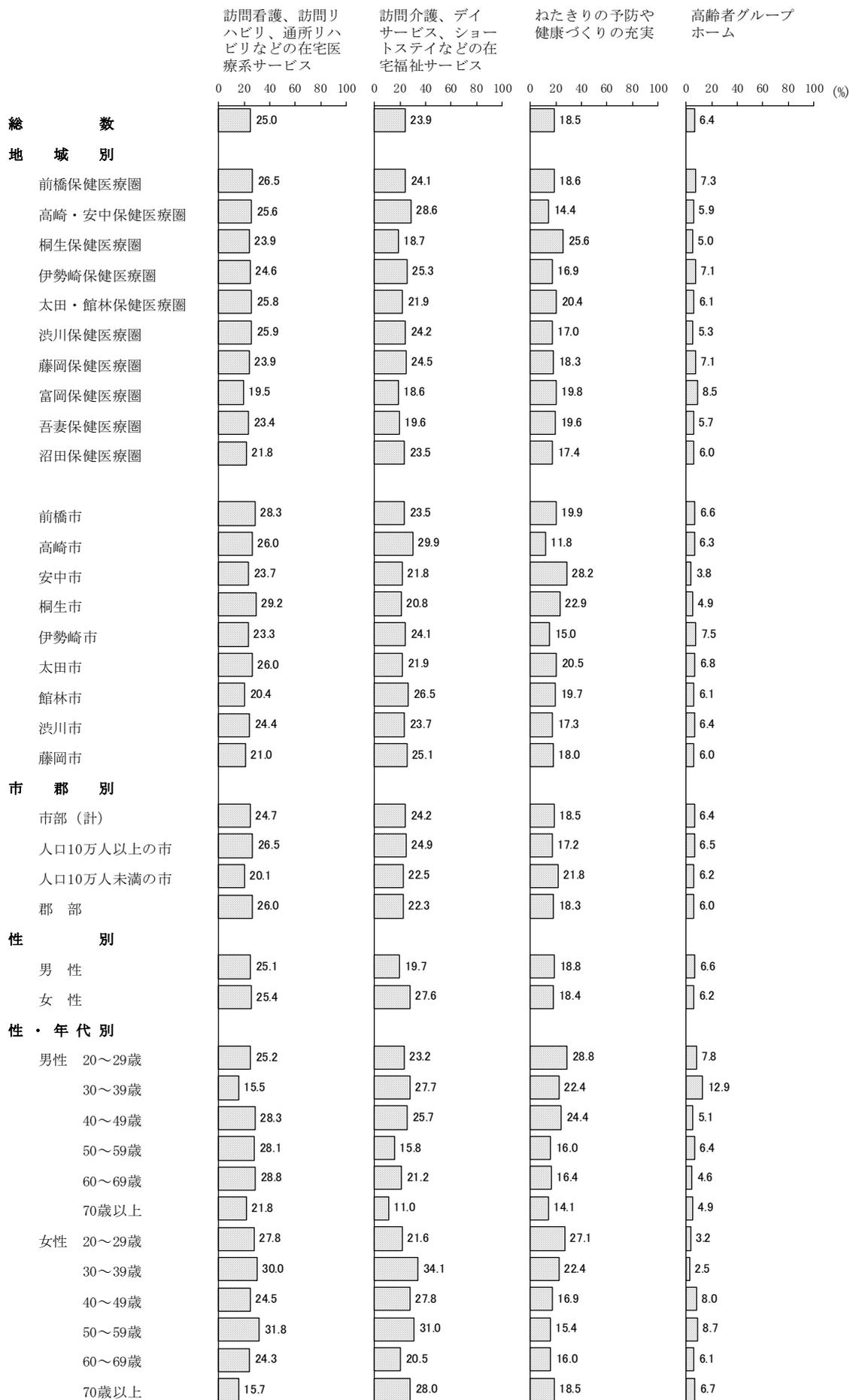
◆**市郡別** 市部と郡部の間に、回答傾向の大きな相違はない。

◆**性別** 女性では、「食事の宅配サービス、通院や外出の援助サービス」(29.4%)と「訪問介護、デイサービス、ショートステイなどの在宅福祉サービス」(27.6%)が男性より多くなっている。

◆**性・年代別** 男女とも「高齢者が必要に応じて入院できるような病院や高齢者専門の診療科」は年齢の高い層で多くなる傾向がみられ、男性の70歳以上(84.8%)と女性の60代(80.7%)では80%を超えている。男性の30代、40代、60代では、「特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム等」が40%前後、女性の40代ではこれが44.8%と他の年齢に比べ多くなっている。また、女性の50代では、「食事の宅配サービス、通院や外出の援助サービス」が39.3%と多くなっている。

図 15-2 高齢者保健医療福祉サービスへの要望





16 医療機関への要望

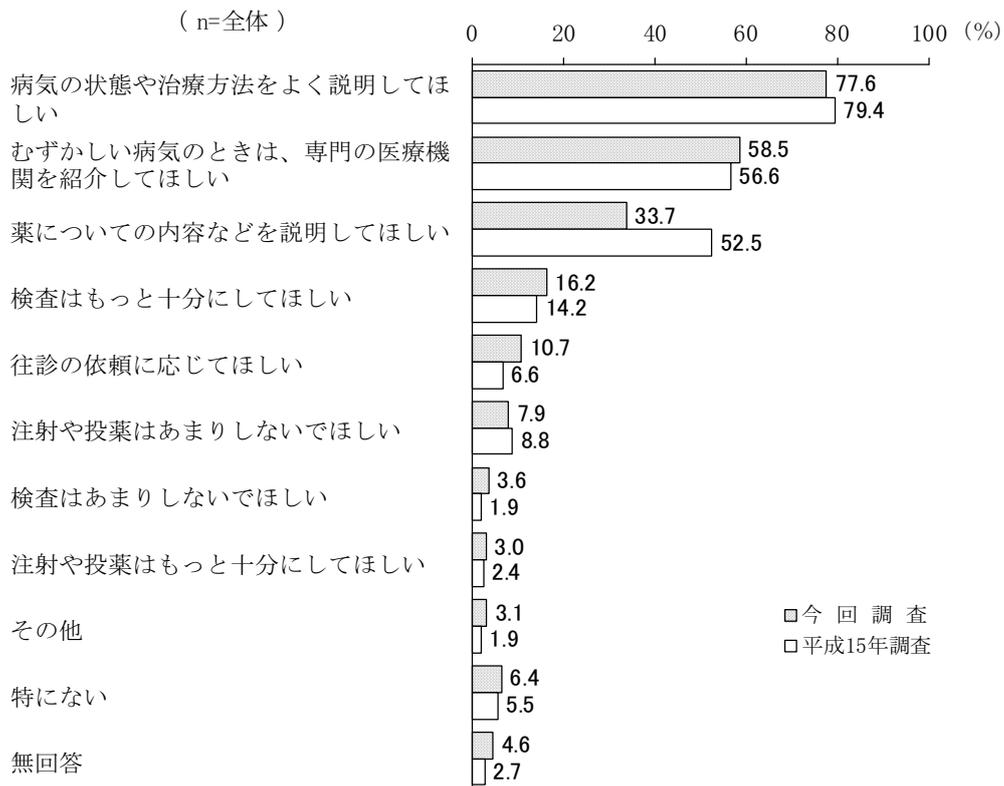
～ 医師については、「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」78%が、
看護師に対しては「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」56%が最多 ～

問23 これまでの経験から、あなたは医療機関に対してどのようなことを望みますか。

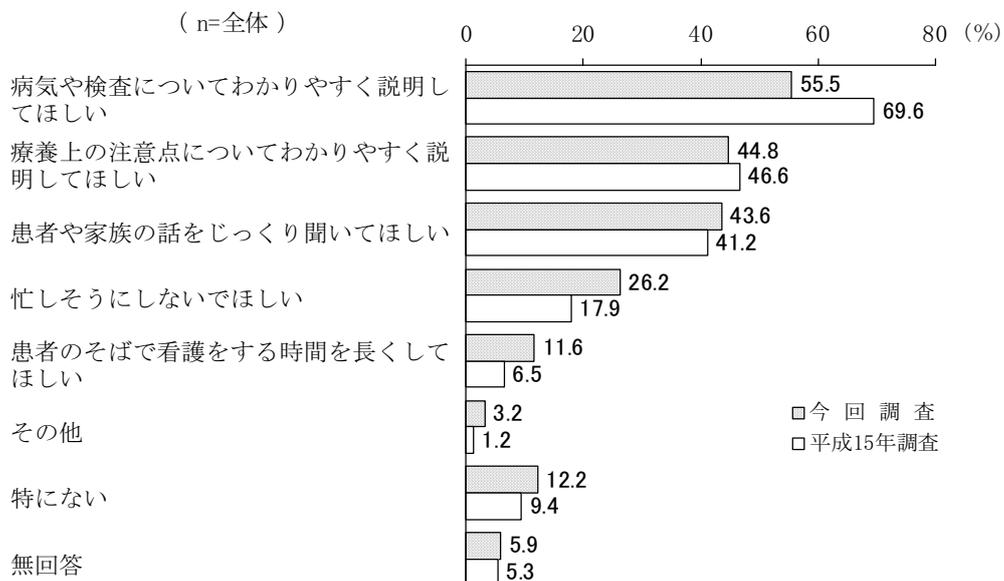
(○はそれぞれ3つまで)

図 16-1

(1) 医師について

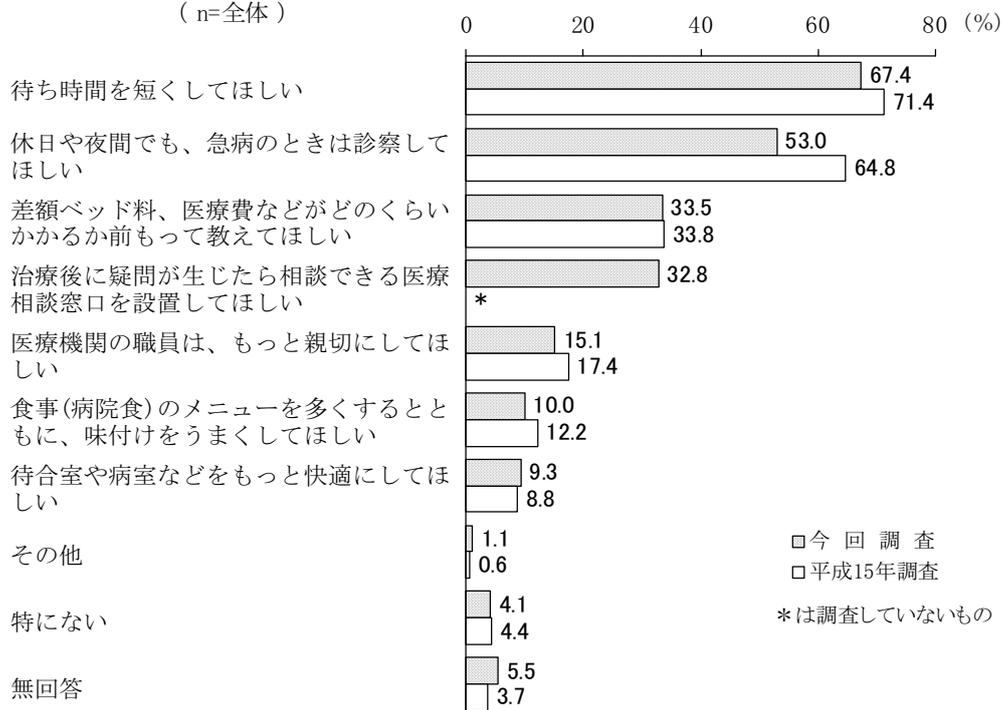


(2) 看護師について



(3) 施設・サービスについて

(n=全体)



医師については、「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」が 77.6%で最も多く、これに「むずかしい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」(58.5%)、「薬についての内容などをよく説明してほしい」(33.7%)が次いでいる。

平成15年の調査結果と比べると、「薬についての内容などを説明してほしい」が、前回の52.5%から大幅に減少している。

看護については、「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」が55.5%で最も多く、これに「療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい」(44.8%)と「患者や家族の話をじっくりときいてほしい」(43.6%)が次いでいる。

平成15年の調査結果と比べると、「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」が、前回の69.6%から大幅に減少している。

施設・サービスについては、「待ち時間を短くしてほしい」が67.4%で最も多く、以下「休日や夜間でも、急病のときは診察してほしい」(53.0%)、「差額ベッド料、医療費などがどのくらいかかるか前もって教えてほしい」(33.5%)、「治療後に疑問が生じたら相談できる医療相談窓口を設置してほしい」(32.8%)の順となっている。

平成15年の調査結果と比べると、選択肢が新たに一つ増加したが、上位の項目は変わらない。

◆**地域別** 医師、看護師については、いずれの保健医療圏でも、上位3項目は共通している。

また、施設・サービスについては、どの保健医療圏でも2項目に集中する傾向がある。

◆**市郡別** 市部と郡部との間に大きな違いはない。

◆**性別** 医師については、男性では「検査はもっと十分にしてほしい」が20.7%で、女性(12.8%)

より多くなっている。看護師については、女性では「忙しそうにしないでほしい」が29.0%と、男性(23.3%)よりやや多くなっている。

施設・サービスについては、男性では「待ち時間を短くしてほしい」が72.7%と、女性(64.0%)より多く、女性では「治療後に疑問が生じたら相談できる医療相談窓口を設置してほしい」が36.7%、「医療機関の職員はもっと親切にしてほしい」が17.6%と、それぞれ男性を上回っている。

◆**性・年代別** 医師については、男女とも年齢が高くなるにつれて「往診の依頼に応じてほしい」が多くなっている。

看護師については、男性では60代以上で「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」が60%を超えている。女性の20代と60代では「療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい」が、男性の70歳以上と女性の60代では「患者や家族の話をじっくりときいてほしい」が、それぞれ50%を超えている。

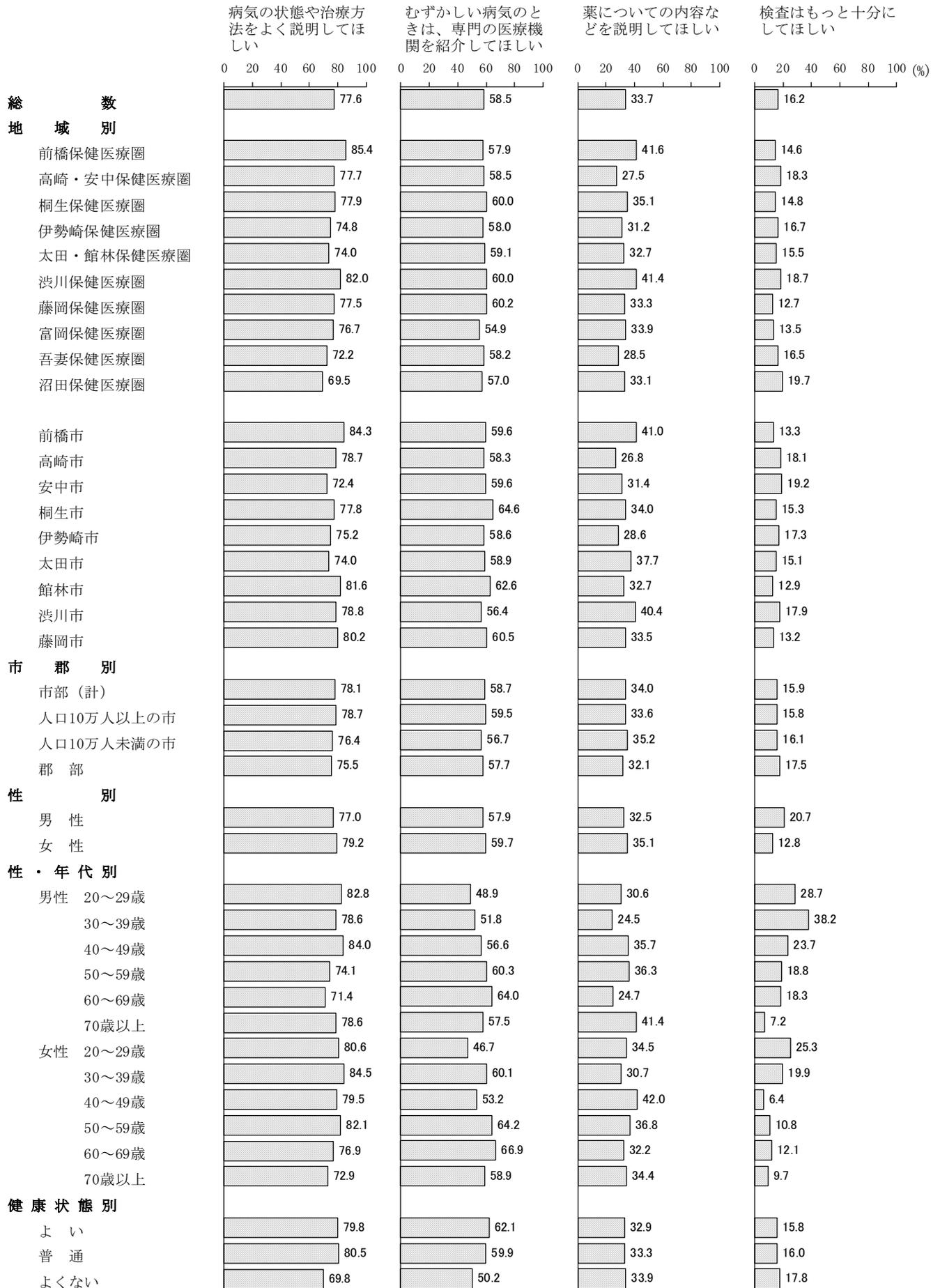
施設・サービスについては、男性では、40代で「待ち時間を短くしてほしい」が86.5%を占めているほか、30代、50代でも80%近くを占めている。

◆**健康状態別** 医師については、健康状態にかかわらず、上位3項目は共通している。ただし、健康状態のよくない人に比べ、よいという人、普通という人で「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」「むずかしい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」が多くなっている。

看護師については、健康状態にかかわらず、「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」は50%台、「療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい」は40%台となっている。

施設・サービスについては、健康状態のよいという人、よくないという人に比べ、普通という人で、上位4項目はやや多くなっている。

図 16-2 医療機関への要望（医師について）



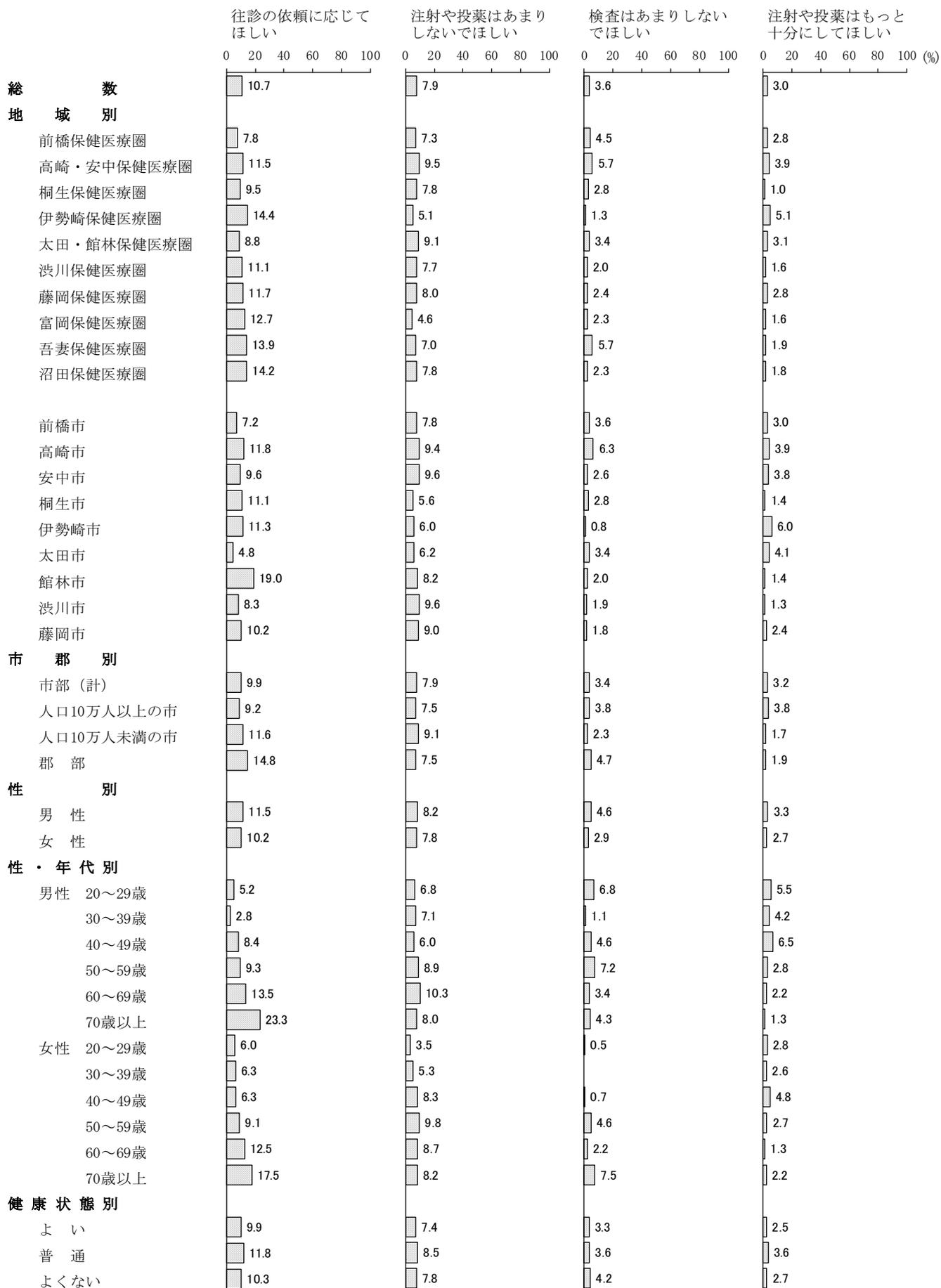


図 16-3 医療機関への要望（看護師について）

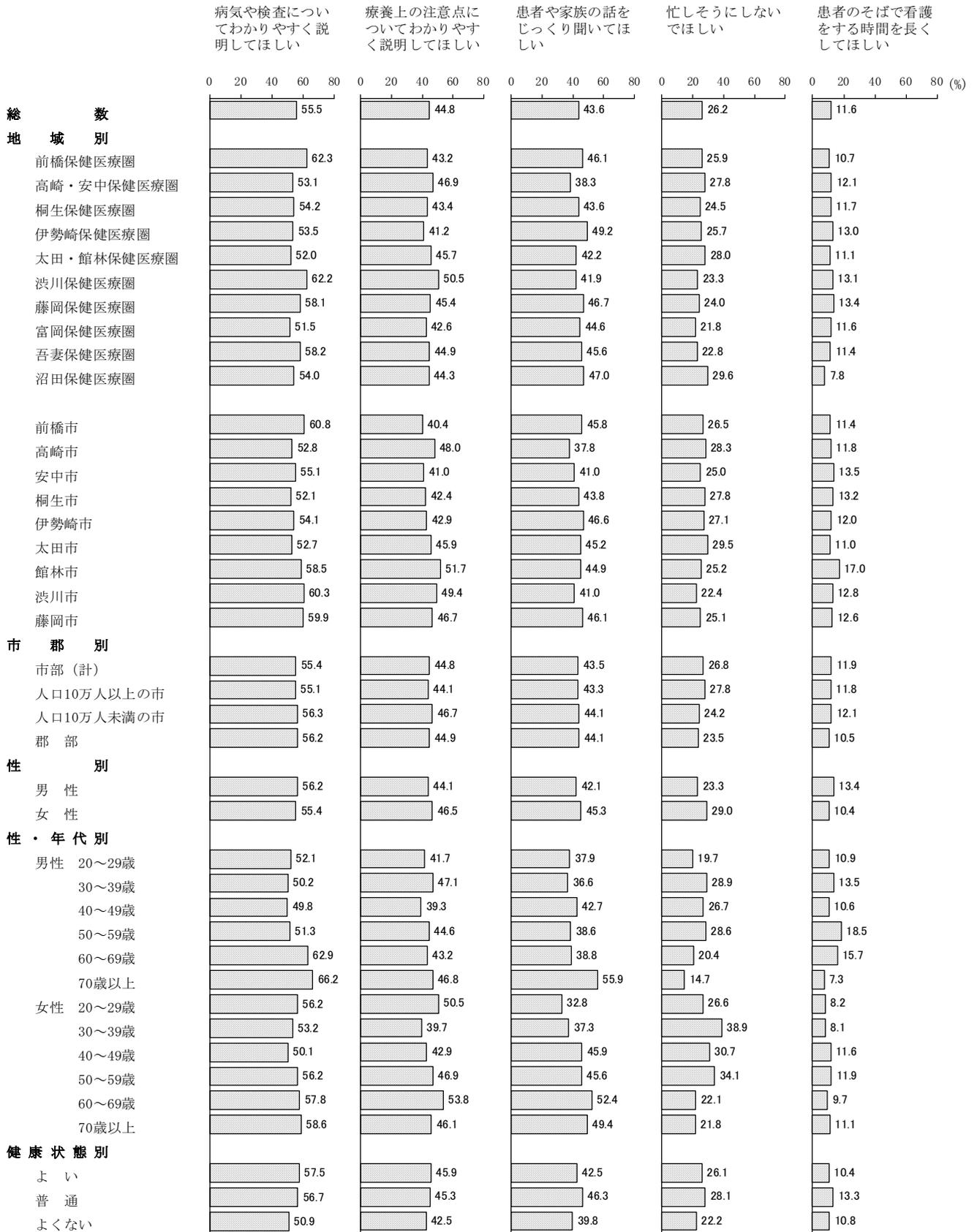
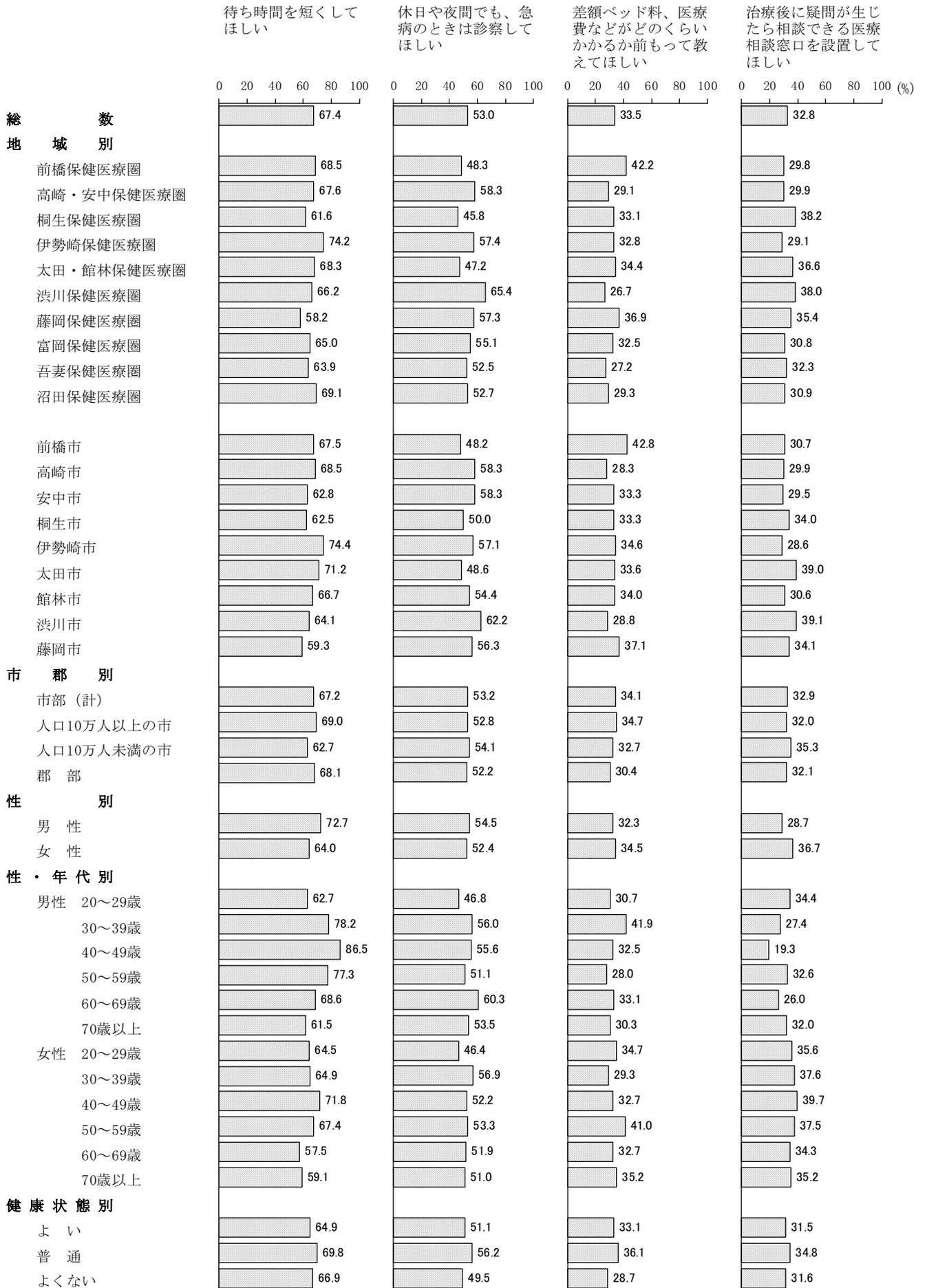
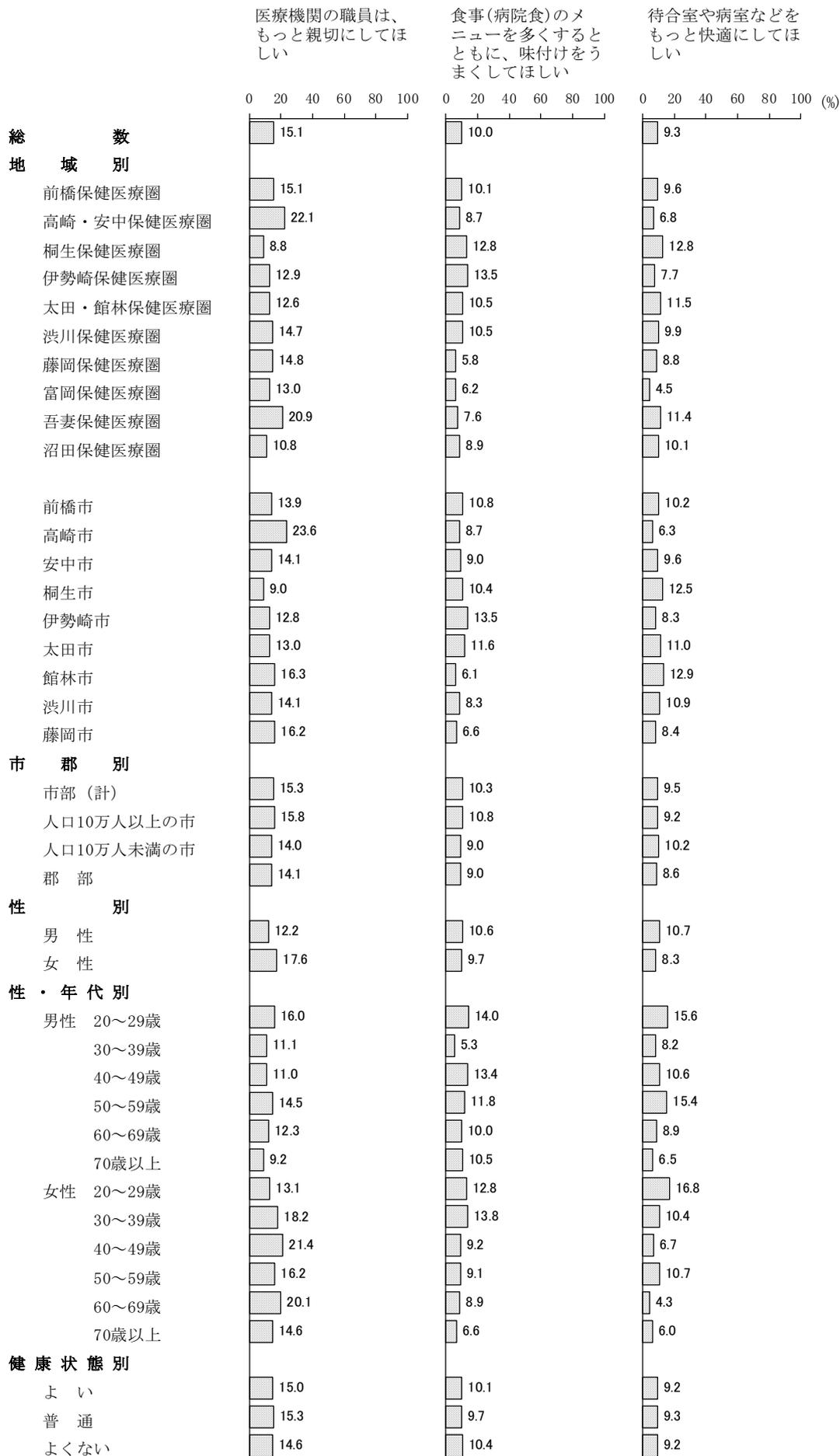


図 16-4 医療機関への要望（施設・サービスについて）





17 保健医療情報について

(1) 知りたい保健医療情報

～ 医療機関を選択するための情報は、「得意とする専門分野」56%、

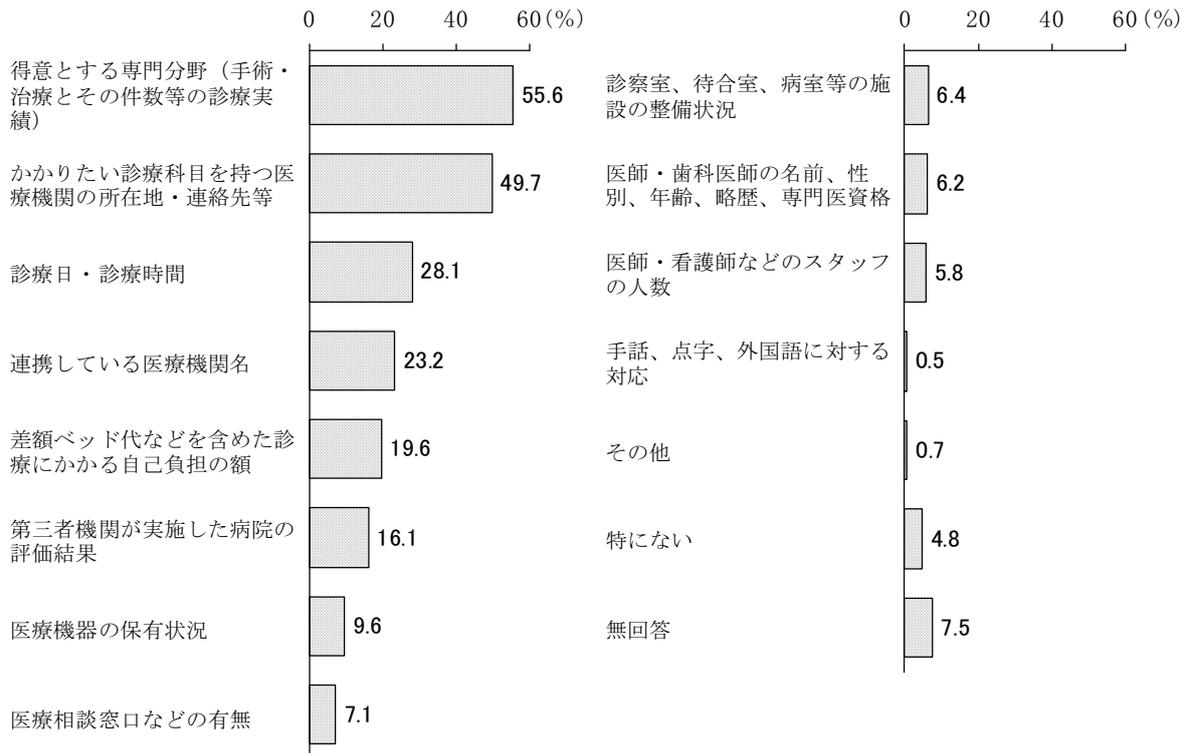
それ以外の情報では「病気の症状や予防・治療に関する情報」53%が最多 ～

問24 知りたい保健医療に関する情報は何か。(〇はそれぞれ3つまで)

図 17-1

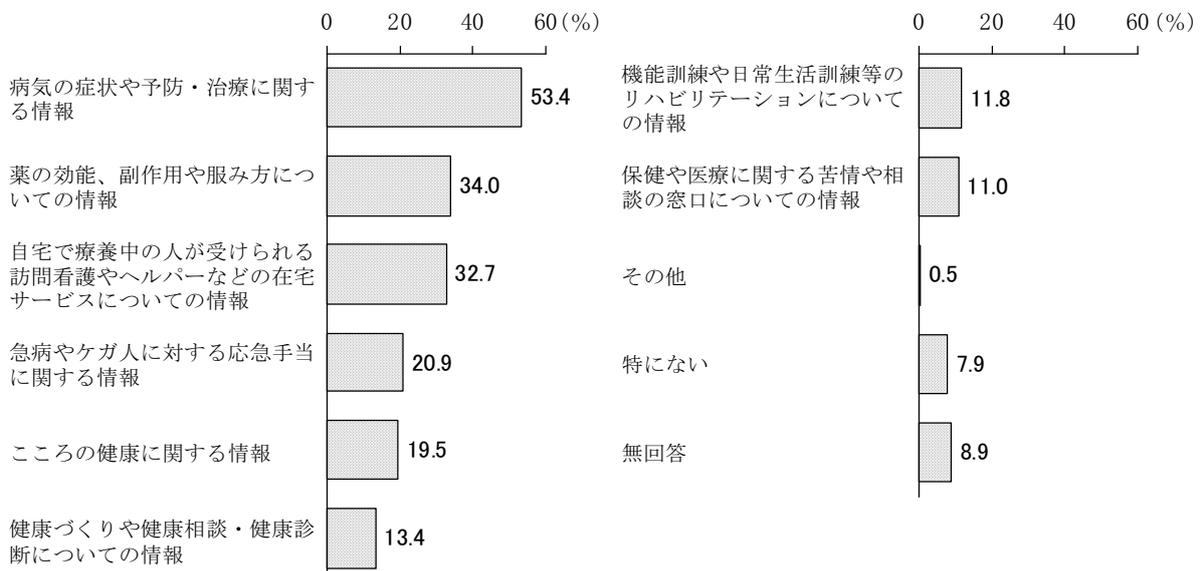
(A) 医療機関を選択するための情報

(n=全体)



(B) (A) 以外の保健医療情報

(n=全体)



医療機関を選択するための情報については、「得意とする専門分野（手術・治療とその件数等の診療実績）」が55.6%で最も多く、これに「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」（49.7%）が次いでいる。

医療機関を選択するため以外の情報については、「病気の症状や予防・治療に関する情報」が53.4%で最も多く、これに「薬の効能、副作用や服み方についての情報」（34.0%）と「自宅で療養中の人を受けられる訪問看護やヘルパーなどの在宅サービスについての情報」（32.7%）が次いでいる。

◆**地域別** 医療機関を選択するための情報については、伊勢崎保健医療圏と吾妻保健医療圏では「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」が50%台半ばと多くなっている。

医療機関を選択するため以外の情報については、前橋保健医療圏と渋川保健医療圏では「病気の症状や予防・治療に関する情報」が60%前後と多くなっている。また、伊勢崎保健医療圏では「自宅で療養中の人を受けられる訪問看護やヘルパーなどの在宅サービスについての情報」が42.8%と他の医療圏より多くなっている。

◆**市郡別** 市部と郡部との間に大きな違いはない。

◆**性別** 医療機関を選択するための情報については、男性と女性では、大きな違いはない。

医療機関を選択するため以外の情報については、男性では「病気の症状や予防・治療に関する情報」が56.2%と、女性（52.1%）をやや上回っている。女性では「自宅で療養中の人を受けられる訪問看護やヘルパーなどの在宅サービスについての情報」が35.1%と、男性（30.6%）をやや上回っている。

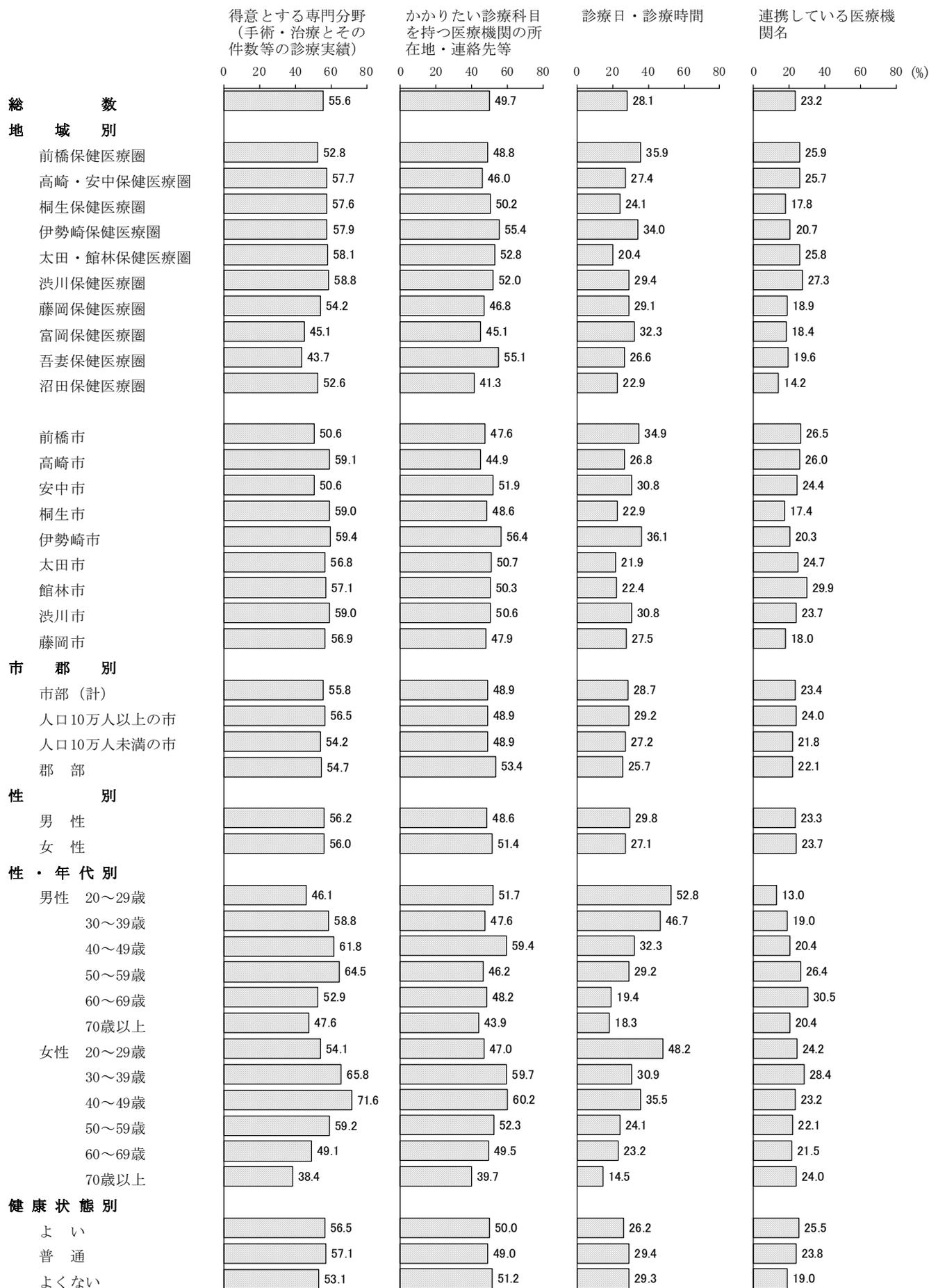
◆**性・年代別** 医療機関を選択するための情報については、女性の40代で「得意とする専門分野（手術・治療とその件数等の診療実績）」が71.6%と多くなっている。男性の40代及び女性の30代から40代で「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」が60%前後となっている。また、男女とも年齢が低いほど「診療日・診療時間」が多くなる傾向がある。

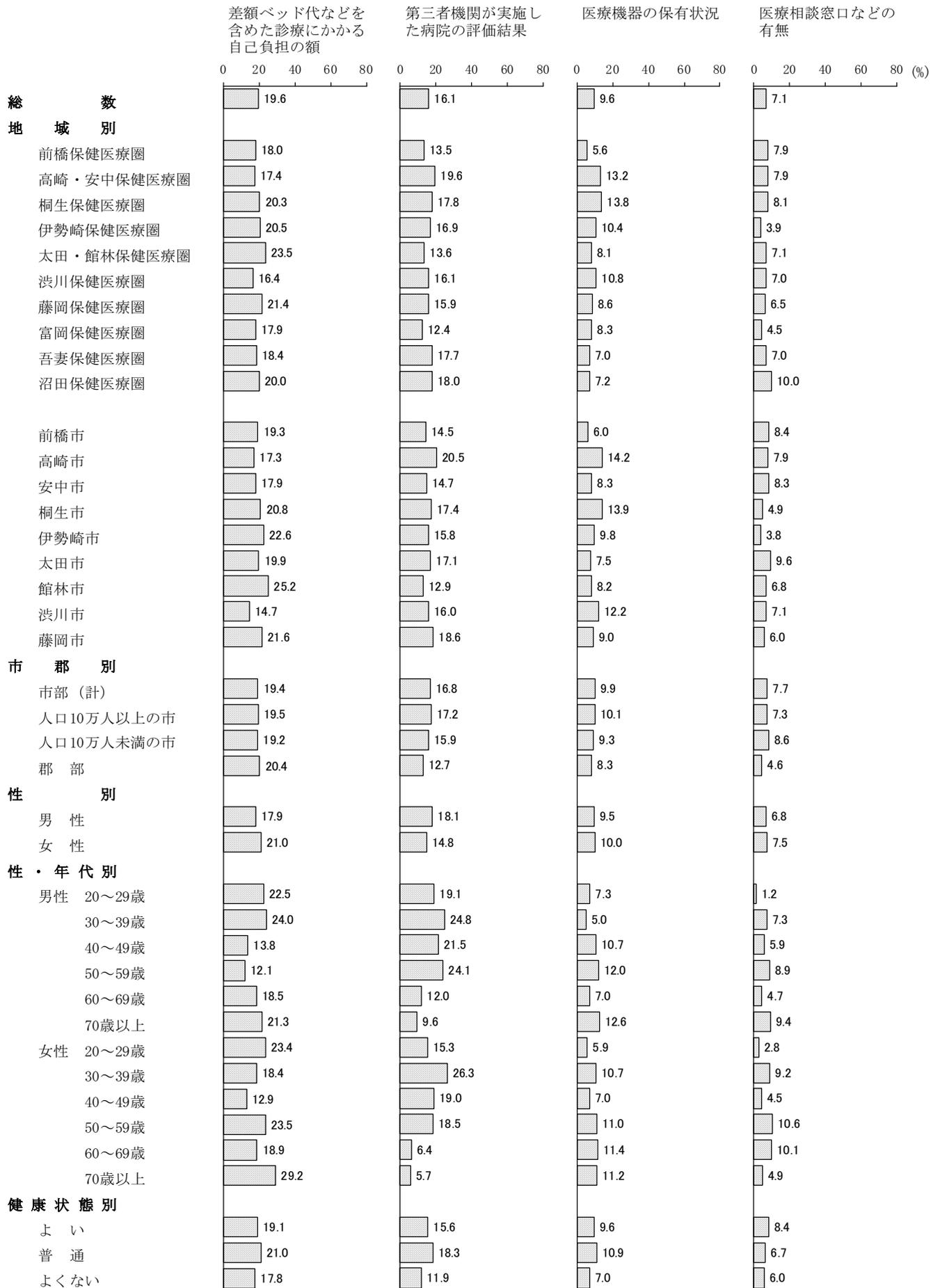
医療機関を選択するため以外の情報については、男性の30代及び女性の30代から40代で「病気の症状や予防・治療に関する情報」が、60%を超えている。男女とも20代で「薬の効能、副作用や服み方についての情報」が40%を超え多くなっている。

◆**健康状態別** 医療機関を選択するための情報については、どの健康状態でも「得意とする専門分野（手術・治療とその件数等の診療実績）」が50%を超えている。また、「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」についても50%前後と高くなっている。

医療機関を選択するため以外の情報については、どの健康状態でも「病気の症状や予防・治療に関する情報」が50%台となっている。

図 17-2 知りたい保健医療情報（医療機関を選択するための情報）





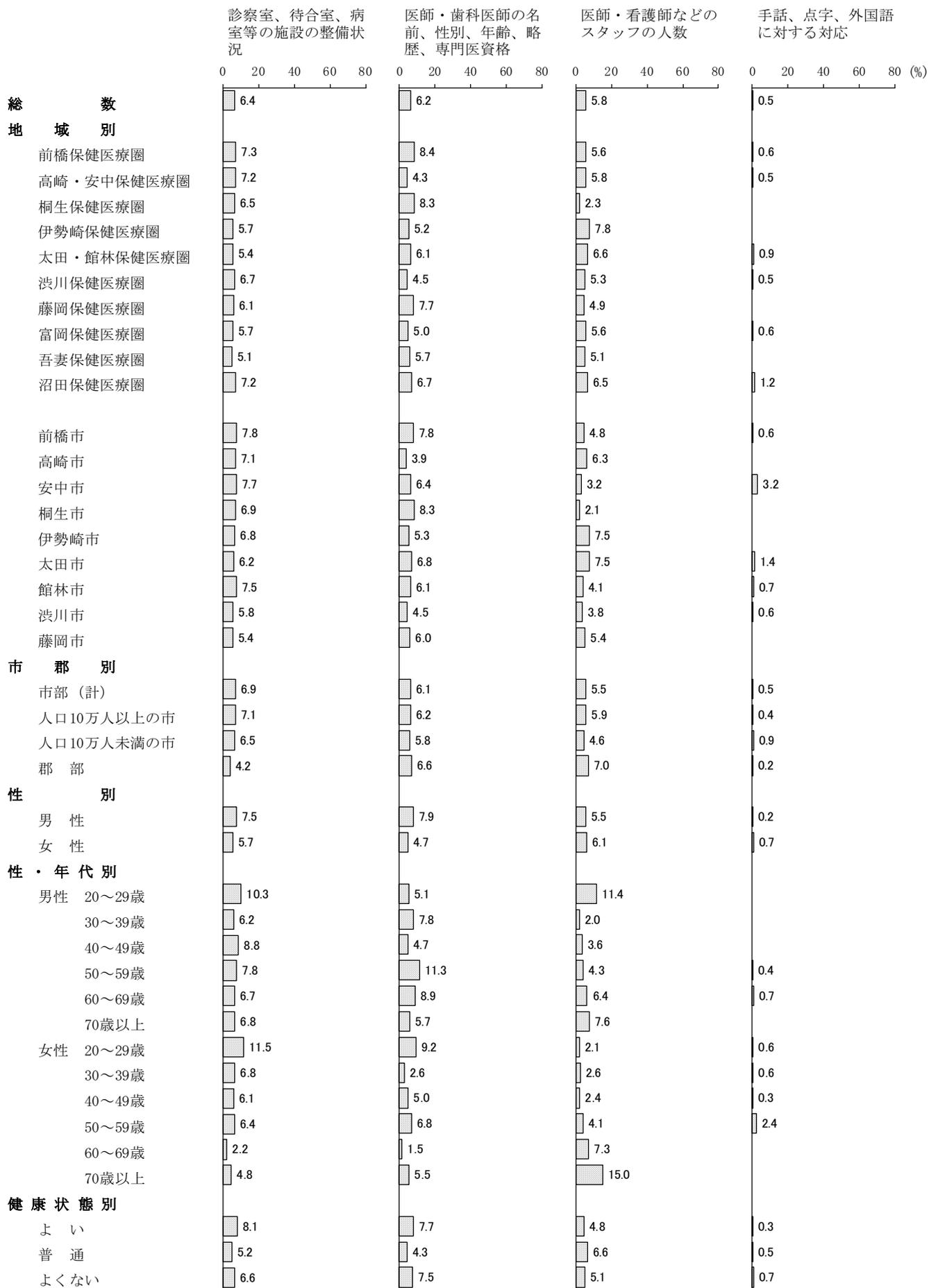
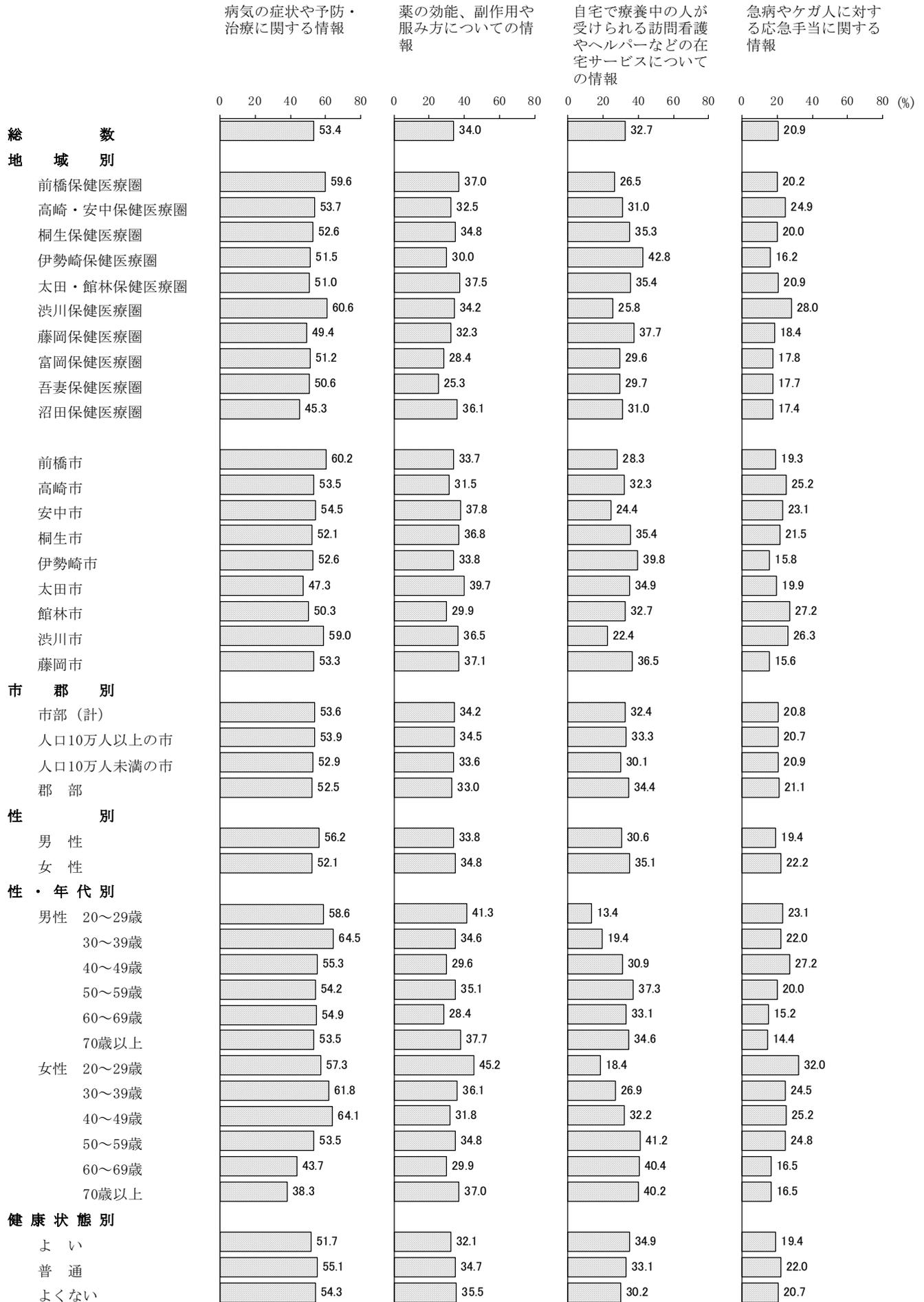
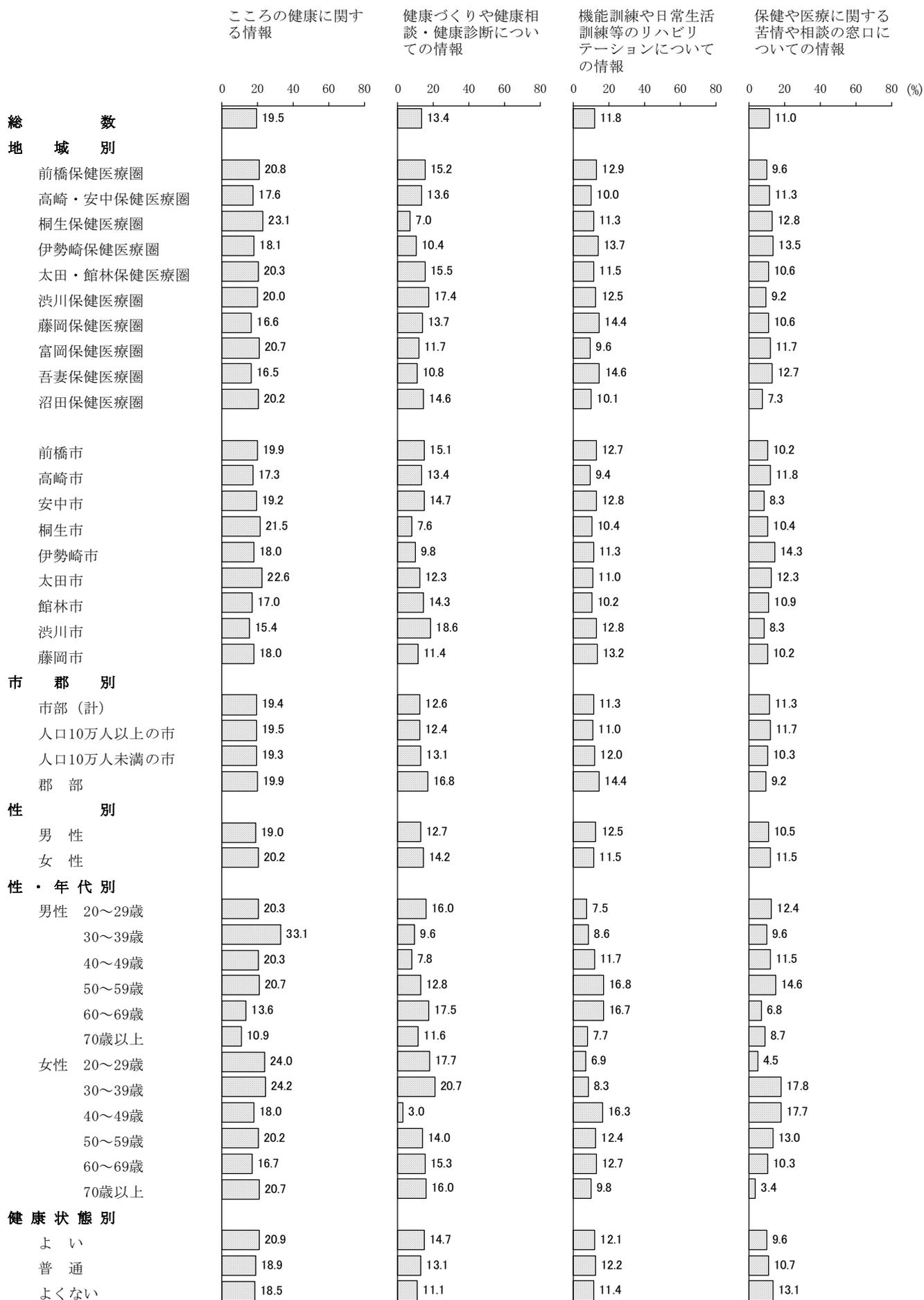


図 17-3 知りたい保健医療情報（医療機関選択以外の保健医療情報）

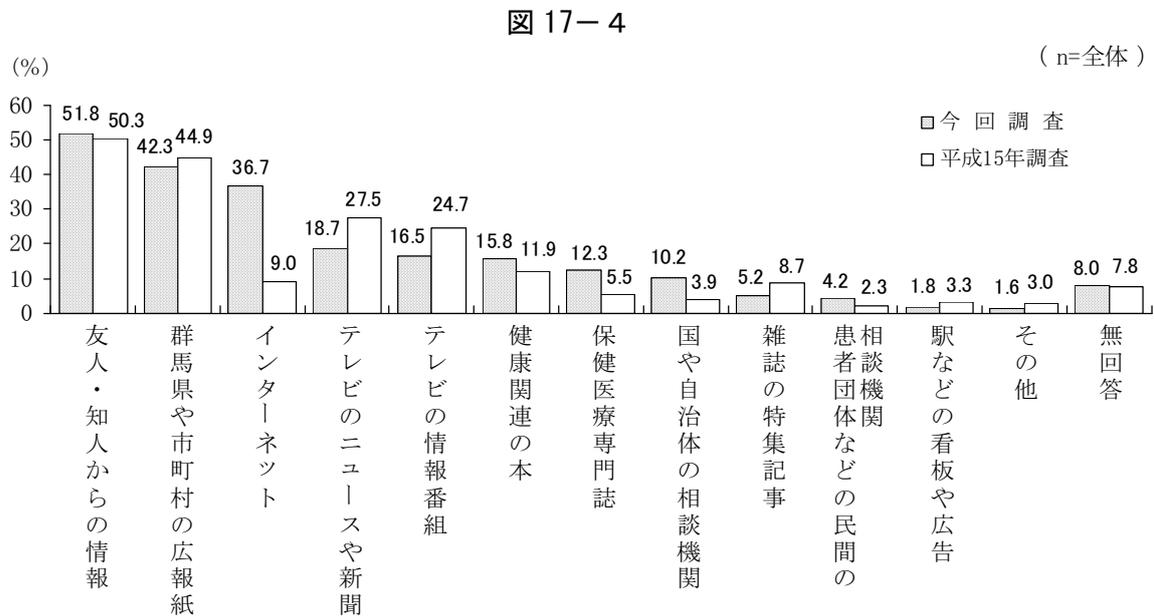




(2) 保健医療情報の入手方法

～ 「友人・知人からの情報」52%が過半数 ～

問25 医院（診療所）や病院で情報を入手する以外に、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手しようと思いますか。（〇は3つまで）



(注) 平成15年調査では、「日頃、こうした情報を主に何から得ていますか。」と質問した。

病院以外の保健や医療に関する情報の入手方法としては、「友人・知人からの情報」(51.8%)が最も多く、これに「群馬県や市町村の広報紙」(42.3%)、「インターネット」(36.7%)が次いでいる。

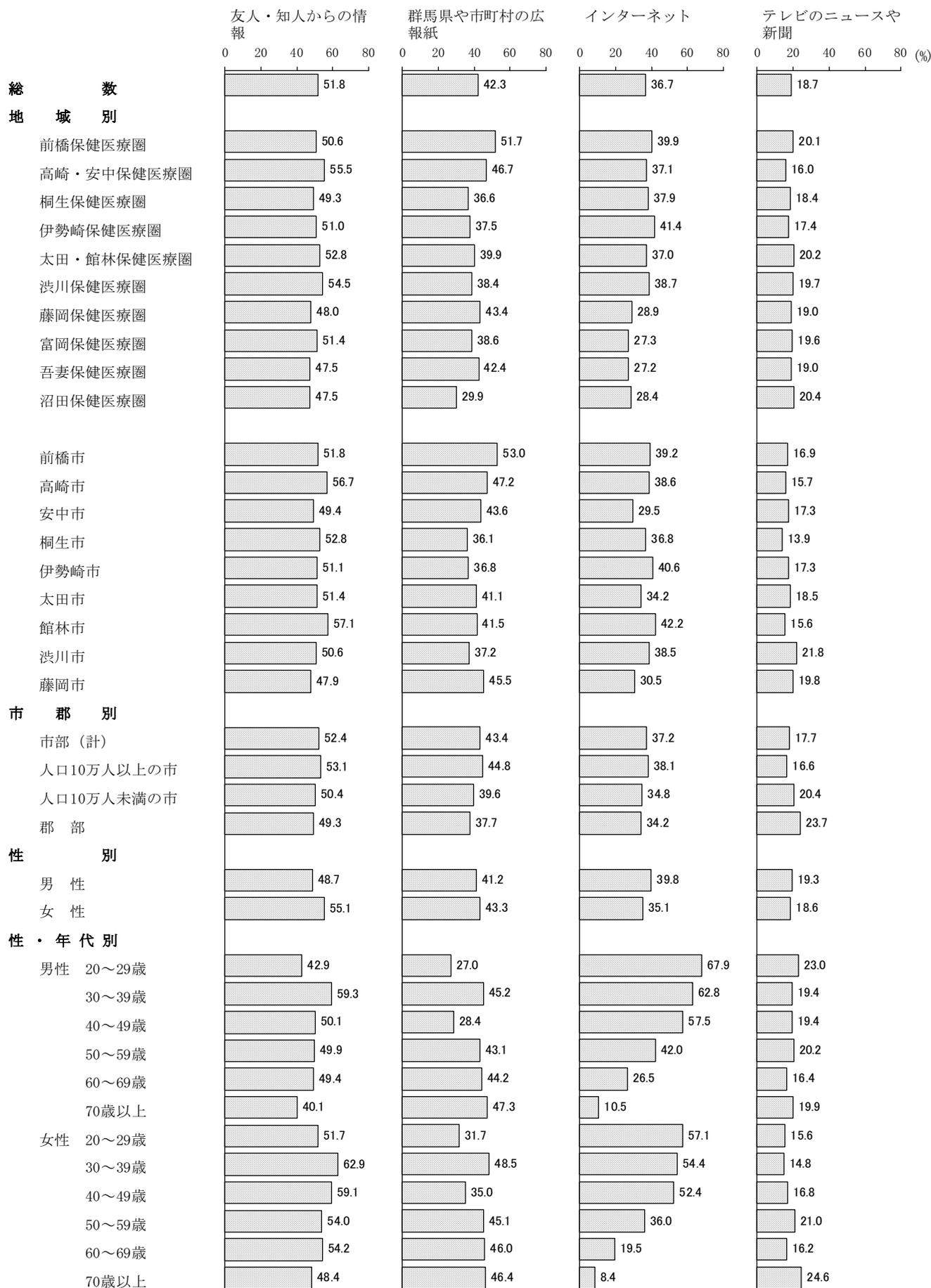
◆**地域別** いずれの医療圏でも、上位3項目に集中している。前橋保健医療圏では、「群馬県や市町村の広報紙」が51.7%と、他の医療圏に比べて多くなっている。

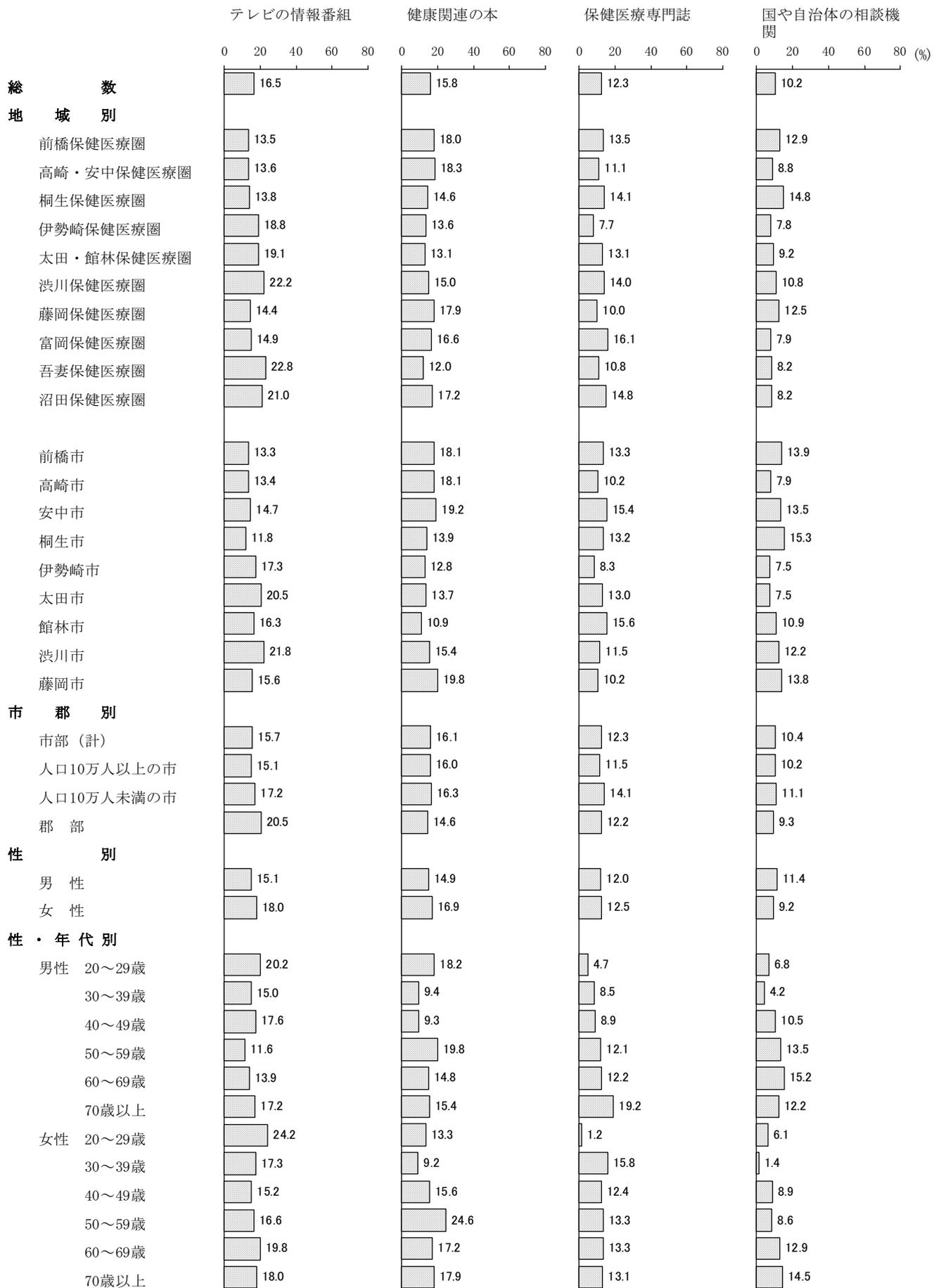
◆**市郡別** 郡部より市部で、上位3項目はやや多くなっている。

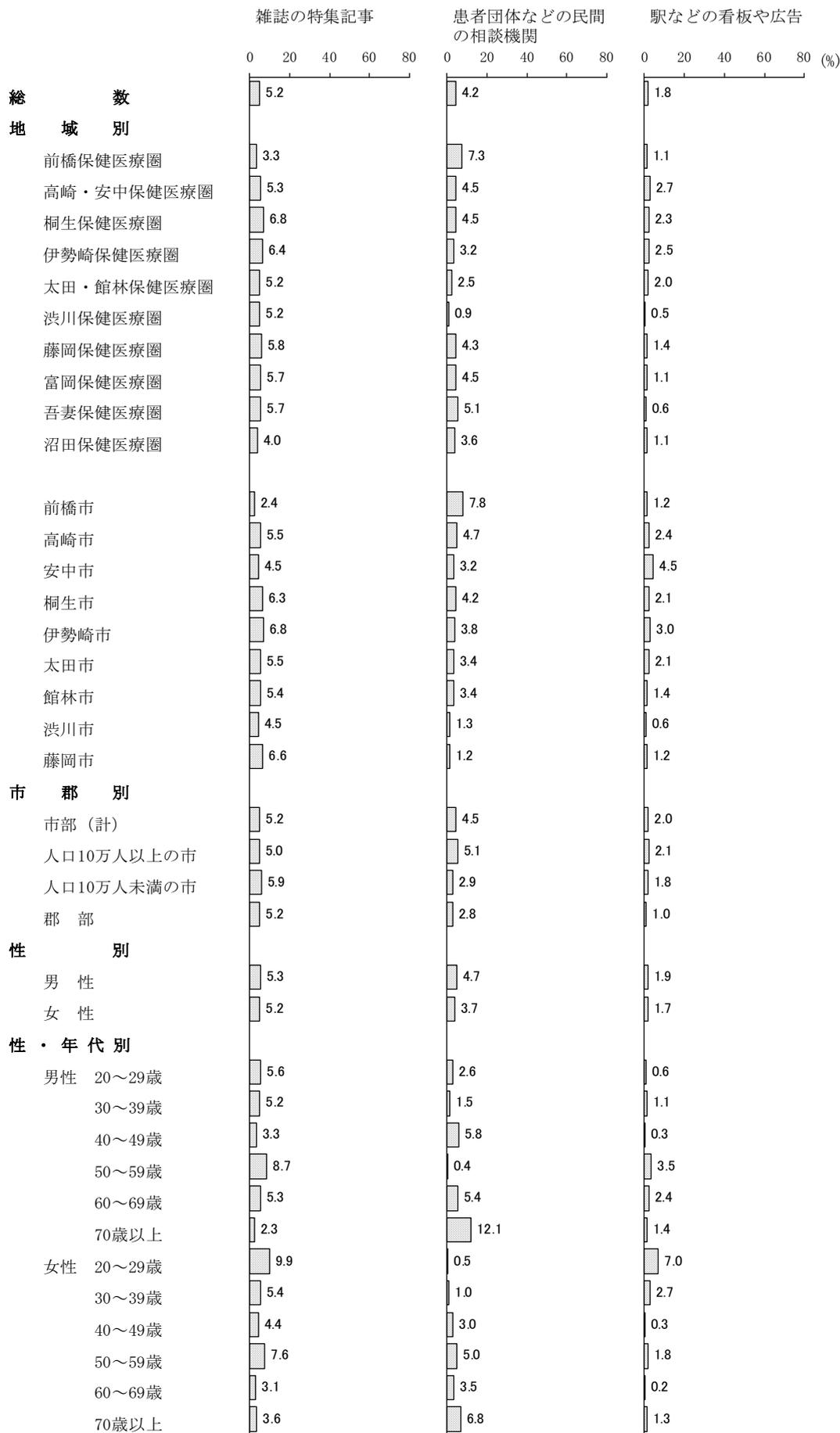
◆**性別** 女性では「友人・知人からの情報」が55.1%と、男性(48.7%)より多くなっている。男性では「インターネット」が39.8%と、女性(35.1%)より多くなっている。

◆**性・年代別** 男性の30代と女性の30代から40代で「友人・知人からの情報」が60%前後と多くなっている。また、男女とも、若い人ほど「インターネット」が増加し、男性の20代、30代では60%を超え、男性の40代及び女性の20代から40代では50%を超えている。

図 17-5 保健医療情報の入手方法







|

Ⅲ 調査票

群馬県保健医療に関する意識調査

平成20年9月
群馬県

調査ご協力のお願い

病院勤務医の不足や救急に関する問題など、地域の医療は多くの課題を抱えています。このアンケートは、こうした課題に対応しながら、誰もが安心して医療を受けることができる体制を整備するため、県民のみなさまからご意見をいただくものです。

ここでいただくご意見は、群馬県保健医療計画の策定や今後の政策立案の参考にいたします。回答内容は、すべてコンピュータによる統計処理を行い、調査の目的以外に使用することはいたしません。また、この調査票にご回答をいただいた方に、後日、内容についての照会や別の依頼を行うことはありません。

より良いぐんまの保健医療をめざすため、ぜひ、みなさまのご意見をお寄せください。よろしくお願い申し上げます。



医療や健康のことは、自分自身や家族に直接関わることも多いですね。

だから、みんなで意見を出し合って、一緒に考えようよ。



ご記入にあたってのお願い

- (1) この調査は、個人を対象にしていますので、あなた（宛先の方）ご自身の判断で記入してください。
- (2) お答えは、問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに最もあてはまる番号（1、2……）に○印をつけてください。
- (3) お答えの○印の数は質問文の指示にしたがってください。
- (4) 中にはお答えいただくのが難しい質問もあるかも知れませんが、直感的に思ったり、考えられた内容でお答えください。
- (5) 調査票の主に右欄外にある「①、②、③……」という数字は集計用の数字ですので、質問とは関係ありません。
- (6) 記入は、黒または青の鉛筆、ペン、ボールペンでお願いします。
- (7) ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて

9月26日（金）までに

ご投函ください。

- (8) この調査について、不明な点やご質問などがありましたら下記までご連絡ください。

群馬県健康福祉部医務課医療計画係
電話 027-226-2535（ダイヤルイン）

〔全員の方に〕

(健康状態)

問1 あなたはご自分の健康状態について、どうお考えですか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は1つだけ)

- 1 よいと思っている
- 2 まあよいと思っている
- 3 普通だと思っている
- 4 あまりよくないと思っている
- 5 よくないと思っている

⑥

〔全員の方に〕

問2 あなたの同居のご家族の健康状態について、どうお考えですか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は1つだけ)

- 1 みな健康状態がよい
- 2 あまり健康状態のよくない家族がいる
- 3 健康状態のよくない家族がいる
- 4 同居の家族はいない

⑦

〔全員の方に〕

(健康に対する不安)

問3 あなたは、日ごろ「もし自分が病気になったら……」という不安を感じていますか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は1つだけ)

- 1 不安を感じていない
- 2 少し不安を感じている
- 3 不安を感じている

⑧

→ (問4へ)

↓ (問3-1へ)

問3-1 具体的にはそれはどんな不安ですか。(〇は3つまで)

- 1 がん、脳卒中、心臓病、糖尿病など生活習慣病への不安
- 2 不眠、うつ、ストレスなどのこころの病気への不安
- 3 上記1、2以外の病気への不安
- 4 働けなくなることへの不安
- 5 寝たきりにならないかという不安
- 6 医療費など経済的な不安
- 7 看病してくれる人がいない不安
- 8 病(医)院や医師に関する不安
- 9 何となく漠然とした不安
- 10 その他の不安 ()

⑨

〔全員の方に〕

(健康づくり)

問4 あなたは、健康のために何か気をつけていることがありますか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇はあてはまるものすべて)

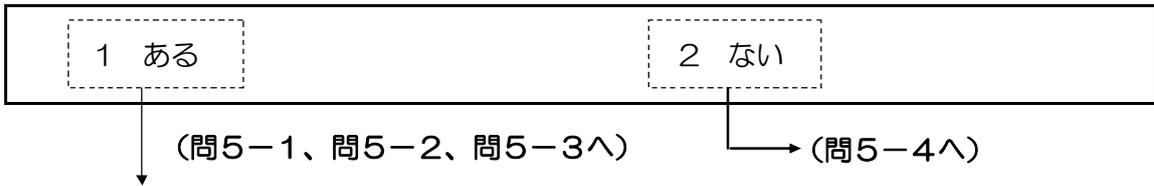
- | |
|-----------------------------|
| 1 過労に注意し、睡眠や休養を十分にとるようにしている |
| 2 ストレスをためないようにしている |
| 3 栄養のバランスなど食事に気をつけている |
| 4 体の具合が悪いときは、かかりつけの医師に相談する |
| 5 酒はほどほどに控えている |
| 6 タバコをやめた、もしくは、できるだけ控えている |
| 7 運動やスポーツをするように心がけている |
| 8 努めて歩くようにしている |
| 9 定期的に健康診断を受けている |
| 10 その他 () |
| 11 何もしていない |

⑩⑪

〔全員の方に〕

(健康診断)

問5 あなたは、過去1年間に健康診断を受けたことがありますか。(〇は1つだけ)



⑫

問5-1 受けたものをあげて下さい。(〇はあてはまるものすべて)

- | |
|----------------------|
| 1 血圧測定 |
| 2 視力・聴力検査 |
| 3 血液検査 |
| 4 尿検査 |
| 5 心電図検査 |
| 6 眼底検査 |
| 7 レントゲン検査(胸部エックス線検査) |
| 8 胃がん検査(バリウムまたは胃カメラ) |
| 9 大腸がん検査 |
| 10 子宮がん検査 |
| 11 乳がん検査 |
| 12 肝炎ウイルス検査 |
| 13 その他の検査 () |

⑬⑭

(問5-2へ)

〔問5で「1 ある」と回答された方に〕

問5-2 いちばん最近の健康診断をどこで受けましたか。(〇は1つだけ)

- | |
|--------------------|
| 1 職場や学校 |
| 2 市町村(保健センターや公民館等) |
| 3 保健福祉事務所(保健所) |
| 4 地域の医療機関(病院又は診療所) |
| 5 人間ドック(病院等) |
| 6 その他() |

⑮

↓
(問5-3へ)

問5-3 健康診断を受けた結果どうしましたか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 気になるところはなかったので、そのままにしている |
| 2 気になるところはあったが、そのままにしている |
| 3 気になるところがあったので、日常生活で注意している |
| 4 気になるところがあったので、医療機関等で精密検査などを受けた |
| 5 その他() |

→(問6へ)

⑯

〔問5で「2 ない」と回答された方に〕

問5-4 健康診断を受けなかったのはなぜですか。(〇は3つまで)

- | |
|--------------------------|
| 1 健診を知らなかった |
| 2 時間がなかったから |
| 3 場所が遠いから |
| 4 費用がかかり経済的にも負担になるから |
| 5 毎年受ける必要性を感じないから |
| 6 健康に自信があり、必要性を感じないから |
| 7 検査に伴う苦痛などに不安があるから |
| 8 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 9 結果が不安なため、受けたくないから |
| 10 面倒だから |
| 11 たまたま受けていない |
| 12 まだそういう年齢ではない |
| 13 その他() |
| 14 特にない |

⑰⑱

〔全員の方に〕

(医療機関の選択)

問8 あなたがカゼや微熱など軽い病気にかかったとき、主にどの医療機関で診療を受けま
すか。あるいは、受けたいとお考えですか。(〇は1つだけ)

1 診療所 2 身近な病院 3 地域の総合病院 4 専門性の高い病院 5 その他 ()	6 特に決めていない 7 行かない (薬局等で薬を購入する) ↓ (問9へ)
---	--

(問8-1、8-2へ)

問8-1 その医療機関を選ぶのはどういう理由からですか。(〇は3つまで)

1 自宅に近い 2 医師が信頼できる 3 医療設備が整っている 4 かかりつけである 5 いろいろな診療科目がある 6 その病気やけがについての専門である	7 評判がよい 8 職場・学校から通院しやすい 9 感じがよい 10 他の医療機関を知らない 11 その他 () 12 特にない
--	---

問8-2 主に診療を受ける(あるいは受けたい)その医療機関はどの市町村にありますか。

(〇は1つだけ)

1 前橋市 2 高崎市 3 桐生市 4 伊勢崎市 5 太田市 6 沼田市 7 館林市 8 渋川市 9 藤岡市 10 富岡市 11 安中市 12 みどり市 13 富士見村	14 榛東村 15 吉岡町 16 吉井町 17 上野村 18 神流町 19 下仁田町 20 南牧村 21 甘楽町 22 中之条町 23 長野原町 24 嬭恋村 25 草津町 26 六合村	27 高山村 28 東吾妻町 29 片品村 30 川場村 31 昭和村 32 みなかみ町 33 玉村町 34 板倉町 35 明和町 36 千代田町 37 大泉町 38 邑楽町 39 県外 (都道府県名:)
--	---	---

【全員の方に】

問9 あなたが、入院が必要かもしれない重い病気にかかった場合、主にどの医療機関で診療を受けますか。あるいは、受けたいとお考えですか。(〇は1つだけ)

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">1 診療所</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">2 身近な病院</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">3 地域の総合病院</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">4 専門性の高い病院</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">5 その他 ()</td></tr> </table>	1 診療所	2 身近な病院	3 地域の総合病院	4 専門性の高い病院	5 その他 ()	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">6 特に決めていない</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">↓</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(問10へ)</td></tr> </table>	6 特に決めていない	↓	(問10へ)
1 診療所									
2 身近な病院									
3 地域の総合病院									
4 専門性の高い病院									
5 その他 ()									
6 特に決めていない									
↓									
(問10へ)									

(問9-1、9-2へ)

問9-1 その医療機関を選ぶのは、どういう理由からですか。(〇は3つまで)

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">1 自宅に近い</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">2 医師が信頼できる</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">3 医療設備が整っている</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">4 かかりつけである</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">5 いろいろな診療科目がある</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">6 その病気やけかについての専門である</td></tr> </table>	1 自宅に近い	2 医師が信頼できる	3 医療設備が整っている	4 かかりつけである	5 いろいろな診療科目がある	6 その病気やけかについての専門である	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">7 評判がよい</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">8 勤め先の関係から通院しやすい</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">9 感じがよい</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">10 他の医療機関を知らない</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">11 その他 ()</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">12 特にない</td></tr> </table>	7 評判がよい	8 勤め先の関係から通院しやすい	9 感じがよい	10 他の医療機関を知らない	11 その他 ()	12 特にない
1 自宅に近い													
2 医師が信頼できる													
3 医療設備が整っている													
4 かかりつけである													
5 いろいろな診療科目がある													
6 その病気やけかについての専門である													
7 評判がよい													
8 勤め先の関係から通院しやすい													
9 感じがよい													
10 他の医療機関を知らない													
11 その他 ()													
12 特にない													

問9-2 主に診療を受ける(あるいは受けたい)その医療機関はどの市町村にありますか。
(〇は1つだけ)

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">1 前橋市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">2 高崎市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">3 桐生市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">4 伊勢崎市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">5 太田市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">6 沼田市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">7 館林市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">8 渋川市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">9 藤岡市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">10 富岡市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">11 安中市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">12 みどり市</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">13 富士見村</td></tr> </table>	1 前橋市	2 高崎市	3 桐生市	4 伊勢崎市	5 太田市	6 沼田市	7 館林市	8 渋川市	9 藤岡市	10 富岡市	11 安中市	12 みどり市	13 富士見村	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">14 榛東村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">15 吉岡町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">16 吉井町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">17 上野村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">18 神流町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">19 下仁田町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">20 南牧村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">21 甘楽町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">22 中之条町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">23 長野原町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">24 嬬恋村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">25 草津町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">26 六合村</td></tr> </table>	14 榛東村	15 吉岡町	16 吉井町	17 上野村	18 神流町	19 下仁田町	20 南牧村	21 甘楽町	22 中之条町	23 長野原町	24 嬬恋村	25 草津町	26 六合村	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black;">27 高山村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">28 東吾妻町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">29 片品村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">30 川場村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">31 昭和村</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">32 みなかみ町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">33 玉村町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">34 板倉町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">35 明和町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">36 千代田町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">37 大泉町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">38 邑楽町</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">39 県外</td></tr> <tr><td style="border: 1px dashed black;">(都道府県名:)</td></tr> </table>	27 高山村	28 東吾妻町	29 片品村	30 川場村	31 昭和村	32 みなかみ町	33 玉村町	34 板倉町	35 明和町	36 千代田町	37 大泉町	38 邑楽町	39 県外	(都道府県名:)
1 前橋市																																										
2 高崎市																																										
3 桐生市																																										
4 伊勢崎市																																										
5 太田市																																										
6 沼田市																																										
7 館林市																																										
8 渋川市																																										
9 藤岡市																																										
10 富岡市																																										
11 安中市																																										
12 みどり市																																										
13 富士見村																																										
14 榛東村																																										
15 吉岡町																																										
16 吉井町																																										
17 上野村																																										
18 神流町																																										
19 下仁田町																																										
20 南牧村																																										
21 甘楽町																																										
22 中之条町																																										
23 長野原町																																										
24 嬬恋村																																										
25 草津町																																										
26 六合村																																										
27 高山村																																										
28 東吾妻町																																										
29 片品村																																										
30 川場村																																										
31 昭和村																																										
32 みなかみ町																																										
33 玉村町																																										
34 板倉町																																										
35 明和町																																										
36 千代田町																																										
37 大泉町																																										
38 邑楽町																																										
39 県外																																										
(都道府県名:)																																										

〔全員の方に〕

(かかりつけ歯科医)

問12 あなたは、かかりつけの歯科医を決めていますか。(○は1つだけ)

1 決めている	2 特に決めていない	3 かかったことがない
---------	------------	-------------

(問12-1へ) (問13へ)

問12-1 その歯科医にかかりはじめたのはなぜですか。(○は2つまで)

1 子どものころからかかりつけだった
2 家族がかかりつけだった
3 自宅に近かった
4 職場に近かった
5 友人・知人・近所の評判がよかった
6 他科の医師や病院などから紹介された
7 歯科検診などの検査がきっかけ
8 他の歯科医師から紹介された
9 雑誌等に掲載されていた
10 広告やインターネットを見た
11 その他 ()
12 忘れた

〔全員の方に〕

(歯科保健医療)

問13 あなたは、歯科の保健医療についてどのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものをあげてください。(○は2つまで)

1 医療保険の適用範囲をもっと広げてほしい
2 夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい
3 地域や職場で歯科の検診を実施してほしい
4 寝たきりの高齢者など通院できない人に対する歯科医療体制を整備してほしい
5 身体障害者など体の不自由な人に対する歯科医療体制を強化してほしい
6 知的障害や発達障害のある人に対する歯科医療体制を強化してほしい
7 小児歯科医療体制を強化してほしい
8 保健福祉事務所(保健所)などの公的機関で、歯科の衛生指導を強化してほしい
9 乳幼児のむし歯の予防対策を強化してほしい
10 その他 ()
11 特にない

〔全員の方に〕

(薬局について)

問14 あなたは、この1年間に、医院（診療所）や病院から処方せんをもらって、院外の薬局で薬を調剤してもらったことがありますか。（〇は1つだけ）

1 ある	2 ない
------	------

〔全員の方に〕

問15 あなたは、いつも調剤をしてもらう薬局（かかりつけ薬局）を決めていますか。（〇は1つだけ）

1 決めている	2 決めていない
---------	----------

（問15-1へ）

問15-1 かかりつけ薬局は、どのような点を考えて選びましたか。（〇は1つだけ）

1 処方せんをもらった医院や病院の近くの薬局
2 自宅や職場に近い薬局
3 薬についてよく説明してくれる薬局
4 清潔で雰囲気の良い薬局
5 営業日や営業時間が多い(長い)薬局
6 その他 ()

（問15-2へ）

問15-2 かかりつけ薬局を決めていないのは、どのような理由からですか。

（〇はあてはまるものすべて）

1 処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから
2 自宅や職場に近い薬局がないから
3 近くの薬局では薬がなくて待たされたことがあるから
4 自分の病気について近所の人や薬局の人に知られたくないから
5 その他 ()
6 特にない

〔全員の方に〕

(入院・自宅療養)

問16 あなたは、最近5年以内に病気やけがで10日以上入院、または1ヶ月以上の自宅療養をしたことがありますか(出産は除きます)。(○は1つだけ)

1 入院したことがある(又は入院中)	4 どちらも無い
2 自宅療養したことがある(又は自宅療養中)	
3 1、2を両方したことがある	(問17へ)

(問16-1、問16-2へ)

問16-1 入院または自宅療養の理由は何でしたか。(○は1つだけ)

1 病気	2 けが
------	------

問16-2 入院や自宅療養の時にどのようなことに困りましたか。(○は3つまで)

1 家族が看護におわれ家庭生活に支障が生じた
2 看護や介護をする人がいないので困った
3 働けなくなったり、事業が立ちゆかなくなり、収入が減った
4 付添料、差額ベッド料、医療費などの負担で経済的に困った
5 適当な医師や病(医)院がなかなか見つからなかった
6 病気や治療について十分な説明がなく不安だった
7 休日、夜間など緊急の時にみてもらえなかった
8 医師や病(医)院をかえたかったが、できなかった
9 すぐに入院することができなかった
10 その他()
11 特に困ったことはない

〔全員の方に〕

(医療機関への要望)

問23 これまでの経験から、あなたは医療機関に対してどのようなことを望みますか。

(1) 医師について (〇は3つまで)

1	病気の状態や治療方法をよく説明してほしい	
2	薬についての内容などを説明してほしい	
3	むずかしい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい	
4	注射や投薬はもっと十分にしてほしい	
5	注射や投薬はあまりしないでほしい	
6	往診の依頼に応じてほしい	
7	検査はもっと十分にほしい	
8	検査はあまりしないでほしい	
9	その他 ()	
10	特にない	<input type="checkbox"/>

(2) 看護師について (〇は3つまで)

1	患者や家族の話をじっくり聞いてほしい	
2	病気や検査についてわかりやすく説明してほしい	
3	療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい	
4	患者のそばで看護をする時間を長くしてほしい	
5	忙しそうにしないでほしい	
6	その他 ()	
7	特にない	<input type="checkbox"/>

(3) 施設・サービスについて (〇は3つまで)

1	待ち時間を短くしてほしい	
2	休日や夜間でも、急病のときは診察してほしい	
3	差額ベッド料、医療費などがどのくらいかかるか前もって教えてほしい	
4	医療機関の職員は、もっと親切にほしい	
5	待合室や病室などをもっと快適にほしい	
6	食事(病院食)のメニューを多くするとともに、味付けをうまくしてほしい	
7	治療後に疑問が生じたら相談できる医療相談窓口を設置してほしい	
8	その他 ()	
9	特にない	<input type="checkbox"/>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計分析に必要な事項を少しお伺いします。

F 1 あなたの性別は。(〇は1つだけ)

1 男	2 女
-----	-----

F 2 あなたの年齢は。(〇は1つだけ)

1 20～24歳	6 45～49歳	11 70～74歳
2 25～29歳	7 50～54歳	12 75～79歳
3 30～34歳	8 55～59歳	13 80歳以上
4 35～39歳	9 60～64歳	
5 40～44歳	10 65～69歳	

F 3 あなたはどの市町村にお住まいですか。(〇は1つだけ)

1 前橋市	14 榛東村	27 高山村
2 高崎市	15 吉岡町	28 東吾妻町
3 桐生市	16 吉井町	29 片品村
4 伊勢崎市	17 上野村	30 川場村
5 太田市	18 神流町	31 昭和村
6 沼田市	19 下仁田町	32 みなかみ町
7 館林市	20 南牧村	33 玉村町
8 渋川市	21 甘楽町	34 板倉町
9 藤岡市	22 中之条町	35 明和町
10 富岡市	23 長野原町	36 千代田町
11 安中市	24 嬭恋村	37 大泉町
12 みどり市	25 草津町	38 邑楽町
13 富士見村	26 六合村	

F 4 あなたの職業は次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

1 農林漁業を営んでいる(家族従業者を含む)
2 商工業、サービス業、自由業などを営んでいる(自営業等。家族従業者を含む)
3 会社、商店、官公庁、学校、病院等に常勤で勤めている(サラリーマン等)
4 パート、アルバイト
5 主婦
6 学生
7 無職

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、返信用封筒に入れ、**9月26日(金)**までにご投函ください。

群馬県保健医療に関する意識調査 報告書

平成21年1月

群馬県健康福祉部医務課

群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL 027-226-2535 (直)
